Canon

MultiPASS™ B-30

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をよくお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

もくじ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

キヤノンはキヤノン株式会社の登録商標です。MultiPASS、BJ、Bubble Jetはキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®およびWindows®は、マイクロソフト社の登録商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

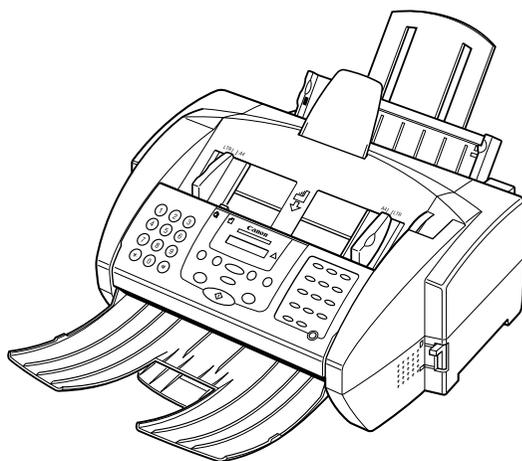
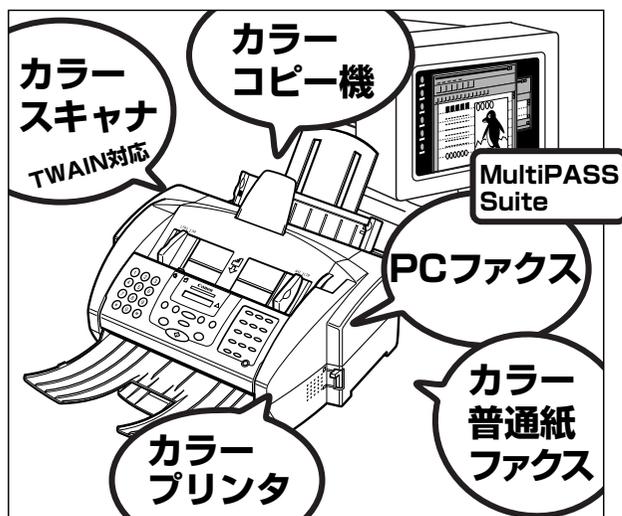
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い上げいただいた販売店へお申しつけください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

はじめに

　このたびは、MultiPASS B-30(以下、B-30と略します)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

　B-30は、G3規格の普通紙ファクシミリをはじめ、プリンタ、コピー、スキャナ、カラーファクス、PCファクスなど、オフィスでよく使われるさまざまな事務機と、コンピュータの周辺機器の機能を備えています。また、ファクスとしては、一般の電話回線だけでなく、Fネット(G3サービス)やArcstar InternetFAXのFAX接続型サービスにも対応しています。

　この使用説明書には、B-30の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくための情報が書かれています。また、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項も載せてあります。B-30をご使用になる前に必ずお読みください。お読みいただいた後も大切に保管してください。

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

MultiPASS B-30の特長

B-30は、単体ではカラー普通紙ファクス、カラーコピー機として使うことができます。

コンピュータと接続すると、カラープリンタ、カラースキャナとしても使えます。ファクスの送受信もコンピュータからできるようになります。

写真画質のカラープリンタ

キヤノンのバブルジェット(BJ)方式で、最高1440dpi(水平方向)×720dpi(垂直方向)の高解像度で、高品質で色鮮やかな印刷ができます。

毎分4.6ページ(白黒では8.7ページ)という高速で、普通紙、光沢紙、封筒、OHPフィルム、バックプリントフィルムなどいろいろなものに印刷できます。A4、B5、A5、レター、リーガルサイズの普通紙なら100枚(75g/m²の普通紙のとき)、OHPフィルムなら30枚、バックプリントフィルムや封筒なら10枚までセットできます。

カラー普通紙ファクス

キヤノンの超鮮明画像処理技術GENESISで、絵や写真も鮮明に送受信できます。

相手側にカラーファクス機能があれば、カラーファクスの送受信ができます。

A4サイズの標準的な白黒原稿1ページを約3秒*で送信でき、送信中もつぎの送信の予約ができるので、時間のムダがありません。

送信先をワンタッチダイヤル(12件)や短縮ダイヤル(100件)に登録しておけば、かんたんにダイヤルでき、グループダイヤルや同報送信で複数の送信先(最大113か所)に送信できます。

記録用紙やインクがなくなっても、受信したファクスはメモリに保存されるので安心です。

大きなサイズのファクスは、端が切れないように記録用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

ECM(エラー修正機能)で、送受信のエラーを少なくすることもできます。

*キヤノンFAX標準チャートNo.1を標準モードで送信するとき
　解像度：ファクス標準
　送信速度：33600 bps
　JBIG

メモリには、約416ページ分(キヤノンFAX標準チャートNo. 1を標準モードで送るとき)の送受信ファクスを保存できます。

ECMでの送受信は、送信側、受信側の両方にECM機能があるときだけ使えます。

フォトインクで高画質のカラーコピー

360×360dpiという高解像度のフルカラーコピー機として使えます。白黒原稿(ハーフトーンを含む)なら、最大毎分3枚という高速で、一度に99部まで。70%、80%、90%に縮小コピーもできます。カラーの写真モードでは、150%、200%に拡大もできます。

「フツウシ(コウソク)」に設定すると、180×180dpiでより高速にコピーすることもできます。

600dpi相当の高品位カラースキャナ

Scan Gear 4.0 TWAINなど、TWAIN規格に準拠したグラフィックソフトやOCRソフトを使って、フルカラーや256階調グレースケールで画像をコンピュータに読みこめます。解像度は30〜600dpiの間で1dpi単位で調整できます。複数ページの連続読みこみに対応したアプリケーションでは、自動給紙装置(ADF)を使って、連続スキャンもできます。

付属のMultiPASS Suiteでは、300dpiの高解像度で読みこみ、600dpi相当までエンハンス処理することができます。

PCファクス

コンピュータで送受信するファクスをPCファクスといいます。

B-30は、コンピュータでの白黒ファクスの送受信、カラーファクスの受信ができます。(コンピュータからカラーファクスを送信することはできません)

B-30をコンピュータと接続すれば、付属のDesktop ManagerやWindowsアプリケーションからファクスを送信したり、受信したファクスを印刷せずに、そのままコンピュータに保存できます。

送信先を登録しておけばかんたんにファクス送信でき、一度に複数の相手に送信したり、日時を指定して送信することもできます。送信するファクスには、自分で作ったカバーページもつけられます。

受信したファクスは、画面で内容を確認したり、印刷したり、加工して再送信できます。

MultiPASS Suite(スウィート)とは

付属のMultiPASS Suiteは、コンピュータから操作して、B-30をプリンタ、ファクス、スキャナ、電話として使うためのMultiPASS用のアプリケーションの総称です。

- 印刷機能があるアプリケーションからファクス送信できます。
- 画面にファクスを表示し、保存、編集、印刷、クリップボードへのコピーなどの操作ができます。
- 電話番号やファクス番号を電話帳に登録できます。
- 一度に複数の送信先へファクスを同報送信できます。
- ファクスにオリジナルのカバーページ(表紙)をつけられます。
- MultiPASS SuiteやTWAIN規格に準拠したアプリケーションで画像を読みこめます。

MultiPASS Suiteのくわしい使い方については、『MultiPASS Suite使用説明書』をご覧ください。

本書の読み方

性能を十分にご利用いただくためにも、本書や付属している他の説明書は必ずお読みください。

- 「MultiPASS B-30の特長」(→viページ)や「アフターサービスについて」(→xivページ)、「安全のためのご注意」(→xivページ)は必ずお読みください。
- ファクスやコピーなどの使い方は、本書の各章をお読みください。
- B-30を思うように操作できないときは、「9章 困ったときは」(→9-1ページ)をお読みください。
- くわしい仕様は、「付録」の「仕様」(→10-23ページ)をご覧ください。

操作方法がわからなくなったり、何か問題が発生したときのために、本書はすぐ手の届くところに用意しておいてください。

本書をお読みになっても、わからないことがあるときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)にご相談ください。

B-30を使い始める前に

●コンピュータと接続するとき

B-30をコンピュータと接続して、Windowsのアプリケーションや MultiPASS Suiteから印刷、スキャナ、ファクスの送受信などを行うときは、最初に『マルチパスB-30の羅針盤』にしたがってセットアップを行ってください。

●コンピュータと接続しないとき

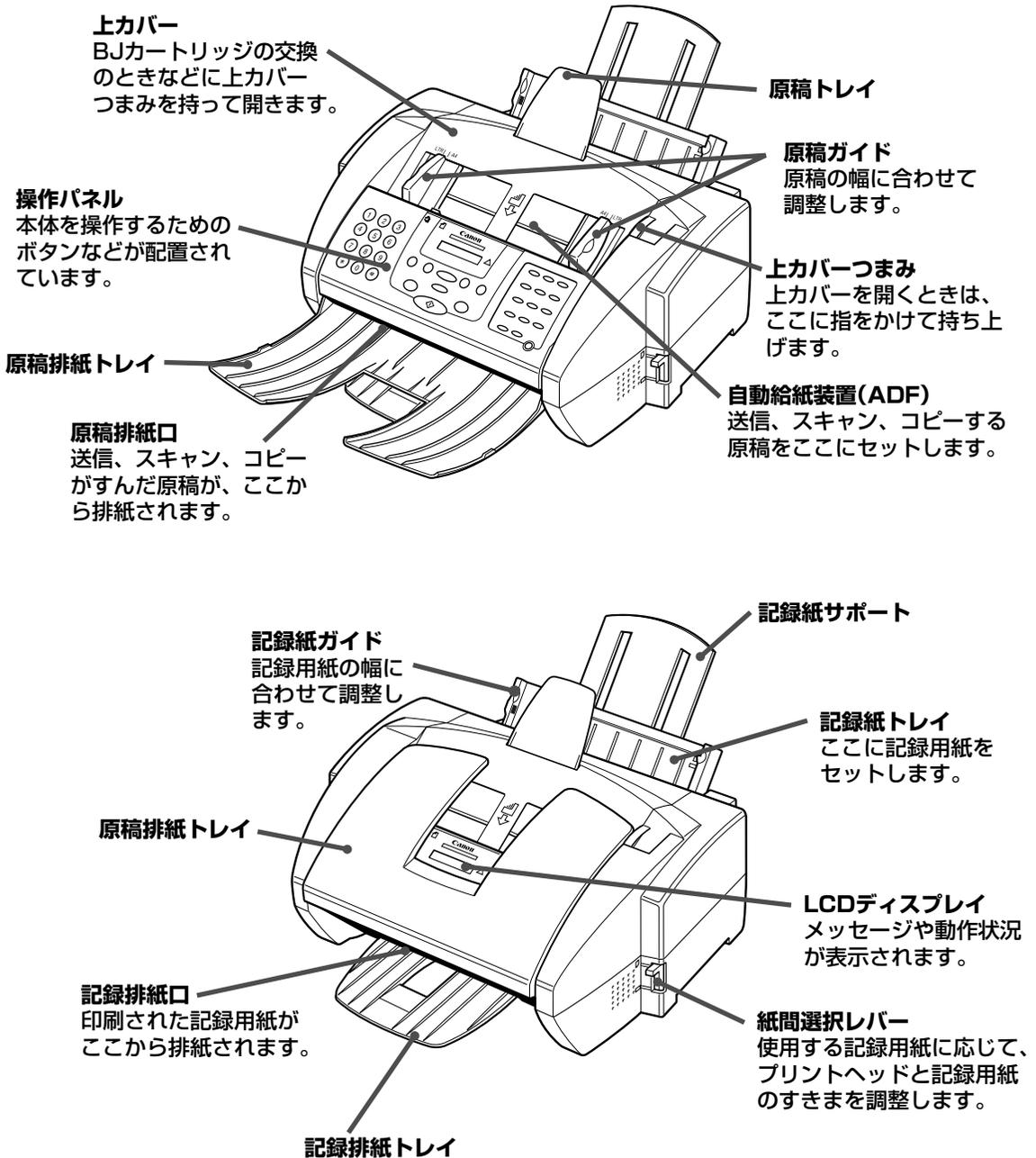
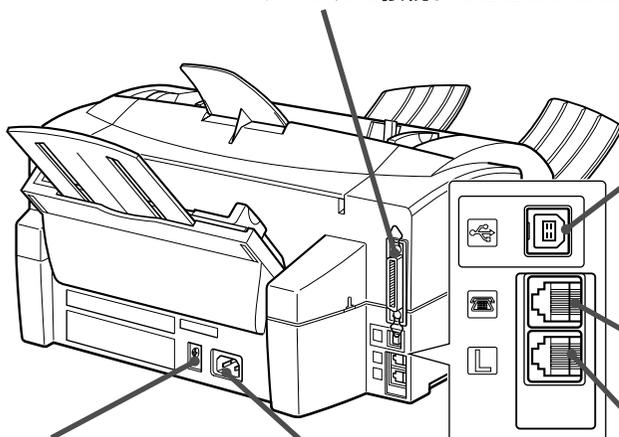
B-30をコンピュータと接続しないで使うときは、『マルチパスB-30の羅針盤』でコンピュータを接続する操作の前まで行った後、本書の1章の操作を行ってください。

マーク、表記について 本書の中のマークや表記には、つぎのような意味があります。

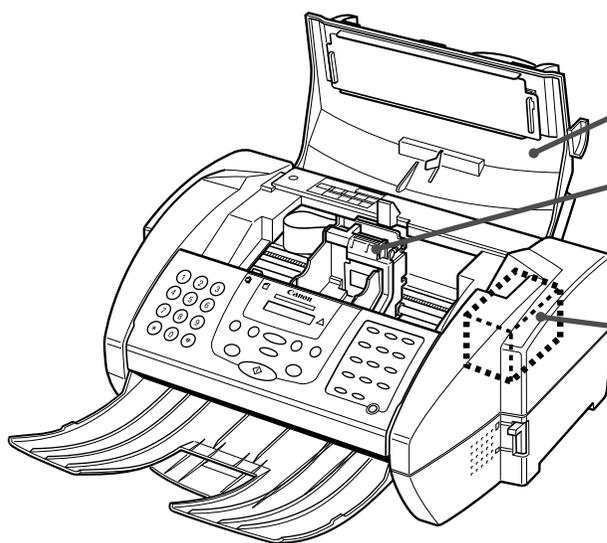
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
→3-6ページ	矢印は参照先を示しています。
「ソウシン　オワリマシタ」	操作パネルのLCDディスプレイに表示される ソウシン オワリマシタ のようなメッセージは「 」で囲んでいます。
	LCDディスプレイにいくつかのメッセージがくり返し表示されることを示します。
B-30	本機(MultiPASS B-30)の略称です。

各部の名称と働き

本体各部と取り付けた付属品の名称、機能は、つぎのとおりです。

前面

背面

⚠警告
つぎのようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管
- 電話専用アース端子
- 避雷針
- 水道管や蛇口

内部

操作パネル

①給紙レバー

2枚以上の原稿をセットするときは給紙レバーを(左)に、1枚ずつセットするときは(右)にします。

②［短縮］ボタン

短縮ダイヤルを使うときは、このボタンを押してから登録した2桁の番号を押します。

③LCDディスプレイ

メッセージや動作状況が表示されます。設定を行うときは、メニューや選択項目が表示されます。

④［カラー/白黒］ボタン

このボタンを押して、ランプがついた状態にすると、コピーやファクス送信がカラーで行われます。もう一度ボタンを押してランプが消えると白黒になります。

⑤エラーランプ

エラーが発生したり、記録用紙やインクがなくなったときなどに点滅します。

⑥［受信モード］ボタン

押すたびに、受信モードが切り替わります。

⑦テンキー

ダイヤルするファクス番号や電話番号を入力します。相手の名前の登録など、文字や記号を入力するときにも使います。

⑧［リダイヤル/ポーズ］ボタン

最後にテンキーでダイヤルした番号にもう一度かける（リダイヤルする）ときに押します。また、ファクス番号の間にポーズを入れるときにも押します。

⑨［オンフック］ボタン

電話をかけるときに押します。

⑩［スタート］ボタン

送信、受信、スキャン、コピーなどの操作を開始するときに押します。

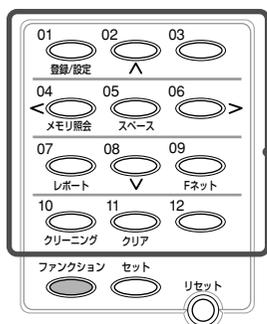
⑪［画質］ボタン

コピーやファクス送信の画質を選びます。

⑫［ストップ］ボタン

送信や受信などの操作を中止して、スタンバイの状態にします。

⑬［コピー］ボタン

コピーをとるときに押します。

ワンタッチダイヤルボタン／機能ボタン

通常はワンタッチダイヤルボタンですが、ファンクションボタンを押してランプがついた状態にすると、［登録/設定］ボタン、［∧］ボタンなど、青い文字で書かれた機能ボタンとして使えるようになります。
もう一度ファンクションボタンを押してランプが消えると、ワンタッチダイヤルとして使えるようになります。

［登録/設定］ボタン

LCDディスプレイにメニューを表示して、スピードダイヤル、ユーザ情報、送受信などの設定を行います。

［∧］ボタン

データ登録設定のときに、他の選択項目を表示できます。

［<］ボタン

登録のときに、カーソルを左に動かすことができます。

［メモリ照会］ボタン

メモリに保存されているファクスを印刷、削除したり、リストを印刷します。

［スペース］ボタン

送信先を登録するときなどに、文字や数字の間にスペースを入れます。

［>］ボタン

登録のときに、カーソルを右に動かすことができます。

［レポート］ボタン

登録した情報や、通信結果に関する情報のレポートを印刷します。

［∨］ボタン

データ登録設定のときに、他の選択項目を表示できます。

［Fネット］ボタン

ファクス番号を登録するときに、Fネットの第2ダイヤルトーンを自動的に検知するための記号を入力します。

［クリーニング］ボタン

BJカートリッジのノズルチェックやクリーニングを行います。

［クリア］ボタン

登録のときに、入力した内容を消去します。

［ファンクション］ボタン

［ファンクション］ボタンを押して、ランプがついた状態にすると、［登録/設定］ボタン、［∧］ボタンなど、青い文字で書かれた機能を使えるようになります。

［セット］ボタン

メニューを選ぶときや、データを登録するときに押します。

［リセット］ボタン

印刷中にコンピュータ側がエラーになったとき、コンピュータ側のエラーを修復したら、印刷を再開する前に、このボタンを押してB-30をリセットします。また、紙づまりなどのエラーの原因を取り除いた後に押します。

アフターサービスについて

B-30は最新の技術を使って、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。

何か問題が発生したときは、まず「9章 困ったときは」(→9-1ページ)を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)までお問い合わせください。

安全のためのご注意

B-30をお使いになる前に、つぎの安全上のご注意を必ずお読みください。また、何か困ったことが起きたときにも参考にしてください。

⚠警告 心臓ペースメーカーをご利用の方へ

B-30からは微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方で異常を感じた場合は、B-30から離れ、その後、医師にご相談ください。

⚠注意 設置する場所について

水平で振動のない安定した場所に設置してください。

周りに物を密着させないでください。

本体の内部では発熱しています。放熱が十分でないと、内部の温度が上昇し、故障や火災の原因になります。また、ベッド、ソファー、敷物の上など、柔らかいものの上や、エアコン、暖房器具など、熱を発するものの近くでは使わないでください。戸棚や本棚、ラックなど、十分に換気できない場所には収めないでください。

水滴のかかるような場所には設置しないでください。

水道の蛇口、加湿器、湯沸器の近くなど、水滴のかかるような場所には設置しないでください。万一、B-30に水をかけてしまった場合は、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

直射日光の当たる場所には設置しないでください。

直射日光の当たる場所に設置すると、故障の原因になります。やむをえない場合は厚いカーテンやブラインドなどで遮光してください。

温度が急激に変化する場所には設置しないでください。

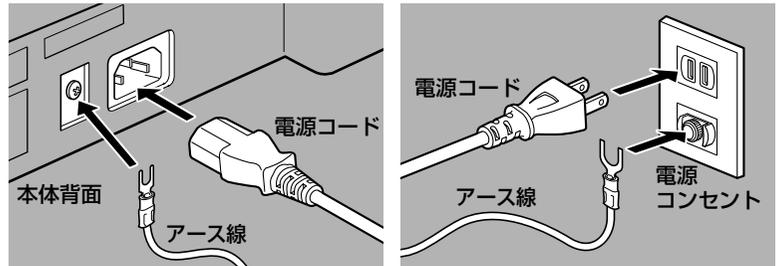
室内の温度範囲は10〜32.5度の間が適当です。

⚠注意 電源について

本体ラベルに指定されている電源を使ってください。

電源は、本体ラベルに指定されているものを使ってください。ご使用の電源の種類がよくわからない場合は、最寄りの電力会社にお問い合わせください。使用できる電源の種類についてご不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

アース線は必ずアースに接続してください。

アース線で、B-30本体背面のアース接続端子を電源コンセントなどのアースに接続してください。アース線は付属していません。別途、ご購入ください。

⚠警告 **万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線はつぎのところに取り付けられます。**

- 電源コンセントのアース端子
- 接地工事(D種)が行われている接地端子

つぎのようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管
- 電話専用アース端子
- 避雷針
- 水道管や蛇口

電源コンセントの供給限界を超えないように注意してください。

電源に接続しているすべての機器の合計の電力使用量が、電源コンセントの供給限界を超えないように注意してください。

電源コードを踏んだり、重いものをのせないでください。

電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。歩くときに電源コードが足に引っかからない場所に設置してください。また、コードがねじれたり、結び目ができていないか確認してください。

電源を切ってすぐに電源を入れないでください。

一度電源を切ったら、また電源を入れるまで少なくとも5秒間お待ちください。

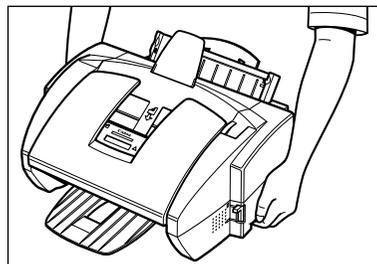
印刷中は絶対に電源コードを抜かないでください。

紙づまりの原因になります。

雷が鳴ったら、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意 移動、運搬、清掃について

移動したり清掃したりするときは、必ず電源コードを抜いてください。
運搬するときは、BJカートリッジを取りはずしてください。
B-30を持ち上げるときは、本体側面を持ってください。

絶対に前面の記録排紙トレイや背面の記録紙トレイを持って持ち上げないでください。

⚠注意 その他の取り扱いについて

B-30は絶対に分解しないでください。

本体内部には高圧電流部分が露出している箇所があり、触れると感電するおそれがあります。

本体に表示されている注意事項は必ずお守りください。
内部にものを差しこんだり、落としたりしないでください。

ドライバなど、細長いものを本体内部に差しこまないでください。本体内部には高圧電流部分が露出している箇所があり、これに触れると火災になったり、感電するおそれがあります。
また、B-30の内部に細かい異物(ピン、紙、クリップ、ホチキスの針)などを落とさないように注意してください。万一、異物がはいってしまったときは、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠注意 つぎのような場合は、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いてください。

つぎのような場合は、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡してください。

- 電源コードやプラグが傷ついたり、すり切れたりしている。
- 本体の上または内部に液体をこぼした。
- 煙が出たり、異様な音や臭いがしている。
- B-30を落としてしまった。または、本体や付属品が壊れた。
- 正しい手順で操作しても、うまく動かない。「9章　困ったときは」(→9-1ページ)の手順にしたがって操作しても問題が解決しない。

B-30を操作するときは、必ず本書の手順にしたがってください。不用意に装置を壊してしまうと、大がかりな修理が必要になる場合があります。

1章 B-30をコンピュータと接続しないときの設定のしかた

B-30をコンピュータと接続しないで使うときは、B-30の操作パネルで、ファクスの送受信のために、現在の日付、時刻と電話回線の種類を設定してください。

コンピュータと接続して、Desktop Managerで設定を行うと、B-30の操作パネルで行った設定はすべて無効になってしまいます。B-30をコンピュータと接続して使うときは、コンピュータからDesktop Managerを使って設定してください。

コンピュータからの設定のしかた
→『マルチパスB-30の羅針盤』、『MultiPASS Suite使用説明書』

発信元情報を登録する

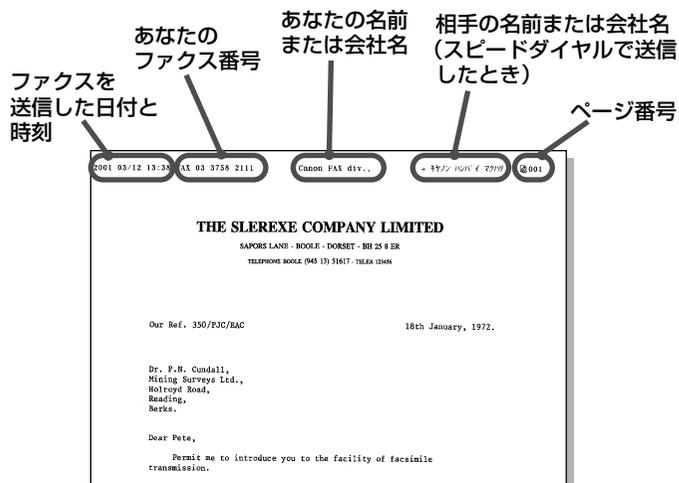
　ファクスの送受信を行うために、いくつかの設定が必要です。現在の日付、時刻と電話回線の種類は、必ず正しく設定してください。

現在の日付、時刻

現在の日付、時刻を設定してください。送信されたファクスの上部に印刷されます。

発信元情報

送信したファクスのいちばん上(ヘッダ)に印刷される日付、時刻やページ番号などの情報を発信元情報といいます。

あなたの名前(または会社名)とファクス番号を登録して、印刷することもできます。スピードダイヤルを使ってファクスを送信したときは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている相手の名前(または会社名)も印刷されます。

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

　設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

送信されたファクスに印刷される発信元情報

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

　発信元情報は、送信するファクスの画像領域の外側(上)につけるか、画像領域内につけるかを設定できます。

→「「基本設定」メニュー」10-4ページ

1 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション ボタンが光ります。

2 01 登録/設定 ボタンを押します。

`ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ`

3 セット ボタンを押します。

`ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ`

4 セット ボタンを押します。

`ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ`

5 セットボタンを押します。

設定されている日付、時刻が表示され、入力できるようになります。

`2000 12/20 13:00`（例）

6 **現在の日付、時刻をテンキーで入力します。**

日付は、年（西暦下2桁）、月、日の順に入力します。

時刻は、午後2時38分を「14:38」のように、24時制で入力します。

`2000 12/23 14:38`（例）

7 セットボタンを押します。

日付、時刻が登録されます。

`トウロク シマシタ`
`ユーザ゛ TEL トウロク`

8 **セットボタンを押し、テンキーであなたのファクス番号を入力します。**

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

番号を読みやすくするために、05スペースボタンを押してスペース（空白）を入れることもできます。

`TEL=03 3758 2111`（例）

発信元情報にあなたのファクス番号をのせないときは、入力しなくてもかまいません。

9 セットボタンを押します。

ファクス番号が登録されます。

`トウロク シマシタ`
`ユーザ゛ リャクショウ トウロク`

10 **もう一度セットボタンを押し、テンキーであなたの名前または会社名を入力します。文字の入力のしかたは、つぎのページをご覧ください。**

24文字まで入力できます。

`CANON :A`（例）

発信元情報にあなたの名前や会社名をのせないときは、入力しなくてもかまいません。

●文字の入力
→「文字を入力する」1-4ページ

11 セットボタンを押します。

名前または会社名が登録されます。

12 ストップボタンを押します。

`03/24 FAX/TEL`（例・スタンバイ状態）

文字を入力する

発信元情報にあなたの名前や会社名を入力するときは、テンキーや、06 >ボタン、04 <（メモリ照会）ボタンを使います。

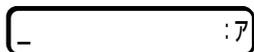
テンキーのボタンでは、カナモード、英字モード、数字モードで、つぎの文字を入力することができます。

文字の入力中に60秒以上何も操作をしないと、スタンバイ状態に戻ります。

テンキー	カナモードのとき	英字モードのとき	数字モードのとき
①	アイウエオ		1
②	カキクケコ	ABCabc	2
③	サシスセソ	DEFdef	3
④	タチツテト	GHIghi	4
⑤	ナニヌネノ	JKLjkl	5
⑥	ハヒフヘホ	MNOmno	6
⑦	マミムメモ	PQRSpqrs	7
⑧	ヤユヨ	TUVtuv	8
⑨	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
⓪	ワヲンァィゥェォャュョッ		0
#	゛ ゜ 。「 」 、 ． －	－ . ＊ # ! " , ; : ^ ` _ = / | ' ? $ @ % & + ( ) [ ] { } < >	
＊	＊ボタンを押すと、カナモード、英字モード、数字モードが切り替わります。 →カナモード ──→ 英字モード ──→ 数字モード→		

●モードを切り替える

文字入力の状態で ＊（カナ/英/数 トーン）ボタンを押すと、モードが切り替わり、LCDディスプレイの右端に表示されます。

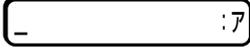
カナモードのときは、「：ア」と表示されます。

英字モードのときは、「：A」と表示されます。

数字モードのときは、「：1」と表示されます。

●文字の入力のしかた(例:「キ」と入力するとき)

1 **入力する文字のモードになるまで（＊）ボタンを押します。**

カナモード(右側に「：ア」と表示された状態)になるまで（＊）ボタンを押します。

_　　　　　　:ア

2 **入力する文字が表示されるまで、その文字が割り当てられているテンキーのボタンを押します。**

たとえば、カ行の文字を入力したいときは、「カABC」と書かれている（2）ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、そのボタンに割り当てられている文字が順番に表示されます。カナモードで「キ」と入力するときは、（2）ボタンを2回押します。

3 **06 >ボタンを押して、カーソルをつぎに移動します。**

つぎに入力する文字が違うボタンに割り当てられているときは、06 >ボタンを押さなくても、そのボタンを押すと、前の文字が入力され、カーソルがつぎに移動します。

●入力した文字を1字だけ消去、修正する

すでに入力されている文字はつぎのようにして消去、修正します。

1 **06 >ボタン、04 <メモリ照会ボタンを押して、消去、修正したい文字までカーソルを移動します。**

2 **テンキーで正しい文字を入力します。**

05 スペースボタンを押すと、カーソル位置の文字が消去され、空白になります。

●入力した文字をすべて消去する

1 **11 クリアボタンを押します。**

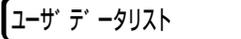
ユーザデータリストを印刷して発信元情報を確認する

登録した発信元情報を確認し、現在の設定をチェックするためには、ユーザデータリストを印刷します。

1 ファンクションボタンを押します。

2 07 レポートボタンを押します。

ツウシン カンリ レポート

3 ユーザ データリスト と表示されるまで、08 ボタンか 02 ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

ユーザデータリストが印刷されます。

2001 03/12 12:22 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div..　001

*** ユーザデータリスト ***

項目	設定
1.基本設定	
ユーザ電話番号	03 3758 2111
ユーザ略称	Canon FAX div..
発信元記録	付ける
発信元記録位置	画像の外に付ける
電話番号マーク	FAX
読取濃度	普通
オフフック アラーム	鳴らす
音量	
呼出音量	2
キータッチ音量	2
アラーム音量	2
通信音量	2
呼出音音質	高い
回線種類	ダイヤル回線
ダイヤルスピード	20PPS
2.レポート設定	
送信結果レポート	エラー時にプリントする
送信原稿	付ける
受信結果レポート	プリントしない
通信管理レポート	
自動プリント	する
3.送信機能設定	
ECM送信	する
ポーズ時間	2秒
自動リダイヤル	する
リダイヤル回数	2回
リダイヤル間隔	2分
ダイヤル タイム アウト	する
カラーダイレクト送信	しない
4.受信機能設定	
ECM受信	する
受信モード	自動受信
着信呼出	しない
自動受信切替	しない
リモート受信	する
リモート受信ID	25
代行受信	する
カラー 受信	する
5.プリント設定	
画像縮小	する
縮小方向	縦のみ
記録紙サイズ	A4
下 余白	普通
フォトインク プリント	する
6.システム管理設定	
日付タイプ	YYYY MM/DD
送信開始速度	33600bps
受信開始速度	33600bps
画像メモリ量	6.656MByte

ユーザデータリスト

電話回線の種類を設定する

B-30を接続した電話回線の種類を設定してください。

工場出荷時は、ダイヤル回線(20pps)に設定されているので、ダイヤル回線に接続したときは、この設定は必要ありません。

電話回線の種類がわからないときは、NTTの回線調べ(116)に問い合わせてください。NTTの領収書、口座振替のお知らせでもわかります。(右記参照)

1 ファンクションボタンを押します。

2 01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 セットボタンを押します。

キホン セッテイ

4 セットボタンを押します。

ヒヅ゛ケ/ジ゛コク セット

5 カイセン シュルイ センタク と表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

設定されている電話回線の種類が表示されます。

7 使用する電話回線の種類が表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

8 セットボタンを押します。

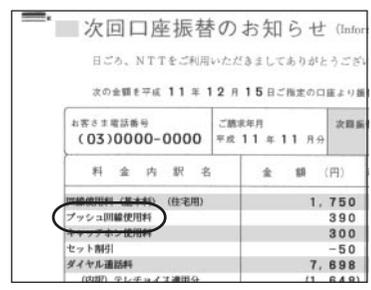
ダイヤル回線のときはダイヤルスピードが表示されるので、08ボタンか02ボタンを押してダイヤルスピードを選び、セットボタンを押します。

回線の種類が設定されます。

レポ゛ート セッテイ

●NTTの領収書で回線の種類を見分ける方法

領収書、口座振替のお知らせに「プッシュ回線使用料」が記載されているときは「プッシュ回線」、記載されていないときは「ダイヤル回線(20pps)」を選んでください。

内線に接続したときなど、まれに「ダイヤル回線(10pps)」にしなければならないことがあります。相手が話し中でないのにエラー送信レポートに「話し中でした」と印刷されるときや、LCDディスプレイに「ハナシチュウ デシタ」と表示されるときは、この設定にしてみてください。

次回口座振替のお知らせ

次の金額を平成 11 年 12 月 15 日ご指定の口座より

お客さま電話番号	ご請求年月
(03)0000-0000	平成 11 年 11 月分

料金内訳名	金額(円)
回線使用料(基本料)(住宅用)	1,750
プッシュ回線使用料	390
キャッチホン使用料	300
セット割引	-50
ダイヤル通話料	7,698

NTTの口座振替のお知らせの例

9 ストップボタンを押します。

`03/24     FAX/TEL`（例・スタンバイ状態）

2章 ファクスを送信する

この章では、B-30を使ってファクスを送信する方法について説明します。

送信する原稿は、自動給紙装置(ADF)にセットします。B-30で使用できる原稿については、「5章 原稿のセットとコピー、スキャン」(→5-1ページ)を参照してください。

ファクスを送る

B-30は、相手を呼び出しながら原稿を読みこんでメモリに保存し、電話がつながると、残りの原稿を読みこみながら送信します。メモリに保存しながら送信するので、この方法を「メモリ送信」といいます。

1 カラーか白黒を選びます。

カラー/白黒 ボタンを押すと、カラー、白黒が切り替わります。
ランプがついているときは、カラーで送られます。ランプが消えているときは、白黒で送られます。

2 原稿をセットし、原稿ガイドをよせます。

LCDディスプレイの表示(例)

メモリ シヨウ リョウ　　0%
ゲンコウ ガ　アリマス

3 ダイヤルします。(ダイヤルのしかた→右ページ)

TEL=　0337582111 (例)

●メモリに保存できる枚数

B-30のメモリは、約416ページの原稿を保存できますが、写真や絵が多い原稿や、文字が細かい原稿は、保存できるページ数が少なくなります。

B-30では、同時に複数の処理ができるので、原稿を読みこんでメモリに保存しているときでも、ファクスを受信したり、印刷することができます。

●メモリ使用量

メモリ使用量が100パーセントに近いときは、メモリ送信はできません。メモリ内のファクスを印刷、削除してメモリを空けるか、手動送信してください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ
手動送信→「接続した電話機を使ってファクスを送る」2-6ページ

●送信先のファクス機器にカラーファクスの機能がないとき

カラーでは送信できませんが、そのような場合、自動的に白黒に変換して送信するように設定することもできます。

→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

●解像度、読み取り濃度の調整

→「解像度を変える」2-7ページ、「読み取り濃度を変える」2-8ページ

●2枚以上の原稿をセットするとき

給紙レバーを(左)にしてください。

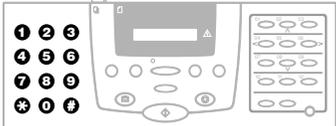
●2枚以上セットできない原稿

厚い紙の原稿、はがき・名刺などの小さな原稿、写真、光沢処理された紙の原稿、キャリアシートなど。これらの原稿は給紙レバーを(右)にして1枚ずつセットしてください。

→「使用できる原稿」5-2ページ

ダイヤルのしかた　（くわしくはつぎのページ）

ファクス番号は、つぎのどれかの方法でダイヤルします。

●テンキーでダイヤルする

送信先のファクス番号をテンキーで順に押します。

●ワンタッチダイヤル

送信先が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。グループ(複数の送信先)が登録されているときは、そのすべての送信先に送信されます。

送信先の登録→「ワンタッチダイヤルを登録する」3-2ページ、「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

●短縮ダイヤル

短縮ボタンを押して、テンキーで送信先の短縮ダイヤル番号(2桁)を押します。グループ(複数の送信先)が登録されているときは、そのすべての送信先に送信されます。

送信先の登録→「短縮ダイヤルを登録する」3-6ページ、「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

●コンピュータでダイヤルする

Desktop Managerを使って、コンピュータからファクス番号をダイヤルすることもできます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●自動的な原稿読みこみ

スピードダイヤル(ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル)でダイヤルしたときは、スタートボタンを押さなくてもダイヤルして5〜10秒で自動的に原稿の読みこみとファクス番号の呼び出しが始まります。

「送信機能設定」メニューで「ダイヤル タイム アウト」の設定(→10-5ページ)を「シナイ」にすると、自動的には読みこまれないのでスタートボタンを押してください。60秒以内にスタートボタンを押さないと、送信はキャンセルされ、スタンバイ状態に戻ります。

この設定は、Desktop Managerの[ファクス送信の詳細設定]の[自動スタート]でも変更できます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●受付番号

送受信するファクスごとに自動的にふられる番号です。送信は0001から、受信は5001からふられます。通信管理レポートでどのファクスかを区別するのに役立ちます。

●送信結果レポート

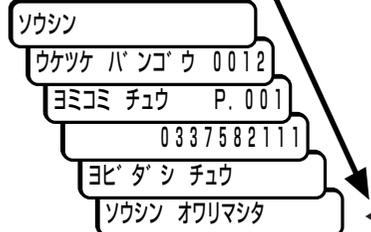
送信結果レポートを印刷するように設定していれば、送信結果レポートかエラー送信レポートが印刷されます。

●相手が話し中のとき

ジドウ リダイヤル　と受付番号が交互に表示されます。

④ スタートボタンを押します。

原稿の読みこみと、ファクス番号の呼び出しが始まります。

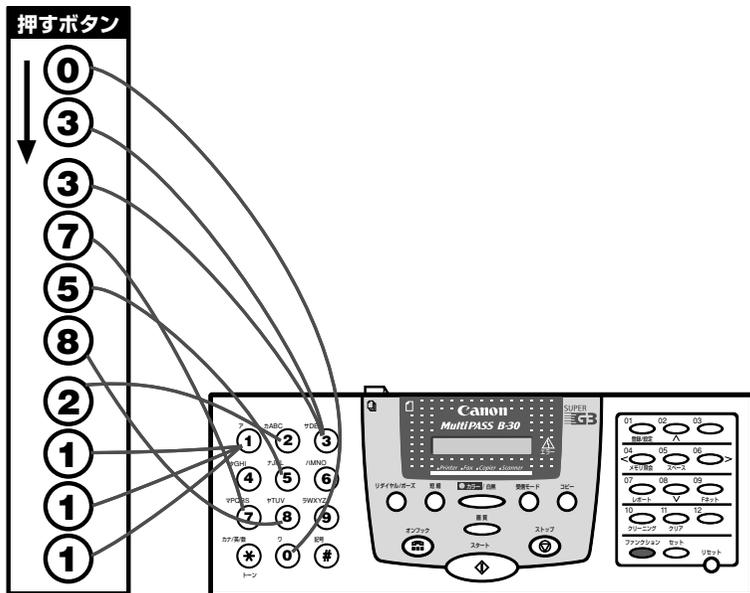
送信中の表示(例)

←送信が終わると、表示されます。

ダイヤルのしかた

ファクス送信先などのダイヤルには、つぎのような方法があります。

テンキーでダイヤルする方法

電話番号を、テンキーで順に押します。

たとえば、「03-3758-2111」をダイヤルするには、つぎのようにひとつずつボタンを押します。

●B-30を内線に接続しているとき

内線(構内回線)から外線番号に送るときは、最初に外線呼び出し番号(一般には「0」)を押し、リダイヤル/ポーズ ボタンを押し、電話番号を入力してください。

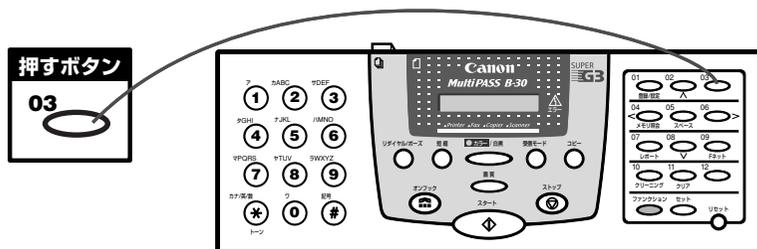
TEL=0p0337582111(例)

●誤ったボタンを押したとき

ストップ ボタンを押してからやりなおします。

ワンタッチダイヤルでダイヤルする方法

電話番号が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。

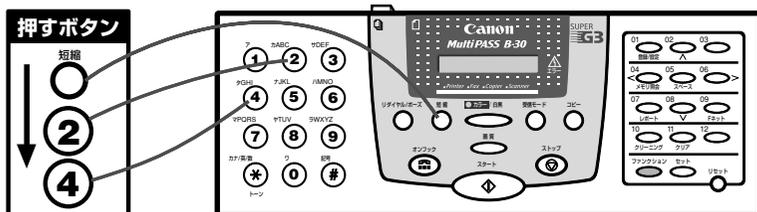
たとえば、相手の電話番号がワンタッチダイヤルの「03」に登録されているときは、03 ボタンを押します。

●「デンワバンゴウ ミトウロク」と表示されたとき

登録されていないワンタッチダイヤルのボタンを押したときに表示されます。他のボタンを押すか、そのボタンに送信先を登録してください。

ワンタッチダイヤルボタンに、グループダイヤルとして複数の電話番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、複数の送信先に順に送信されます。

短縮ダイヤルでダイヤルする方法

短縮ボタンを押して、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を押します。

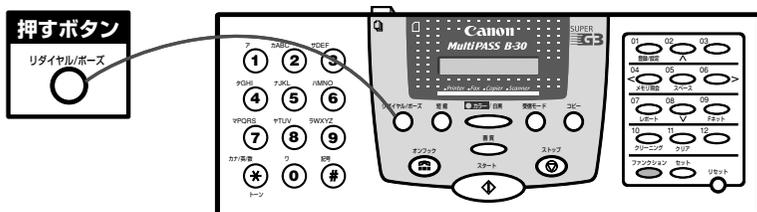
たとえば、相手の電話番号が、短縮ダイヤルの「＊24」に登録されているときは、短縮、②、④の順にボタンを押します。

短縮ダイヤルに、グループダイヤルとして複数の電話番号を登録しておくと、短縮ダイヤルを押すだけで、複数の送信先に順に送信されます。

●「デンワバンゴウ ミトウロク」と表示されたとき

登録されていない短縮ダイヤルの番号を押したときに表示されます。他のボタンを押すか、その番号に送信先を登録してください。

リダイヤル

テンキーでダイヤルした相手にもう一度ダイヤルするときは、リダイヤル/ポーズ ボタンを押します。

ファクスを再送信するときは、原稿をセットして リダイヤル/ポーズ ボタンを押し、スタートボタンを押します。最後にテンキーでダイヤルした番号に送信されます。中止するときは、ストップボタンを押します。

コンピュータでダイヤルする

Desktop Managerを使って、コンピュータから電話番号をダイヤルすることもできます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

接続した電話機を使ってファクスを送る

B-30に子電話を接続しているときは、受話器を取って相手と話してからファクスを送ることができます。これを「手動送信」といい、相手が1本の電話回線を電話とファクスの両方に使っているときなどに便利です。

B-30の(オンフック)ボタンを使って、子電話を使わずに手動送信することもできます。この場合は、相手と話すことはできません。

1 カラーか白黒を選びます。

原稿排紙トレイを開き、(カラー/白黒)ボタンを押すと、カラーと白黒が切り替わります。

ランプがついているときは、カラーで送られます。ランプが消えているときは、白黒で送られます。

●解像度、読み取り濃度の調整

→「解像度を変える」2-7ページ、「読み取り濃度を変える」2-8ページ

2 原稿をセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

LCDディスプレイの表示(例)

```
メモリ シヨウ リョウ    0%
ゲ゛ンコウ ガ゛ アリマス
```

3 子電話の受話器を取るか、(オンフック)ボタンを押して、B-30のテンキーやワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで電話をかけます。

B-30本体でダイヤルすると、LCDディスプレイに電話番号が表示されます。

```
TEL=   0337582111
```
(例)

→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

●番号を間違ったとき

(オンフック)ボタンを押すか、受話器を戻して、3の操作からやりなおしてください。

●受話器を取らないで、(オンフック)ボタンを押したとき

相手の声は聞こえますが、あなたの声は相手には聞こえません。話をするときは受話器を取ってください。

4 相手が応答したら、受話器で会話をします。

相手の声ではなく、ピーという音が聞こえたときは、6の操作に進みます。

5 ファクスを送信するときは、相手に、ファクス機器のスタートボタンを押すなど、受信の操作をしてもらうように伝えます。

6 ピーという音が聞こえたら、B-30の(スタート)ボタンを押して、受話器を戻します。

LCDディスプレイには、「ソウシン」という文字と受付番号が表示されます。

```
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ 0012
```
(例)

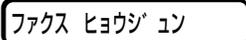
●(スタート)ボタンを押す前に受話器を戻したとき

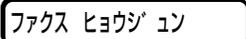
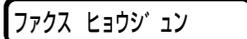
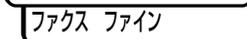
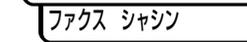
電話が切れ、ファクスは送れません。

解像度を変える

B-30は、キヤノンのGENESIS（超鮮明画像処理技術）によって、原稿にきわめて近い画質でファクスを送信できます。また、原稿にもっとも適した状態でファクスを送信するために、解像度を使い分けることができます。解像度は、つぎのように設定します。

1 カラーの解像度を設定したいときは［●カラー/白黒］ランプがついた状態に、白黒の解像度を設定したいときは消えた状態にします。
［●カラー/白黒］ボタンを押すたびに切り替わります。

2 ［画質］ボタンを押します。
設定されている解像度がLCDディスプレイに表示されます。

ファクス ヒョウジ ュン（例）

3 設定したい解像度が表示されるまで、［画質］ボタンを押します。

最後に表示した解像度に設定されます。約10秒間何も操作しないと、LCDディスプレイの表示がスタンバイ状態に戻ります。

●カラーの2つのモード

ファクス ヒョウジュン
イラストやプレゼンテーション資料のような階調の少ないカラー原稿に適したモードです。B-30どうしならカラーBJカートリッジで印刷するのに適しています。「ファクス ファイン」より、短い時間で送信できます。解像度は200×200dpi。

ファクス ファイン
写真や風景画など、階調の多い自然なカラー原稿に適したモードです。B-30どうしならフォトBJカートリッジで印刷するのに適しています。ただし、フォトBJカートリッジで受信したファクスを印刷するには、フォトインク記録が「スル」に設定されている必要があります。
→「「プリント設定」メニュー」（10-7ページ）
解像度は200×200dpi。

●白黒の3つのモード

ファクス ヒョウジュン
8pels/mm×3.85lines/mmで、通常の文字原稿に適しています。

ファクス ファイン
8pels/mm×7.7lines/mmで、細かい文字原稿に適しています。

ファクス シャシン
8pels/mm×7.7lines/mmでハーフトーンに対応しているので、写真原稿などに適しています。写真などの濃淡が、モノクロではなく64階調のグレースケールで読みこまれます。送信時間は長くなりますが、写真などをよりきれいに送信できます。

●原稿を読みこんでいる途中で解像度を変更したとき
　つぎの原稿からその解像度で読みこまれます。

読み取り濃度を変える

送信するファクスの濃度を、「濃く」、「普通」、「薄く」の3段階に設定できます。

原稿の色が薄くてかすんだり、はっきりしないときなどは「濃く」を選んでください。原稿の色が濃すぎるときや、原稿の用紙に色がついているときは「薄く」を選んでください。

工場出荷時は、「普通」に設定されています。

1 ファンクションボタンを押します。

2 01 登録/設定ボタンを押します。

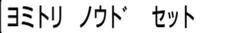
デ゛ータ トウロク

3 セットボタンを押します。

キホン セッテイ

4 セットボタンを押します。

ヒヅ゛ケ/ジ゛コク セット

5 ヨミトリ ノウド゛ セット と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

6 セット ボタンを押します。

設定されている読み取り濃度が表示されます。

フツウ（例）

7 設定したい読み取り濃度が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

8 セットボタンを押します。

読み取り濃度が設定されます。

9 ストップボタンを押します。

03/24 FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

8の操作でセットボタンを押す前にストップボタンを押すと、読み取り濃度の設定は中止され、スタンバイ状態に戻ります。

送信を中止する

ファクスの送信を中止するときは、つぎのように操作します。

1 ストップボタンを押します。

手動送信していたときは、すぐに送信が中止されます。

メモリ送信していたときは、つぎのメッセージが表示されます。

2 ＊ボタンを押します。

ピーポーピーポーと音が鳴り、つぎのメッセージが交互に表示されます。

(例)

送信を続けるときは、#ボタンを押します。

●送信を中止して、原稿がB-30の中に残ったとき

操作パネルを開いて取り除いてください。

→「紙づまり」9-3ページ

送信を中止すると、設定によっては、エラー送信レポートが印刷されます。

→「送信結果のレポートを印刷する」2-14ページ

●自動リダイヤルの中止

自動リダイヤルを中止するときは、つぎのように操作します。

1 リダイヤルが開始されるまで待ち、「ダイヤル チュウ」と表示されたら、ストップボタンを押します。

2 ＊ボタンを押します。

ピーポーピーポーと音が鳴り、つぎのメッセージが交互に表示されます。

(例)

送信を続けるときは、#ボタンを押します。

●自動リダイヤル待機中に、送信を中止するには

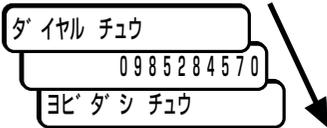
リダイヤル待機中にストップボタンを押しても、リダイヤルは中止できません。このときは、リダイヤル待機中のファクスを、メモリから削除します。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

自動的にリダイヤルする

メモリ送信では、話し中などで相手につながらなかったとき、そのファクス番号に自動的にもう一度送信(自動リダイヤル)されます。リダイヤルする回数やリダイヤルするまでの待ち時間も設定できます。

自動リダイヤル待機中の表示(例)

リダイヤル開始後の表示(例)

送信中の表示(例)

●「ハナシチュウ デシタ」と表示されるとき

指定された回数、リダイヤルしても送信できなかったときに表示されます。しばらく待ってから送信しなおしてください。

●自動リダイヤルを中止するには

→「自動リダイヤルの中止」2-9ページ

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使ってメモリ送信したときは、登録されている名前も表示されます。

●自動リダイヤルの設定をする

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

デ－タ トウロク

2 セットボタンを押します。

キホン セッテイ

3 ソウシン キノウ セッテイ と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

ECMソウシン

5 ジドウ リダイヤル と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

スル (現在の設定が表示されます)

自動リダイヤルにするときは、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押して「スル」にします。

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●自動リダイヤルしないようにするとき

「シナイ」にして、セットボタン、ストップボタンを押します。

7 セットボタンを押します。

リダ゛イヤル カイスウ

8 セットボタンを押します。

2カイ (現在の設定が表示されます)

9 テンキーでリダイヤルする回数を入力します。

5カイ (例)

10 セットボタンを押します。

リダイヤル回数が設定されます。

リダ゛イヤル カンカク

11 セットボタンを押します。

2フン (現在の設定が表示されます)

12 テンキーでリダイヤルする時間の間隔を入力します。

5フン (例)

13 セットボタンを押します。

リダイヤル間隔が設定されます。

ダ゛イヤル タイム アウト

14 ストップボタンを押します。

03/24 FAX/TEL (例・スタンバイ状態)

●リダイヤル回数

1～15回の間で指定します。工場出荷時は2回に設定されています。

●リダイヤル間隔

2～99分の間で指定します。工場出荷時は2分に設定されています。

複数の送信先に一度に送る(同報送信)

同じファクスを複数の送信先に一度に送れます。これを同報送信といいます。

ワンタッチダイヤル(12件まで)、短縮ダイヤル(100件まで)、テンキーでのダイヤル(1件のみ)を組み合わせて、113件までの送信先に送れます。

1 原稿をセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

2 送信先のダイヤルをくり返します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルでダイヤルできます。

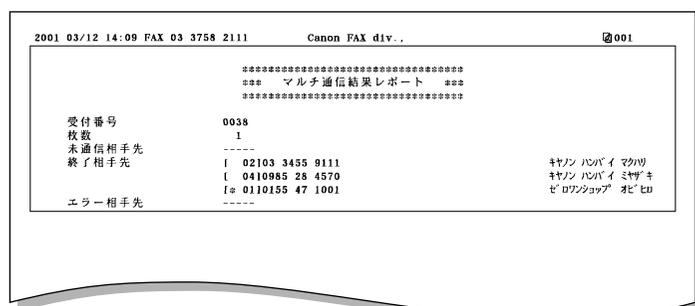
テンキーでも1件だけダイヤルできます。テンキーでダイヤルしたら、その後で(セット)ボタンを押してください。

3 すべての送信先のダイヤルをしたら、(スタート)ボタンを押します。(押さなくても、5～10秒間たつと自動的に原稿が読みこまれます)

設定によっては、マルチ通信結果レポートが印刷されます。

2001 03/12 14:09 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

****
***　マルチ通信結果レポート　***
****

受付番号　0038
枚数　1
未通信相手先　-----
終了相手先　[　02]03 3455 9111　ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
　[　04]0985 28 4570　ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ
　[* 01]0155 47 1001　ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ
エラー相手先　-----

カラー送信のときは、受付番号の横に「：カラー 送信」と表示されます。

●グループダイヤルの登録

同じ複数の送信先にたびたびファクスを送信するときは、グループダイヤルが便利です。

→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ、
グループダイヤルの使い方→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

●ダイヤルの順序と送信の順序

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーダイヤルは、どのような順序でダイヤルしてもかまいません。送信は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーダイヤルの順に行われます。

→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

●自動的な原稿読みこみ

ワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルでダイヤルしてから5～10秒間、つぎのダイヤルをしないと、自動的に原稿が読みこまれ、ファクスの送信が開始されます。

ダイヤルタイムアウト→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

●ダイヤルした番号を確認するには

(ファンクション)ボタンを押してから、(08)ボタンか(02)ボタンを押すと、番号が次々と表示されます。

●「メモリガ イッパイデス」と表示されたら

原稿の読みこみ中にメモリがいっぱいになると、表示されます。B-30の中に読みこみ途中の原稿が残ったときは、操作パネルを開いて取り除き、送信できなかった原稿はいくつかに分けて送信しなおしてください。

●マルチ通信結果レポートが印刷されるのは

送信結果レポートをファクス送信のたびに印刷する設定のときは、同報送信するとマルチ通信結果レポートが印刷されます。エラーのときだけ印刷する設定のときは、1件でもエラーが発生すると印刷されます。

→「送信結果のレポートを印刷する」2-14ページ、「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

時刻を指定して送る（タイマー送信）

ファクスは、時刻を指定して送信することもできます。これをタイマー送信といいます。この機能を使うと、たとえば長距離電話の安い深夜に送信したりすることができます。

タイマー送信は、コンピュータからMultiPASS Suiteを使って行います。B-30がコンピュータに接続され、両方の電源がはいっているときだけ使うことができます。

くわしくは『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

タイマー送信が設定されているときも、通常と同じように、他のファクスを送受信したり、印刷、コピーすることができます。

送信結果のレポートを印刷する

送信の結果は、通信管理レポートや送信結果レポートを印刷して、確認することができます。

通信管理レポート

通信管理レポートには、最新の20件の送受信の結果が印刷されます。

工場出荷時は、ファクスの送受信が20件行われるごとに自動的に印刷されるように設定されています。

●通信管理レポートの設定
→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

2001 03/12 15:07 FAX 03 3758 2111　　Canon FAX d1v.,　　⎚001

****
***　通信管理レポート　***
****

開始時刻	相手の電話番号	相手先略称	番号	通信モード	枚数	通信結果
*03/11 09:03	0985 28 4570	ﾐﾔｻﾞｷ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ	0008	送信 ECM	7	OK 03'06
*03/11 09:14	+1 714 438 3000		5006	自動受信 ECM	4	OK 02'05
*03/11 10:11	011 728 9000		5007	自動受信	2	OK 01'39
*03/11 11:02	027 224 5033	ﾏｴﾊﾞｼ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ	0010	送信 カラー	0	NG 00'00
						0 #018
03/11 15:48	027 224 5033		5008	手動受信	1	OK 00'51
03/11 23:30	03 3455 9000	ｵｷｬｸｻﾏ ｿｳﾀﾞﾝ ｾﾝﾀ	0009	送信	3	OK 04'02
03/12 08:14	098 869 9801	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾅﾊ	0011	送信	0	NG 00'00
						0 #018
03/12 08:15	098 869 9801		5009	自動受信	1	OK 00'54
03/12 09:12	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾎﾝｼﾔ	0012	同報送信 カラー	3	OK 04'07
03/12 09:16	001 1 516 488 6700	Canon U.S.A. Inc	0012	同報送信	1	NG 01'37
						2 STOP
03/12 11:48	027 224 5033	ﾏｴﾊﾞｼ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ	0013	送信 G3	2	OK 02'39

通信管理レポートは、つぎのように操作すると、いつでも印刷できます。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 07 レポート ボタンを押します。

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

3 セット ボタンを押します。

通信管理レポートが印刷されます。

送信結果レポート

送信結果レポートは、工場出荷時は、エラーが発生したときにだけ印刷されるように設定されていますが、送信するごとに印刷したり、まったく印刷しないように設定することもできます。

2001 03/12 15:09 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div., 001

****
*** 送信結果レポート ***
****

次の送信は正しく終了しました

受付番号	0026 ：カラー 送信
相手の電話番号	03 3455 9111
相手先略称	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
開始時刻	03/12 15:07
通信時間	02'15
枚数	1
通信結果	OK

カラーファクスの場合は，レポートに画像が添付されません。

送信結果レポート

●送信結果レポートの設定

→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

●同報送信のとき

マルチ通信結果レポートが印刷されます。

→「複数の送信先に一度に送る（同報送信）」2-12ページ

自黒原稿をメモリ送信で送るときは、送信結果レポートに、原稿の最初のページの一部を印刷することができます。

2001 03/12 14:46 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div., 001

****
*** エラー送信レポート ***
****

次の送信はエラー終了しました

受付番号	0042
相手の電話番号	03 3455 9111
相手先略称	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
開始時刻	03/12 14:45
通信時間	00'00
枚数	0
通信結果	NG #018 話し中でした

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC 18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

最初のページをつけた送信結果レポート

●最初のページをつけるかどうかの設定

送信画像→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

カラーファクスのときは、設定にかかわらず、最初のページをつけることはできません。

外線や海外へのダイヤル

B-30が会社などの内線に接続されていて外線にダイヤルするときや、海外にダイヤルするときは、ファクス番号の間や最後に待ち時間(ポーズ)を入れる必要があります。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録するときは、ポーズも含めて登録しておきます。海外へのダイヤルでは、ポーズを入れる位置や長さは国によって異なります。あらかじめ確認しておいてください。

ポーズを入れる

ファクス番号の間や最後にポーズを入力するときは、つぎのように操作してください。

1 ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録で、送信先のファクス番号を入力するように表示されたら、テンキーで送信先のファクス番号を入力します。

2 ポーズを入れたいところで、リダイヤル/ポーズ ボタンを押します。

番号の間に入れたポーズは、小文字の「p」で表示されます。

番号の最後にポーズを入れるときは、リダイヤル/ポーズ ボタンを押してから、セット ボタンを押します。

番号の最後のポーズは、大文字の「P」で表示されます。

●ポーズの長さ

番号の間に入れるポーズ「p」(小文字)ひとつ分の長さは2秒です。

待ち時間を長くしたいときは、複数のポーズを入れるか、ポーズ(p)ひとつ分の長さを変更します。

ポーズ時間セット→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

ポーズの長さは、コンピュータのDesktop Managerで、[設定]メニューの[ファクス設定]を開いて、[ファクス送信]タブの[詳細設定]をクリックし、[ポーズ時間]で変更することもできます。

番号の最後のポーズ「P」(大文字)ひとつ分の長さは10秒で、変更はできません。

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う

使っている回線がダイヤル(パルス)回線でも、いったん回線を接続すると、プッシュ(トーン)信号に切り替えることができます。プッシュホンサービスなどを使えるようになります。

1 オンフック ボタンを押すか、子電話の受話器を取り、テンキーで相手の電話番号をダイヤルします。

2 カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押して、プッシュ(トーン)信号に切り替えます。
LCDディスプレイに「T」と表示され、プッシュ信号が使えるようになります。

3 相手の指示にしたがって、テンキーのボタンを押し、プッシュホンサービスを利用します。
ファクスを受信するときは、スタート ボタンを押します。

4 終わったら、オンフック ボタンを押すか受話器を戻して、通話を切ります。

●ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録

電話番号の後に カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを入力しておくと、回線がつながった後にプッシュ信号を使えるようになります。

例：

①②③④⑤⑥ リダイヤル/ポーズ リダイヤル/ポーズ リダイヤル/ポーズ カナ/英/数 ＊ トーン カナ/英/数 ＊ トーン ③

[リダイヤル/ポーズ]ボタン

```
TEL=123456pppT*3
```

この例では、電話番号(123456)をダイヤルした後、相手の応答を待つために6秒間(2秒×3)のポーズ(ppp)を入れてから、プッシュ信号(T)に切り替えています。ここまでをワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておきます。その後は、相手の指示にしたがって、テンキーのボタンを押し(＊ 3)、サービスを利用します。

カナ/英/数 ＊ トーン ボタンは、プッシュ信号に切り替えるときは「T」、その後の操作では「＊」とLCDディスプレイに表示されます。

Fネット、Arcstar InternetFAXに接続する

Fネットを利用する

Fネット(ファクシミリ通信網)は、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。

Fネットでできること	内容
一斉同報通信	1回の操作で、同じ原稿を最大1000か所まで同時に送ることができます。夜間割引もあります。
短縮ダイヤル	最大1000件の短縮ダイヤルを利用できます。
再コール	相手が通信中のとき、2分間隔で5回まで自動的に再ダイヤルします。再ダイヤルの回数は変更できます。
不達通知	再コールをしても相手が話し中などで送信できなかったとき、そのことを送信側に通知します。
親展通信	暗証番号を使って登録されている親展文書を受信できます。(受信側は無鳴動受信の契約が必要です)
閉域接続	サークル仲間など、特定の相手との通信ネットワークを作ることができます。
ファクスボックス	ファクス使用中のときでも、Fネットを通して送られてくるファクスであれば、一時預かります。

Fネットをご利用になるには、NTTコミュニケーションズとの加入契約が必要です。「G3サービス 16Hz」でご契約ください。

スピードダイヤルに登録するときは、「161」または「162」の後に、09 Fネット ボタンを押して「.」を入力すると、Fネットの第2ダイヤルトーン(プップップッという音)を検知するまで、つぎのダイヤルを行わないようにすることができます。

●Fネットについて

くわしくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

B-30は、1300Hzのサービスには対応していません。

Arcstar InternetFAXを利用する

Arcstar InternetFAXは、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。

Arcstar InternetFAX FAX接続型サービスでできること	内容
複数の相手への送信（電話番号指定同報）	指定した電話番号やUID（専用線接続型、インターネット接続型サービス利用者のユーザID）に、最大10件まで、ファクスまたはEメールを同報送信できます。
グループへの送信（宛先リスト同報）	送信先をあらかじめグループとして登録しておくと、そのグループにいちどに送信できます（いちどに最大1000件まで）。
時刻を指定しての送信（時刻指定配送）	時刻を指定して、ファクスやEメールを送信できます。
送り直し（再送信）	送信できなかった場合は、かんたんな操作で再送信できます。
フリーダイヤル（着信課金機能）	Arcstar InternetFAX版フリーダイヤルです。通信料が着信側に課金されます。
漢字の宛先をつける（漢字宛名付与）	通信文の1ページめ、メール本文の先頭に、送信先の名前などを漢字で入れます。
添付ファイルでの送信（OCR 機能）	所定のマークシートに記入してファクス送信すると、メールの添付ファイルに変換され、送信されます。画像もつけて送信できます。

Arcstar InternetFAXをご利用になるには、NTTコミュニケーションズとの加入契約が必要です。「FAX接続型サービス」でご契約ください。

スピードダイヤルに登録するときは、「003501」の後に 09 Fネット ボタンを押して、「.」を入力してください。

●Arcstar InternetFAXについて

くわしくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

3章 スピードダイヤルの登録

ファクス番号(電話番号)をダイヤルする方法には、テンキーを使ってダイヤルする方法のほかに、あらかじめファクス番号を登録しておいてダイヤルするスピードダイヤルがあります。

スピードダイヤルには、つぎの3つがあります。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルにファクス番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけでダイヤルできます。12件まで登録できます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルにファクス番号を登録しておくと、(短縮)ボタンを押して登録した2桁の数字のキーを押すだけでダイヤルできます。100件まで登録できます。

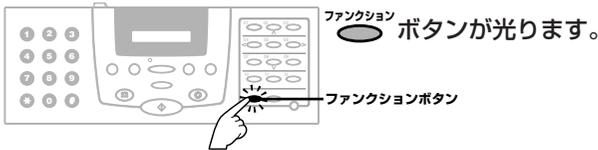
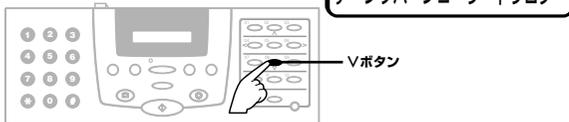
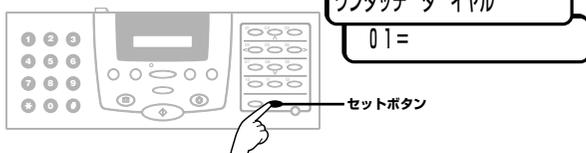
グループダイヤル

ひとつのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、他の複数のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルをまとめて登録することもできます。これをグループダイヤルといいます。グループダイヤルを使うと、登録したすべての送信先に一度にファクスを送信できます。

● **コンピュータと接続して使うとき**

スピードダイヤルは、Desktop Managerで登録してください。B-30の操作パネルで登録しても、上書きされ、消去される可能性があります。操作パネルで登録したスピードダイヤルはDesktop Managerには表示されません。また、Desktop Managerでは、漢字などの全角文字を使えますが、B-30のLCDディスプレイでは全角文字を表示できないので「.......」と表示されます。LCDディスプレイにもきちんと表示したいときは、送信先の名前は半角のカタカナや英数字で登録してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

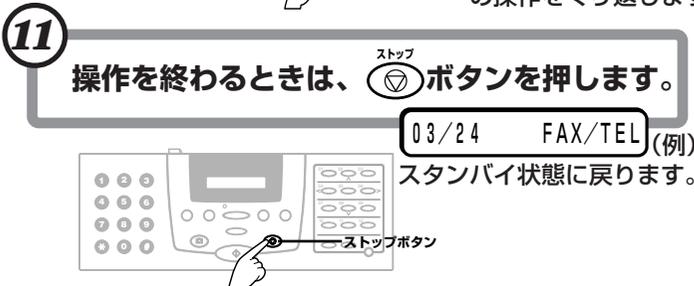
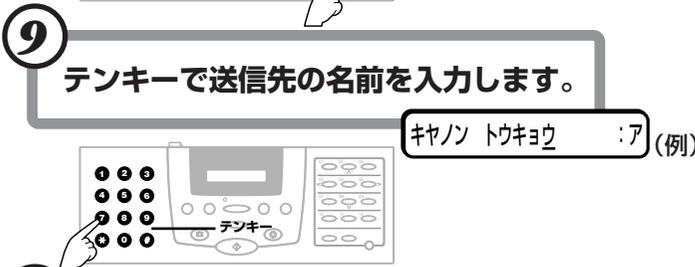
　ワンタッチダイヤルには、12件まで登録できます。よくダイヤルする送信先を登録してください。

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

　Desktop Managerを使ってコンピュータから登録してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

ワンタッチダイヤルの使い方→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

　01から12までのどれかに登録します。

　すでにファクス番号が登録されているときは、その番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。

●送信先のファクス番号

スペースを含めて120桁まで入力できます。

番号の間にスペースを入れるとき

05 スペース ボタンを押します。（スペースは番号を読みやすくするためのもので、ダイヤルするときは無視されます）

ファクス番号を消去するとき

04 メモリ照会 ボタンを押します。カーソルの左の1文字が消去されます。すべて消去するときは 11 クリア ボタンを押します。

番号の間に待ち時間がいるとき

必要な数だけ リダイヤル/ポーズ ボタンを押して、ポーズを入れます。ポーズひとつにつき、2秒の待ち時間になります。

●送信先の名前

スペースを含めて16文字まで入力できます。

→「文字を入力する」1-4ページ

●続けてワンタッチダイヤルを変更、削除するとき

「ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する」(→3-4ページ)、「ワンタッチダイヤルを削除する」(→3-5ページ)の4以降の操作を行います。

ワンタッチダイヤルの一覧の印刷→「スピードダイヤルの一覧を印刷する」3-11ページ

ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する

ワンタッチダイヤルに登録したファクス番号や名前を変更するときは、つぎのように操作します。

1 ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 08 ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

3 セット ボタンを2回押します。

ワンタッチ ダ゛イヤル　　01=03 3455 9111（例）

4 変更するワンタッチダイヤルの番号が表示されるまで、08 ボタンか 02 ボタンを押します。

04=03 3758 2111（例）

5 セット ボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　　TEL=3 3758 2111_（例）

●ファクス番号を変更するとき

04 メモリ照会 ボタンを押して1字ずつ番号を消してからテンキーで新しいファクス番号を入力するか、11 クリア ボタンを押してから新しいファクス番号を入力します。

TEL=43 211 9111_（例）

6 セット ボタンを2回押します。

ナマエ　　キヤノン ハンバ゛イ :ア（例）

●名前を変更するとき

テンキーで登録されている名前の上から新しい名前を入力するか、11 クリア ボタンを押してから新しい名前を入力します。

キヤノン カナガ゛ワ :ア（例）

7 セット ボタンを押します。

つぎのワンタッチダイヤルが表示されます。

05=0462 23 8221（例）

8 操作を終わるときは、ストップ ボタンを押します。

03/24 FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使ってコンピュータから変更してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」(→3-9ページ)と表示されます。

●送信先のファクス番号

スペースを含めて120桁まで入力できます。

●送信先の名前

スペースを含めて16文字まで入力できます。

→「文字を入力する」1-4ページ

●続けて他のワンタッチダイヤルも変更するとき

4以降の操作を行います。

●続けてワンタッチダイヤルを登録するとき

「ワンタッチダイヤルを登録する」(→3-2ページ)の5以降の操作を行います。

●続けてワンタッチダイヤルを削除するとき

「ワンタッチダイヤルを削除する」(→3-5ページ)の4以降の操作を行います。

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルに登録した送信先を削除するときは、つぎのように操作します。

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 08 ▽ボタンを1回押します。

デ゛ンワハ゛ンコ゛ウ トウロク

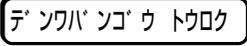
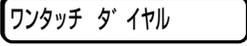
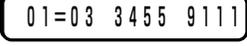
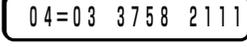
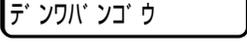
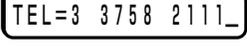
3 セットボタンを2回押します。

ワンタッチ ダ゛イヤル　01=03 3455 9111（例）

4 削除するワンタッチダイヤルの番号が表示されるまで、08 ▽ボタンか02 △ボタンを押します。

04=03 3758 2111（例）

5 セットボタンを2回押します。

デ゛ンワハ゛ンコ゛ウ　TEL=3 3758 2111_（例）

6 11 クリアボタンを押します。

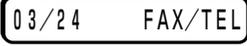
ファクス番号が削除されます。

7 セットボタンを押します。

ファクス番号を削除すると、名前も削除されます。

クリア シマシタ　ナマエ

8 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

03/24 FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使ってコンピュータから削除してください。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」（→3-9ページ）と表示されます。

●続けて他のワンタッチダイヤルも削除するとき

セットボタンを2回押した後、4以降の操作を行います。

●続けてワンタッチダイヤルを登録するとき

セットボタンを2回押した後、「ワンタッチダイヤルを登録する」（→3-2ページ）の5以降の操作を行います。

●続けてワンタッチダイヤルを変更するとき

セットボタンを2回押した後、「ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する」（→3-4ページ）の4以降の操作を行います。

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、送信先を100件まで登録できます。

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

```
デ゛ータ トウロク
```

2 08ボタンを1回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
```

3 セットボタンを押してから、08ボタンを1回押します。

```
タンシュク ダ゛イヤル
```

4 セットボタンを押します。

```
*00=
```

5 短縮ボタンを押してテンキーで「00」〜「99」のうち登録する短縮ダイヤルの番号を押します。
または、「＊00」〜「＊99」のうち登録する短縮ダイヤルの番号が表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

```
*05=
```

（例）

6 セットボタンを2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
```

```
TEL=_
```

7 テンキーで送信先のファクス番号を入力します。

```
TEL=3 3758 2111_
```

（例）

8 セットボタンを押します。

```
トウロク シマシタ
```

```
ナマエ
```

9 もう一度セットボタンを押し、テンキーで送信先の名前を入力します。

```
キヤノン ハンバ゛イ      :ア
```

（例）

10 セットボタンを押します。
つぎの短縮ダイヤルが表示されます。

```
トウロク シマシタ
```

```
*06=
```

11 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

```
03/24    FAX/TEL
```

（例・スタンバイ状態）

●B-30をコンピュータと接続して使うとき
　Desktop Managerを使って登録してください。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

　すでにファクス番号が登録されているときは、その番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」(→3-9ページ)と表示されます。

●送信先のファクス番号
　スペースを含めて120桁まで入力できます。
番号の間にスペースを入れるとき
05 スペースボタンを押します。（スペースは番号を読みやすくするためのもので、実際のダイヤルでは無視されます）
ファクス番号を消去するとき
04 メモリ照会ボタンを押します。カーソルの左の1文字が消去されます。すべて消去するときは 11 クリアボタンを押します。
番号の間に待ち時間がいるとき
必要な数だけリダイヤル/ポーズボタンを押して、ポーズを入れます。ポーズひとつにつき、2秒の待ち時間になります。

●送信先の名前
　スペースを含めて16文字まで入力できます。
→「文字を入力する」1-4ページ

●続けて他の短縮ダイヤルも登録するとき
　5以降の操作を行います。

●続けて短縮ダイヤルを変更、削除するとき
　「短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する」(→3-7ページ)の5以降の操作を行います。

短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する

短縮ダイヤルに登録したファクス番号や名前を変更するときや削除するときは、つぎのように操作します。

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 08 ∨ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

3 セットボタンを押してから、08 ∨ボタンを1回押します。

タンシュク ダ゛イヤル

4 セットボタンを押します。

*00=03 3758 2111（例）

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」（→3-9ページ）と表示されます。

5 短縮ボタンを押して、テンキーで「00」～「99」のうち変更する短縮ダイヤルの番号を押します。
または、その番号が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

*05=043 211 9111（例）

6 セットボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　　TEL=43 211 9111_（例）

●ファクス番号を変更するとき

04 < メモリ照会ボタンを押して1字ずつ番号を消してからテンキーで新しいファクス番号を入力するか、11 クリアボタンを押してから新しいファクス番号を入力します。

TEL=3 3455 9111_（例）

●登録を削除するとき

11 クリアボタンを押します。登録されていた名前も削除されます。

TEL=

7 セットボタンを2回押します。

ナマエ　　キヤノン ハンバ゛イ　　:ア（例）

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使ってコンピュータから変更、削除してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●送信先のファクス番号

スペースを含めて120桁まで入力できます。

●名前を変更するとき

テンキーで登録されている名前の上から新しい名前を入力するか、クリア ボタンを押してから新しい名前を入力します。

キヤノン カナガワ :ア (例)

8 セット ボタンを押します。

つぎの短縮ダイヤルが表示されます。

*06=0985 28 4570 (例)

9 操作を終わるときは、ストップ ボタンを押します。

03/24 FAX/TEL (例・スタンバイ状態)

●送信先の名前

スペースを含めて16文字まで入力できます。

→「文字を入力する」1-4ページ

●続けて他の短縮ダイヤルも変更、削除するとき

5以降の操作を行います。

●続けて短縮ダイヤルを登録するとき

「短縮ダイヤルを登録する」(→3-6ページ)の5以降の操作を行います。

グループダイヤルを登録、変更、削除する

複数の送信先によくファクスを送信するときは、それらの送信先をひとつにまとめてグループダイヤルとして登録することができます。

グループに入れる送信先は、あらかじめワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルに登録してください。また、それぞれのグループダイヤルは、ワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルのひとつとして登録します。

グループダイヤルには、送信先を111件まで登録できます。

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使って登録、変更、削除してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

1 ファンクションボタンを押します。

2 01 登録/設定ボタンを押します。

```
デ゛ータ トウロク
```

3 08ボタンを1回押します。

```
デ゛ンワハ゛ンコ゛ウ トウロク
```

4 セットボタンを押してから、08ボタンを2回押します。

```
ク゛ルーフ゜ ダ゛イヤル
```

5 セットボタンを押します。

6 グループダイヤルを登録、変更、削除するワンタッチダイヤル、または、短縮ダイヤルの番号を選びます。

●ワンタッチダイヤルのとき

08ボタンか02ボタンを押すか、ファンクションボタンを押してランプを消しワンタッチダイヤルボタンを押して、「01」～「12」のうち登録、変更、削除するワンタッチダイヤルボタンの番号を表示します。

番号がすでに登録されているときは、「ワンタッチ ダイヤル」または「グループ ダイヤル」と表示されます。

●短縮ダイヤルのとき

短縮ボタンを押してから、テンキーで、「00」～「99」のうち登録、変更、削除する短縮ダイヤルの番号(2桁)を入力します。一度、短縮ダイヤルを入力すると、08ボタン、02ボタンで短縮ダイヤルを選べるようになります。

番号がすでに登録されているときは、「タンシュク ダイヤル」または「グループ ダイヤル」と表示されます。

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルにすでに送信先が登録されているとき

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには、送信先かグループダイヤルのどちらかひとつを登録できます。すでに登録されている番号に上書きしてしまわないように注意してください。

すでに送信先が登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの番号にグループダイヤルを登録したいときや、グループダイヤルを登録しなおしたいときは、先に登録されている内容を削除してから登録してください。

→「ワンタッチダイヤルを削除する」3-5ページ
→「短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する」3-7ページ

7 セットボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　TEL=（例）

8 送信先を登録、削除します。

●ワンタッチダイヤルに登録されている送信先を登録するとき

ファンクションボタンを押してランプを消し、登録したいワンタッチダイヤルボタンをすべて押してから、もう一度ファンクションボタンを押します。

●短縮ダイヤルに登録されている送信先を登録するとき

短縮ボタンを押してから、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を入力します。短縮ダイヤル番号を複数入力するときは、この操作をくり返してください。

●グループに登録されている送信先を削除するとき

08ボタン、02ボタンを押して、削除したい送信先が表示されたら、11クリアボタンを押します。

●グループそのものを削除するとき

11クリアボタンをくり返し押して、グループ内のすべての番号を削除します。すべての番号を削除して、TEL=と表示されたら、9の操作に進んでください。

9 セットボタンを2回押します。

ナマエ　キヤノン グ゛ループ゜_　:ア（例）

●グループ名を登録、変更するとき

テンキーでグループ名を入力、または、変更します。

10 セットボタンを押します。

つぎのダイヤルやワンタッチダイヤルが表示されます。

トウロク シマシタ　04=ワンタッチ ダ゛イヤル（例）

11 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

03/24　FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されていない送信先は、グループに登録できません。

08ボタン、02ボタンを押すと、グループに登録されている番号が順に表示されます。

●グループ名

スペースを含めて16文字まで入力できます。

→「文字を入力する」1-4ページ

9の操作でセットボタンを押す前にストップボタンを押すと、それまでのグループの登録、変更、削除の操作は取り消され、スタンバイ状態に戻ります。

●続けて他のグループダイヤルも登録、変更、削除するとき

6以降の操作を行います。（短縮ダイヤルにグループを登録した後に、ワンタッチダイヤルにグループを登録するときは、ファンクションボタンを押してワンタッチダイヤルボタンで登録してください）

スピードダイヤルの一覧を印刷する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルのリストを印刷することができます。

1 ファンクションボタンを押し、07 レポートボタンを押します。

ツウシン カンリ レポ゛ート

2 08 ∨ボタンを1回押します。

ダ゛イヤルリスト

3 セットボタンを押します。

4 印刷したいリストが表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

5 セットボタンを押します。

●ワンタッチダイヤルリスト、短縮ダイヤルリストを選んだとき

つぎのように表示されます。

ソート シュツリョク
ハイ= (*) イイエ= (#)

送信先の名前の順に印刷するときは(*)ボタンを、番号順(ボタン順)に印刷するときは(#)ボタンを押すと、リストが印刷されます。

●グループダイヤルリストを選んだとき

リストが印刷されます。

3 スピードダイヤルの登録

ワンタッチダイヤル電話番号リスト

ソート出力しないとき（記号 # ボタンを押したとき）

2001 03/12 12:03 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

****
***　ワンタッチダイヤル電話番号リスト　***
****

番号	相手の電話番号	相手先略称
[01]	03 3758 2111	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ
[02]	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
[03]	022 265 9000	ｵｷｬｸｻﾏ ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀﾞ
[04]	0985 28 4570	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ
[05]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[07]	0077 31 20 545 8545	Canon Europa N.V
[08]	0041 44 181 773 6000	Canon UK Ltd.
[10]	グループダイヤル	ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ
[11]	グループダイヤル	ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A
[12]	グループダイヤル	ｵﾄｸｲ ｻﾏ

ソート出力するとき（カナ/英/数 * トーン ボタンを押したとき）

2001 03/12 12:04 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

****
***　ワンタッチダイヤル電話番号リスト　***
****

番号	相手の電話番号	相手先略称
[03]	022 265 9000	ｵｷｬｸｻﾏ ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀﾞ
[12]	グループダイヤル	ｵﾄｸｲ ｻﾏ
[05]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[02]	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
[04]	0985 28 4570	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ
[01]	03 3758 2111	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ
[11]	グループダイヤル	ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A
[10]	グループダイヤル	ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ
[07]	0077 31 20 545 8545	Canon Europa N.V
[08]	0041 44 181 773 6000	Canon UK Ltd.

短縮ダイヤル電話番号リスト

ソート出力しないとき（記号 # ボタンを押したとき）

2001 03/12 12:05 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

****
***　短縮ダイヤル電話番号リスト　***
****

番号	相手の電話番号	相手先略称
[* 00]	0187 63 5401	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵｵﾏｶﾘ
[* 01]	0155 47 1001	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ
[* 02]	019 646 8710	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ
[* 05]	0839 73 2165	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾔﾏｸﾞﾁ
[* 07]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[* 14]	0776 53 7901	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾌｸｲ
[* 30]	001 1 516 488 6700	Canon U.S.A. Inc
[* 70]	00111298765	ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ
[* 71]	0123456789	ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ
[* 77]	0900011234	ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ

ソート出力するとき（カナ/英/数 * トーン ボタンを押したとき）

2001 03/12 12:06 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

****
***　短縮ダイヤル電話番号リスト　***
****

番号	相手の電話番号	相手先略称
[* 07]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[* 02]	019 646 8710	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ
[* 05]	0839 73 2165	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾔﾏｸﾞﾁ
[* 71]	0123456789	ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ
[* 00]	0187 63 5401	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵｵﾏｶﾘ
[* 01]	0155 47 1001	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ
[* 14]	0776 53 7901	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾌｸｲ
[* 70]	00111298765	ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ
[* 77]	0900011234	ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ
[* 30]	001 1 516 488 6700	Canon U.S.A. Inc

グループダイヤル電話番号リスト

2001 03/12 12:11 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

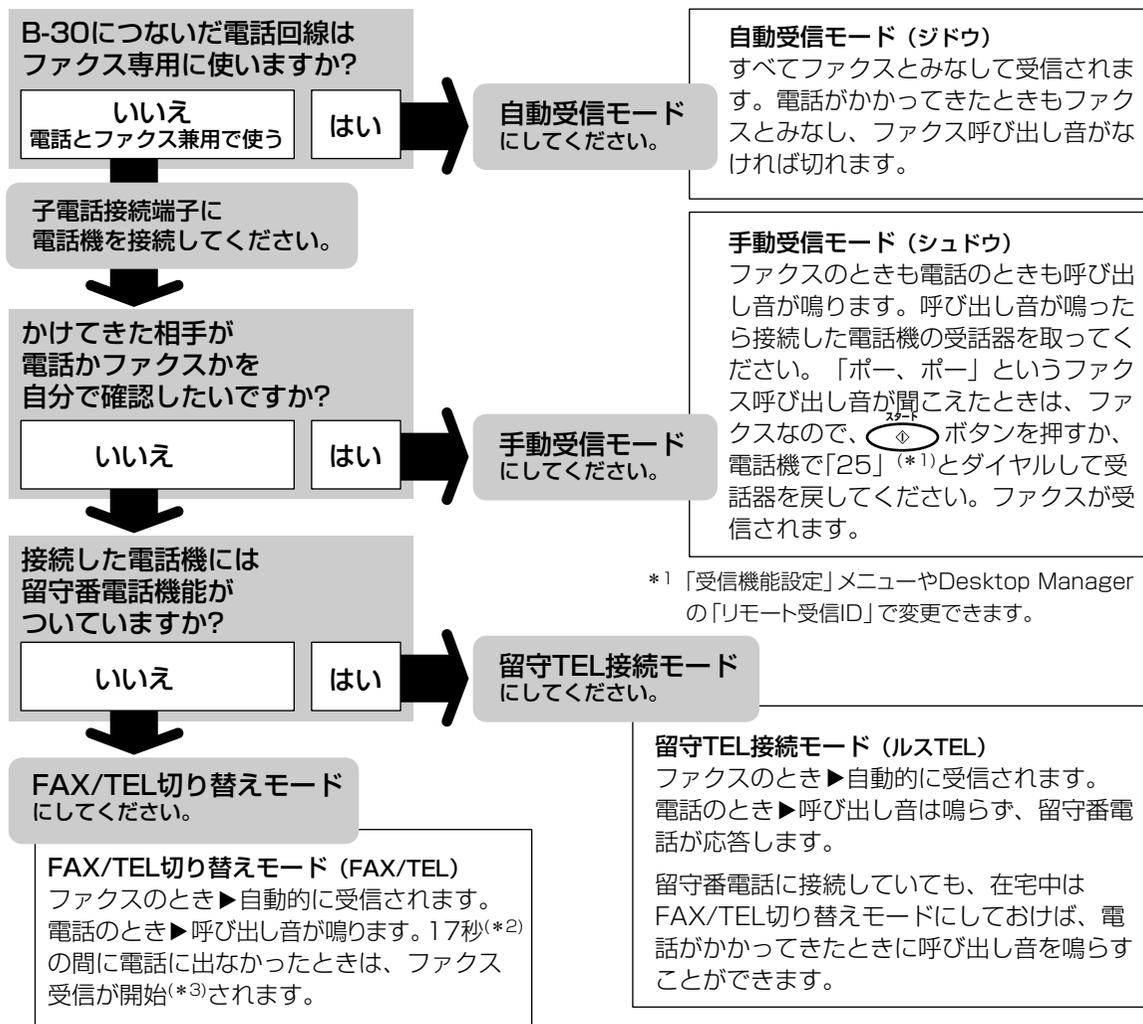
****
***　グループダイヤル電話番号リスト　***
****

グループ	番号	電話番号	相手先略称
[10] ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ	[01]	03 3758 2111	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ
	[02]	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
	[07]	0077 31 20 545 8545	Canon Europa N.V
	[* 30]	001 1 516 488 6700	Canon U.S.A. Inc
[11] ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A	[04]	0985 28 4570	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ
	[* 02]	019 646 8710	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ
	[* 07]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[12] ｵﾄｸｲ ｻﾏ	[* 70]	00111298765	ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ
	[* 71]	0123456789	ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ
	[* 77]	0900011234	ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ

4章 ファクスを受信する

この章では、ファクスを受信する方法について説明します。

ファクス受信モードの種類

B-30には、4つのファクス受信モードがあります。つぎの図を見て、適切なモードを選んでください。

*2 「受信機能設定」メニューやDesktop Managerの「呼び出し時間」で変更できます。
*3 「受信機能設定」メニューやDesktop Managerの「呼び出し後の動作」で、電話を切るように設定することもできます。

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

MultiPASS SuiteのDesktop Managerでは、受信したファクスを印刷せずに、コンピュータに送り、画像データとして保存する(PCファクス)ように設定することもできます。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

ファクス受信モードを切り替える

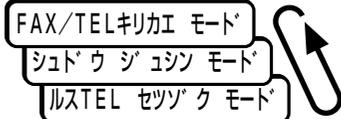
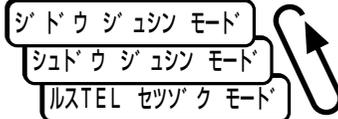
B-30の受信モードは、つぎのように設定します。設定は必要に応じていつでも変更できます。

1 受信モード ボタンを押します。

設定されている受信モードが表示されます。

`ｼｭﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ`（例）

2 設定したい受信モードが表示されるまで、受信モード ボタンを押します。

「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」が「FAX/TEL切り替え」のとき

「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」が「自動受信モード」のとき

3 ストップ ボタンかセット ボタンを押すか、約10秒間待ちます。

受信モードが設定され、今日の日付と設定した受信モードが表示されます。

`03/24 ﾙｽTEL`（例・スタンバイ状態）

●受信モード ボタンを押しても、「FAX/TELキリカエ モード」、「ジドウ ジュシン モード」が表示されないとき

「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」が「FAX/TEL切り替え」のときは、受信モード ボタンを押しても「ジドウ ジュシン モード」にはなりません。「自動受信モード」のときは、「FAX/TELキリカエ モード」にはなりません。「受信モード選択」を切り替えてください。

→「「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」を切り替えるには」下欄

●「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」を切り替えるには

1 ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

`ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ`

2 セット ボタンを押します。

`ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ`

3 `ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ` と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。

`ECMｼﾞｭｼﾝ`

5 08 ∨ ボタンを1回押します。

`ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ`

6 セット ボタンを押します。

●B-30をコンピュータと接続して使うとき

受信モードは、Desktop Managerで設定してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

7 08▽ボタンか02△ボタンを押して、設定したいモードに表示を切り替えます。

「ジドウ ジュシン モード」にしたときは17の操作へ進んでください。

8 セットボタンを押します。

ヨビ゛ダ゛シ カイシ ジ゛カン

「呼び出し開始時間」、「呼び出し時間」、「呼び出し後の動作」を設定しないときは、ストップボタンを押し、操作を終わってください。

9 もう一度セットボタンを押します。

8ビ゛ョウ（現在の設定が表示されます）

10 テンキーで、呼び出し開始時間を、秒単位で入力します。（08▽、02△ボタンで選ぶこともできます）

9ビ゛ョウ（例）

11 セットボタンを押します。

呼び出し開始時間が設定されます。

ヨビ゛ダ゛シ ジ゛カン

12 もう一度セットボタンを押します。

17ビ゛ョウ（現在の設定が表示されます）

13 テンキーで、呼び出し時間を、秒単位で入力します。（08▽、02△ボタンで選ぶこともできます）

23ビ゛ョウ（例）

14 セットボタンを押します。

呼び出し時間が設定されます。

ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ ド゛ウサ

15 もう一度セットボタンを押します。

ジ゛ュシン（現在の設定が表示されます）

16 08▽ボタンを押して、「ジュシン」か「シュウリョウ」を選びます。

17 セットボタンを押します。

チャクシン ヨビ゛ダ゛シ

18 ストップボタンを押します。

03/24　FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

●呼び出し開始時間

かけてきた相手が電話かファクスかを判別する時間。この時間の間にファクス呼び出し音が聞こえてこなかったときは、電話とみなして呼び出し音を鳴らし始めます。0～30秒の間で指定できます。工場出荷時の設定は8秒です。

●呼び出し時間

呼び出し音が鳴っているのに、ここで指定した時間の間、誰も受話器を取らないと、呼び出し音は止まり、「呼び出し後の動作」が行われます。10～300秒の間で指定できます。工場出荷時の設定は17秒です。

●呼び出し後の動作

「ヨビダシ ジカン」で設定した時間の間、呼び出し音を鳴らしても誰も電話に出なかったときにどうするかを設定します。工場出荷時の設定は「ジュシン」です。

ジュシン

自動的にファクス受信を開始します。ファクスが送られてこないときは、約35秒後に電話を切ります。

シュウリョウ

すぐに電話を切ります。

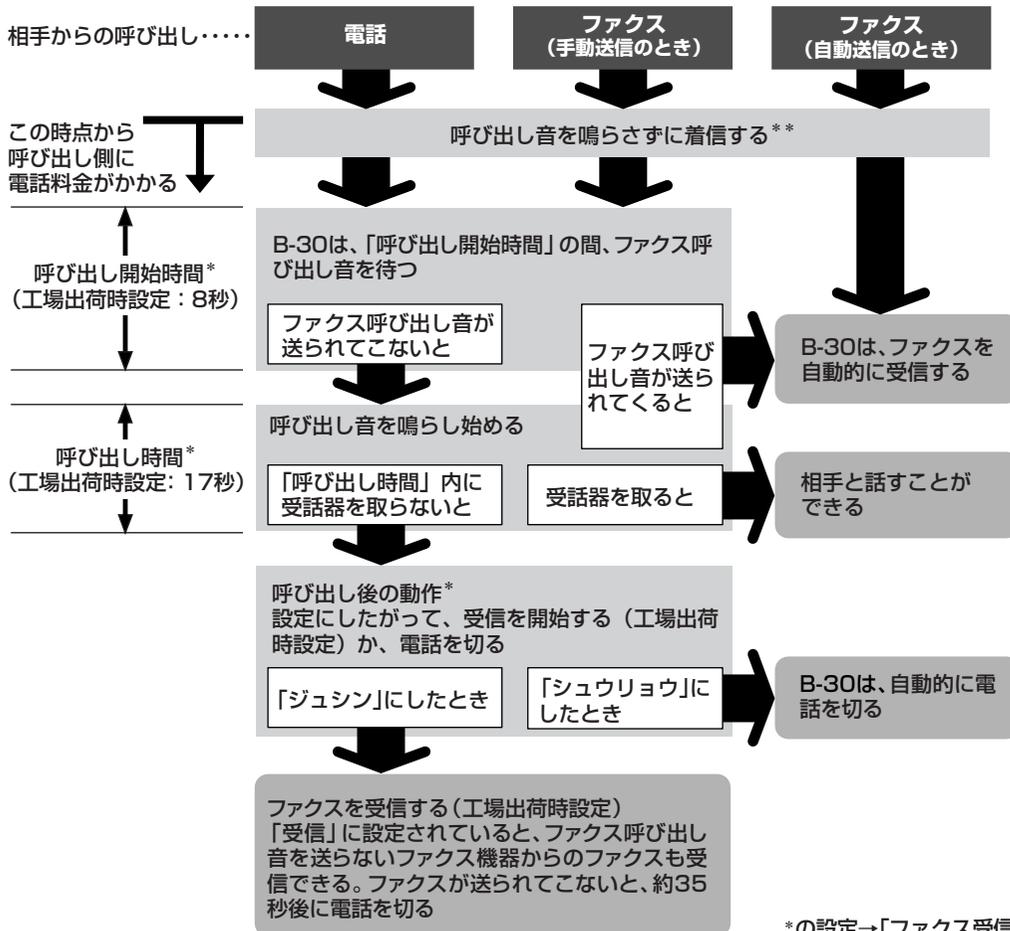
FAX/TEL切り替えモード

B-30をファクス以外に、電話としても使いたいときは、FAX/TEL切り替えモードにします。電話を使うためには、B-30に子電話を接続しておく必要があります。

FAX/TEL切り替えモードでは、つぎのように、かけてきた相手がファクスか電話かを自動的に判断します。

子電話の接続→『マルチパスB-30の羅針盤』

*の設定→「ファクス受信モードを切り替える」4-3ページ

**「受信機能設定」メニューの「着信呼び出し」(→10-6ページ)で子電話の呼び出し音を鳴らすように設定できます。

B-30は、呼び出しがあるとファクスか電話かを判断するためにファクス呼び出し音(ポーという音)が送られてくるのを待ちます。呼び出しがファクスのとき(ファクス呼び出し音が送られてきたとき)は、自動的に受信します。呼び出しが電話のとき(ファクス呼び出し音が送られてこないとき)は、受話器を取るように呼び出し音が鳴ります。「呼び出し時間」(17秒)以内に受話器を取らないと、呼び出し音が止まり、呼び出し後の動作に移ります。

手動受信モード

B-30に接続した電話をよく使うときは、手動受信モードにします。手動受信モードでは、B-30に子電話を接続しておく必要があります。

子電話の接続→『マルチパスB-30の羅針盤』

●電話・ファクスの受け方

1. 呼び出し音が鳴ったら、子電話の受話器を取ります。
2. 相手の声が聞こえたときは電話なので、相手と会話をします。会話の後でファクスを受信するときは、3の操作をします。
   ポーという音が聞こえたときはファクスなので、3の操作をします。
3. 操作パネルの(スタート)ボタンを押します。
   B-30に接続した子電話が離れたところにあるときは、リモート受信が便利です。子電話のダイヤルで②⑤(工場出荷時設定)と押すと、B-30が受信を始めます。この②⑤をリモート受信IDといいます。
4. 受話器を戻します。
   受信を開始する前に受話器を戻すと、回線が切れてしまうので注意してください。

●リモート受信

子電話がB-30から離れた場所にあるときに便利です。

リモート受信IDは、工場出荷時は「25」に設定されています。子電話として留守番電話を接続しているとき、外出先からメッセージを聞くなどの留守番電話の操作のための番号がリモート受信IDと同じだと、B-30が誤動作することがあります。そういうときは、リモート受信IDの番号を変更してください。

リモート受信IDの変更
→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ

●原稿をセットしているとき

送信モードになってしまいます。(スタート)ボタンを押す前に原稿がないことを確認してください。

●呼び出しが続いたら自動受信モードに切り替わるように設定する

手動受信モードで一定時間呼び出しが続いたら、自動的に自動受信モードに切り替わるように設定できます。

自動受信切り替えの設定→「自動受信切り替え」10-6ページ

自動受信モード

B-30を、ファクスの送受信専用に使う電話回線に接続して、ファクスだけを自動的に受信するようにしたいときは、自動受信モードにします。

自動受信モードでは、ファクスは自動的に受信し、電話のときは回線を切ります。

●呼び出し音

子電話を接続している場合、自動受信モードで呼び出しがあったときに、子電話の呼び出し音を鳴らすかどうかを、変えることができます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ

留守TEL接続モード

B-30に留守番電話を接続すると、ファクスを受信するだけでなく、留守のときは相手のメッセージを録音することができます。

留守TEL接続モードでは、留守番電話の応答メッセージを流してから、ファクス呼び出し音を待ちます。ファクス呼び出し音が送られてくると、受信を開始します。

留守番電話の接続→『マルチパスB-30の羅針盤』

●留守番電話機の準備

留守TEL接続モードにするときは、つぎのような準備をしてください。

留守番電話の設定

呼び出し音が1回または2回鳴ったところで応答するように、設定してください。

応答メッセージ

応答メッセージの長さは15秒以内にしてください。メッセージでは、つぎのように、ファクスの送信方法を説明してください。

「はい、○○です。ただいま留守にしています。ご用の方は、ピーという音の後にご用件をお話しください。ファクスを送信するときは、スタートボタンまたは送信ボタンを押してください」

●ファクスの受信がうまくいかないとき

応答メッセージの最初の6秒間を、何も話さない無音の状態にしてみてください。この間にB-30は、かかってきたのが電話かファクスかを判断します。

カラーで受信する

工場出荷時の設定では、カラーで送られてくるファクスはカラーで受信するようになっています。

カラーBJカートリッジが取り付けられているときは、受信したカラーファクスはその場で印刷されます。

ブラックBJカートリッジが取り付けられているときは、受信したカラーファクスはメモリに保存され、つぎのメッセージが交互に表示されます。

ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ
BC33 ﾆ ｺｳｶﾝ

カラーBJカートリッジに交換すると、メモリに保存されたカラーファクスが自動的に印刷されます。

●カラー受信するかどうかを設定する

工場出荷時の設定では、カラーで送られてくるファクスはカラーで受信するようになっています。

1 ファンクションボタンを押し、01（登録/設定）ボタンを押します。

ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ

2 セットボタンを押します。

ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ

3 ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ と表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

ECMｼﾞｭｼﾝ

5 ｶﾗｰ ｼﾞｭｼﾝ と表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

ｽﾙ（現在の設定が表示されます）

7 08ボタンか02ボタンを押して、「スル」か「シナイ」を選びます。

8 セットボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ

9 ストップボタンを押します。

03/24 FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

●ブラックBJカートリッジで、メモリに保存されたカラーファクスを印刷するには

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

●フォトBJカートリッジで、受信したファクスを印刷するには

「プリント設定」メニューの「フォトインク記録」が、「スル」に設定されていなければなりません。

→「「プリント設定」メニュー」10-7ページ

メモリに保存されているファクスは、「シナイ」に設定されていても印刷できます。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

●カラーファクスの下余白の設定

→「カラーコピー、カラーファクスの下余白を設定する」5-8ページ

メモリでの受信

記録用紙切れやインク切れなど、エラー時に受信したファクスは印刷できないので、B-30本体のメモリに保存されます。このときLCDディスプレイには、エラーの内容と「ダイコウ ジュシン シマシタ」というメッセージが交互に表示されます。

記録用紙を補充して(リセット)ボタンを押したり、BJカートリッジやインクタンクを交換するなど、エラーを解決すると、保存されていたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。

エラーメッセージの内容と対処については、「9章 困ったときは」(→9-1ページ)を参照してください。

メモリにはこの他に、メモリ送信中のファクスや、自動リダイヤル待機中のファクスも保存されます。これらは無事に送信された場合も、送信に失敗した場合も、送信が終了するとメモリから消去されます。自動リダイヤルの場合、指定されたリダイヤル回数内に送信できないと、メモリから消去されます。

メモリには、A4サイズで約416ページ分の白黒ファクスを保存できます。(白黒、標準モードでキヤノンFAX標準チャートの場合)

メモリがいっぱいになると、それ以降に送られてきたファクスは保存されません。そのときは、相手に送りなおしてもらってください。

メモリ内のファクス一覧の印刷

メモリに保存されているファクスの一覧(原稿リスト)は、つぎのように印刷できます。

1 (ファンクション)ボタンを押し、(04 メモリ照会)ボタンを押します。

```
ゲ゛ンコウ リスト
```

2 (セット)ボタンを押します。

2001 03/12 14:27 FAX 03 3758 2111　　Canon FAX div.,　　001

****
***　原稿リスト　***
****

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻
0027	送信	[02]ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ	1	03/12 14:24
0028	送信	[* 01]ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ	1	03/12 14:26

原稿リスト

メモリに保存されているファクスを印刷、削除する

メモリ内のすべてのファクスを印刷、削除する

メモリに保存されているファクスは、つぎのように印刷することができます。この操作では、メモリ内のすべてのファクスが一度に印刷され、印刷されるとメモリから消去されます。

1 ファンクションボタンを押し、04 メモリ照会ボタンを押します。

2 ファイル プ リント と表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

3 セットボタンを押します。

メモリに保存されているすべてのファクスが印刷されます。

メモリ内の特定のファクスを印刷する

メモリに保存されているファクスのうち、特定のファクスだけを印刷することもできます。この場合は、印刷後もメモリからは消去されません。不要なときは、後で「メモリ内のファクスを削除する」(→4-11ページ)にしたがって削除してください。

1 ファンクションボタンを押し、04 メモリ照会ボタンを押します。

2 08ボタンを1回押します。

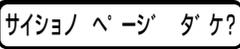
ゲ ンコウ プ リント

3 セットボタンを押します。

受付番号が表示されます。印刷した後でそのファクスを削除するときは、受付番号を控えてください。

4 2件以上のファクスが保存されているときは、印刷したいファクスの受付番号が表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

5 セットボタンを押します。

サイショノ ペ ージ ダ ケ?
ハイ=(*)　イイエ=(#)

6 最初のページだけを印刷するときは カナ/英/数 (*) トーン ボタンを、すべてのページを印刷するときは 記号 (#) ボタンを押します。

指定したファクスが印刷されます。

●受信したファクスをコンピュータに送るように設定しているとき

Desktop Managerで、受信したファクスを印刷せずにコンピュータに送るように設定している場合、コンピュータが起動していないと、受信したファクスはB-30のメモリに保存され、LCDディスプレイに「ファイル ジュシン シマシタ」というメッセージが表示されます。

保存されたファクスは、コンピュータの電源を入れ、Desktop Managerを起動すると、コンピュータに送られます。

コンピュータに送らずにB-30でそのまま印刷するときは、コンピュータの電源を入れずに、この印刷の操作をしてください。印刷すると、メモリから消去され、コンピュータには送れなくなります。

●「BC34デ プリント?」と表示されたとき

「プリント設定」メニューの「フォトインク記録」が「シナイ」に設定されているときに、フォトBJカートリッジでカラーファクスを印刷しようとすると表示されます。フォトBJカートリッジで印刷するときは カナ/英/数 (*) トーン ボタンを押します。

●ファクスの種類、見分け方

受付番号の前には、ファクスの種類によって、つぎのようなマークが表示されます。

(無印):白黒ファクス
＊:カラーファクス
#:送信中、印刷中の白黒ファクス
&:送信中、印刷中のカラーファクス

06ボタンか04 メモリ照会ボタンを押すと、そのファクスの受付時刻が(リダイヤル待機中のときは、ファクス番号も)表示されます。

7 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

`03/24　　FAX/TEL`（例・スタンバイ状態）

メモリ内のファクスを削除する

メモリに保存されているファクスは印刷しないで、削除だけを行うこともできます。

1 ファンクションボタンを押し、04 メモリ照会ボタンを押します。

2 「ゲンコウ クリア」と表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押し、セットボタンを押します。

受付番号が表示されます。

3 2件以上のファクスが保存されているときは、削除したいファクスの受付番号が表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

`クリアシテ イイデ スカ?`
`ハイ=(*)　イイエ=(#)`

5 カナ/英/数 トーン ⊛ボタンを押します。

指定したファクスが削除されます。

6 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

`03/24　　FAX/TEL`（例・スタンバイ状態）

●「シロクロニ ヘンカン シマスカ？」と表示されたとき

ブラックBJカートリッジでカラーファクスを印刷しようとすると表示されます。⊛ボタンを押して白黒で印刷するか、記号 #ボタンを押して印刷をいったん中止し、カラーBJカートリッジに交換してください。

●続けて他のファクスを印刷するとき

4以降の操作を行います。

●ファクスの種類、見分け方

受付番号の前には、ファクスの種類によって、つぎのようなマークが表示されます。

（無印）：白黒ファクス
＊：カラーファクス
＃：送信中、印刷中の白黒ファクス
＆：送信中、印刷中のカラーファクス

06ボタンか04 メモリ照会ボタンを押すと、そのファクスの受付時刻が（リダイヤル待機中のときはファクス番号も）表示されます。

●続けて他のファクスを削除するとき

3以降の操作を行います。

設定中や印刷中のファクス受信

B-30は、複数の処理を同時にできるので、いろいろな設定や、コピー、印刷をしているときでも、ファクスを受信したり電話に応答できます。

受信したファクスを、コンピュータに送らないで、印刷するように設定しているときは、コピーや印刷中に受信したファクスは、いったんメモリに保存され、コピーや印刷が終了すると、自動的に印刷されます。設定中に受信したファクスは、その場ですぐに印刷されます。

受信を中止する

ファクスの受信は、つぎのように操作すると中止できます。

1 受信中に ストップ ボタンを押します。

ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
ハイ=（*）　　イイエ=（#）

2 カナ/英/数 * トーン ボタンを押します。
受信を続けるときは、記号 # ボタンを押します。

受信を中止すると、設定によっては、受信結果レポートが印刷されます。
→「受信結果のレポートを印刷する」次ページ

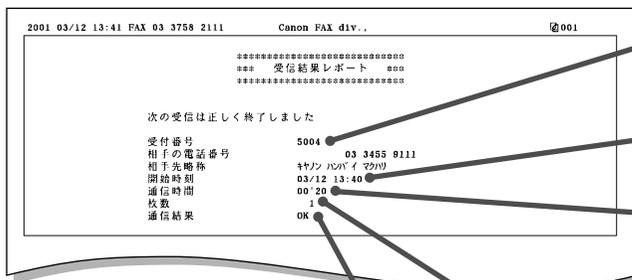
受信結果のレポートを印刷する

受信の結果は、通信管理レポートや受信結果レポートを印刷して、確認することができます。

●通信管理レポートの設定
→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

受信結果レポート

工場出荷時には、受信結果レポートが印刷されないように設定されていますが、受信するたびに印刷したり、受信エラーが発生したときにだけ印刷するように設定することもできます。

●受信結果レポートの設定
→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

2001 03/12 13:41 FAX 03 3758 2111　　Canon FAX div.,　　001

*** 受信結果レポート ***

次の受信は正しく終了しました

受付番号	5004
相手の電話番号	03 3455 9111
相手先略称	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
開始時刻	03/12 13:40
通信時間	00'20
枚数	1
通信結果	OK

受信結果レポート

5章
原稿のセットとコピー、スキャン

この章では、ファクス送信、コピー、スキャンできる原稿の種類とセットのしかた、コピーのとり方などを説明します。

使用できる原稿

原稿は自動給紙装置(ADF)にセットします。原稿によって自動給紙か1枚給紙します。

自動給紙できる原稿(一度に2枚以上セットできる原稿)

サイズ　最大：幅218mm×長さ約1m
　　　　最小：幅80mm×長さ45mm
枚数(75g/m²の紙)
　　　　A4：20枚
　　　　B5：20枚
　　　　A5：20枚
　　　　レター：20枚
　　　　リーガル：10枚
　　　　(これ以外のサイズの原稿は1枚給紙してください)
厚さ　0.06〜0.13mm
　　　　(これより厚い原稿は1枚給紙してください)
質量　40〜90g/m²

●自動給紙
一度に複数の原稿をセットできます。原稿は自動的に次々と送られます。1枚だけセットすることもできます。A4サイズの普通紙など、通常の原稿は自動給紙できます。
サイズや厚さ、質量が違う原稿は、いっしょにセットしないでください。

1枚給紙できる原稿(1枚ずつしかセットできない原稿)

サイズ　最大：幅218mm×長さ約1m
　　　　最小：幅80mm×長さ45mm
枚数　1枚
厚さ　0.06〜0.43mm
質量　40〜340g/m²

●1枚給紙
原稿を1枚ずつセットします。厚い用紙の原稿やはがき、名刺などの小さな原稿、表面に凹凸がある原稿、写真や光沢処理された原稿(表面にキズがつかないよう、キャリアシートの使用をおすすめします)などは、1枚給紙してください。

自動給紙と1枚給紙の切り替え

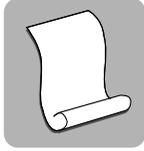
給紙レバーで切り替えます。自動給紙のときは給紙レバーを に、1枚給紙のときは に合わせます。

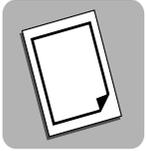
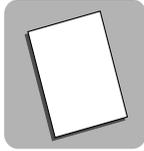
自動給紙のとき

1枚給紙のとき

使用できない原稿

紙づまりの原因になるので、つぎのような原稿は使わないでください。

しわのよっている原稿

丸まっている原稿

破れている原稿

ノンカーボン紙

コーティングされた紙

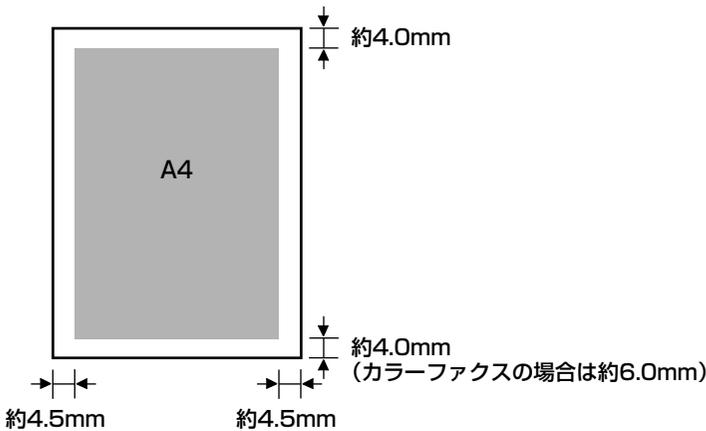
極端に薄い原稿

●原稿をセットする前に

原稿をセットするときは、クリップ、ホチキス、テープなどは、すべて取り除いてください。また、インク、修正液、のりなどが完全に乾いているか確認してください。

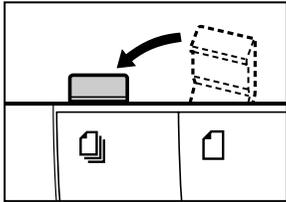
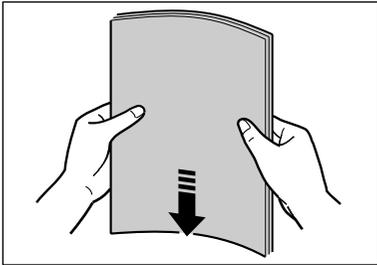
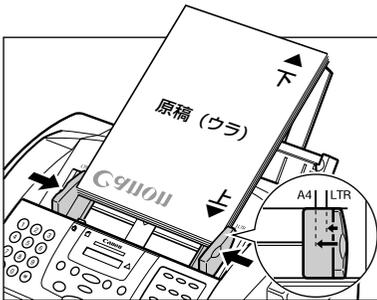
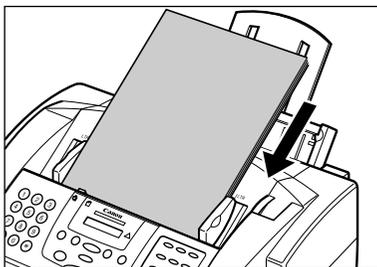
B-30の中にきちんと送られない原稿は、他のコピー機などでコピーして、そのコピーを原稿として使ってください。

読みこめる範囲

原稿の左右の端から約4.5mmずつ、上下の端から約4.0mmずつの範囲は読みこめません。この部分に文字や絵があっても欠けてしまうので、注意してください。

原稿をセットする

複数の原稿をセットする（自動給紙する）

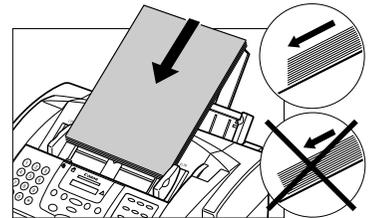
自動給紙では、一度に複数の原稿をセットできます。A4サイズの普通紙など、通常の原稿は自動給紙できます。

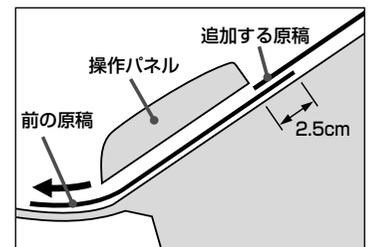
1 給紙レバーを左（自動給紙の位置）に動かします。

2 原稿が複数のときは、机の上などで端をそろえます。

3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

4 原稿面を下にし、原稿の上の方から自動給紙装置（ADF）に、ピッと音が鳴るまでゆっくりと差しこみます。

原稿は、下に置かれたものから順に1枚ずつ自動的に送られます。

●写真など、大事な原稿をセットするとき

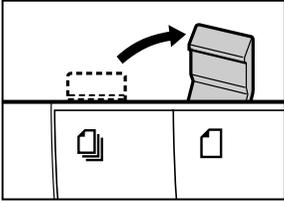
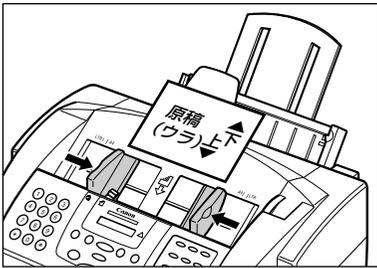
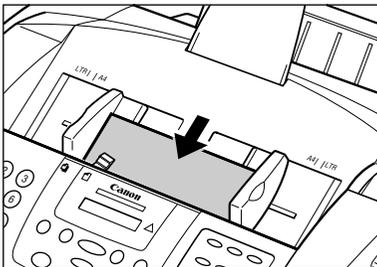
自動給紙装置（ADF）によって送られるときに、原稿の表面が汚れたり、傷ついたりしないようにしたいときは、キャリアシートSH-101を使って1枚給紙してください。キャリアシートについては、お買い求めの販売店かお客様相談センター（→裏表紙）にお問い合わせください。

●複数の原稿がうまく送られないとき

一度自動給紙装置（ADF）から取り出して机の上などで端をそろえてから、図のように、自動給紙装置（ADF）に端が斜めになるようにして差しこんでください。

●原稿が20枚より多いとき

図のように、前にセットした原稿の最後のページが残り2.5cmぐらいまで送られたときに、追加する原稿を上に重ねてセットしてください。

原稿を1枚だけセットする(1枚給紙する)

1枚給紙では、原稿を1枚ずつ、つぎのようにしてセットします。

1 給紙レバーを右(1枚給紙の位置)に動かします。

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

3 原稿面を下にし、原稿の上の方から自動給紙装置(ADF)に、ピッと音が鳴るまでゆっくりと差しこみます。

●写真など、大事な原稿をセットするとき

自動給紙装置(ADF)によって送られるときに、原稿の表面が汚れたり、傷ついたりしないようにしたいときは、キャリアシートSH-101を使って1枚給紙してください。キャリアシートについては、お買い求めの販売店かお客様相談センター(→裏表紙)にお問い合わせください。

原稿をコピーする

カラーや白黒でコピーをとることができます。

コピーで使用できる記録用紙サイズは、A4、レター、リーガル、ハガキです。

1 記録用紙をセットします。

●「フツウシハガキ」、「フォトコウタクハガキ」でコピーするとき

Desktop Managerの[設定]メニューの[ファクス設定]で、[ファクス受信]タブの[用紙サイズ]を[A4]に設定してください。[レター]になっていると、印刷位置がズレてプラテンやはがきの裏面を汚すことがあります。

2 給紙レバーを切り替えます。

2枚以上の原稿をまとめてセットするときは、給紙レバーを(左)にしてください。

●2枚以上セットできない原稿

厚い紙の原稿、はがき・名刺などの小さな原稿、写真、光沢処理された紙の原稿、キャリアシートなど。

これらの原稿は給紙レバーを(右)にして1枚ずつセットしてください。

→「使用できる原稿」5-2ページ

3 原稿をセットし、原稿ガイドをよせます。

LCDディスプレイの表示(例)

```
メモリ シヨウ リョウ    0%
ゲ ンコウ ガ  アリマス
```

4 (コピー)ボタンを押します。

```
コピ ー       100%  01
```

5 カラーか白黒かを選びます。

(カラー/白黒)ボタンを押すと切り替わります。ランプがついているときはカラー、消えているときは白黒でコピーされます。

⑥ 設定したい解像度が表示されるまで、画質ボタンを押します。

⑦ 拡大、縮小コピーしたいときは、ファンクションボタンを押してランプをつけ、08ボタンを押して、拡大、縮小率を選びます。

100%、90%、80%、70%の中から選べます。カラーの写真モードに限り、150%、200%に拡大もできます。

コピー　80%　01（例）

行きすぎたら、02ボタンを押して戻ります。

⑧ 白黒コピーのときは、テンキーでコピー部数を入力します。

99部まで指定できます。

コピー　80%　37（例）

⑨ スタートボタンを押します。

コピーが開始されます。

コピー

●カラーコピーの解像度

フツウシ

普通紙にカラーコピーするのに適しています。

コウヒンイ センヨウシ

高品位専用紙にカラーコピーするのに適しています。

シャシン

レターサイズより小さいカラー写真をコピーするのに適しています。記録用紙は、高品位専用紙を使います。

このモードでは150%、200%に拡大コピーできます。

フツウシ(コウソク)

高速でカラーコピーできます。解像度は低くなります。

フツウシハガキ

通常のはがきにカラーコピーするのに適しています。

フォトコウタクハガキ

フォト光沢ハガキにカラーコピーするのに適しています。

●白黒コピーの解像度

シロクロ モジ

文字だけの白黒原稿に適しています。

シロクロ シャシン

写真がはいっている白黒原稿に適しています。

カラーコピーのときは、1部ずつしかコピーできません。

●コピーを中止するとき

ストップボタンを押します。原稿がB-30の中に残ったときは、操作パネルを開いて取り除いてください。(→「紙づまり」9-3ページ)

●コピー中にエラーが発生したとき

LCDディスプレイに「ヤリナオシテクダサイ」と表示されます。原稿をセットしなおして、コピーをやりなおしてください。

●「メモリガ イッパイデス」と表示されたとき

メモリ内のファクスを印刷、削除してからコピーを始めてください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

カラーコピー、カラーファクスの下余白を設定する

カラーコピーや、カラーファクスを受信したりするときの下余白を調整できます。工場出荷時は、「フツウ」(カラーコピー、カラーファクス時は26mm)になっています。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 セット ボタンを押します。

キホン セッテイ

4 プ゛リント セッテイ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

5 セット ボタンを押します。

ガ゛ゾ゛ウ シュクショウ

6 シタ ヨハク と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

7 セット ボタンを押します。

フツウ (現在の設定が表示されます)

8 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押して、下余白の長さを選びます。

フツウ　白黒原稿よりも下余白が長くなります(カラーコピー、カラーファクス時は26mm)。

チイサイ　白黒原稿の下余白と同じ長さになります(7mm)。

「チイサイ」にすると印刷範囲は広くなりますが、その部分にはきれいに印刷されない場合もあります。

9 セット ボタンを押します。

下余白が設定されます。

フォト インク キロク

10 ストップ ボタンを押します。

03/24　　FAX/TEL (例・スタンバイ状態)

原稿をコンピュータに読みこむ(スキャンする)

原稿をコンピュータに読みこむ(スキャンする)ときは、その原稿を自動給紙装置(ADF)にセットし、MultiPASS Suiteを使って読みこみ、画像ファイルとして保存します。ファイル形式は、TIFF、BMP、PCX、JPEG、FPX形式のうちどれかを選ぶことができます。また、TWAIN規格に準拠したWindowsアプリケーションで原稿を直接読みこむこともできます。

読みこんだ原稿は、MultiPASS Suiteでコンピュータの画面に表示し、保存、加工、印刷したり、クリップボードにコピーすることができます。また、画像データとして、「Adobe PhotoDeluxe」、「花子」、「Wang Imaging」などのアプリケーションで使うこともできます。

MultiPASS Suiteでの原稿の読みこみ→『MultiPASS Suite使用説明書』

他のアプリケーションでの原稿の読みこみ→そのアプリケーションのマニュアル

6章
記録用紙のセットと印刷

A4、B5、A5、レター、リーガルサイズの普通紙をはじめ、光沢紙、封筒、OHPフィルム、バックプリントフィルムなど、さまざまな記録用紙に、鮮明な白黒印刷や躍動感あふれるカラー印刷ができます。

B-30でコピーやファクスに使う記録用紙のサイズは、操作パネルのメニューで設定するか、Desktop Managerでコンピュータから設定します。

記録用紙の種類

つぎのような記録用紙に印刷できます。

キヤノン純正以外の記録用紙をお使いになるときは、大量に注文する前に、一度テスト印刷を行うことをおすすめします。また、記録用紙について不明な点があるときは、キヤノン製品の正規販売代理店にお問い合わせください。

一般的な記録用紙

普通紙

A4、B5、A5、レター、リーガルサイズで、厚さは0.2mm以下、重さは64～90g/m^{2}の普通紙が使えます。1枚給紙すれば、重さが90～105g/m^{2}の普通紙も使えます。

封筒

洋形4号(235×105mm)と洋形6号(190×98mm)の封筒に印刷できます。

官製はがき

往復はがき以外の官製はがきに印刷できます。

キヤノンのBJプリンタ専用紙

B-30には、つぎのような専用紙があります。これらの記録用紙を使えば、B-30の印刷性能を十分に活かすことができます。くわしくは、お近くのキヤノン販売店にお問い合わせください。

バブルジェット用紙LC-301

画像を明るく鮮明に印刷でき、耐水性があり、水などをこぼしてもインクがにじみません。また、他の記録用紙よりも画像をきわだたせることができます。両面に印刷できます。

高品位専用紙HR-101/101S

グラフィックスや写真を、くっきりと鮮明に写真に近い品質で印刷できます。フォトBJカートリッジで印刷するときは、この記録用紙かフォト光沢紙を使ってください。

フォト光沢紙GP-301

上質紙に光沢の出るコーティングを施した紙で、デジタルカメラの画像や、案内状など各種カードの印刷に適しています。フォトBJカートリッジで印刷するときは、この記録用紙か高品位専用紙を使ってください。

OHPフィルムCF-102

キヤノンカラーBJプリンタ用のOHPフィルムで、見やすく本格的なプレゼンテーションができます。他のOHPフィルムを使うと、インクが定着しないで流れてしまうので使わないでください。

高品位専用紙は、光沢のある面に印刷してください。また、HR-101は、パッケージの記録用紙をすべて使い終わったら、付属のクリーニングシートでローラを清掃してください。

フォト光沢紙は、光沢のある面に印刷してください。また、パッケージの記録用紙をすべて使い終わったら、付属のクリーニングシートでローラを清掃してください。

OHPフィルムは、一番後ろに普通紙を1枚つけて、記録紙トレイにセットします。

バックプリントフィルムBF-102
会議や展示会のプレゼンテーションなどに使えます。グラフィックスや写真もくっきりと鮮明にカラー印刷できます。

バックプリントフィルムは、ザラザラした光沢のない面に、鏡像印刷(左右を逆にして印刷すること)します。ザラザラした面を上に向け、いちばん後ろに普通紙を1枚つけて、記録紙トレイにセットします。

フォト光沢フィルムHG-201
フォト光沢紙よりつやのあるフィルムです。図やグラフ、写真などを、最も美しくカラー印刷できます。

バナー紙(長尺紙)
店頭ポスターやパーティーの飾り付けなどに使う紙です。約180cm(A4、6枚分)まで、つながった状態で印刷できます。
2〜6枚までつながった状態で印刷します。

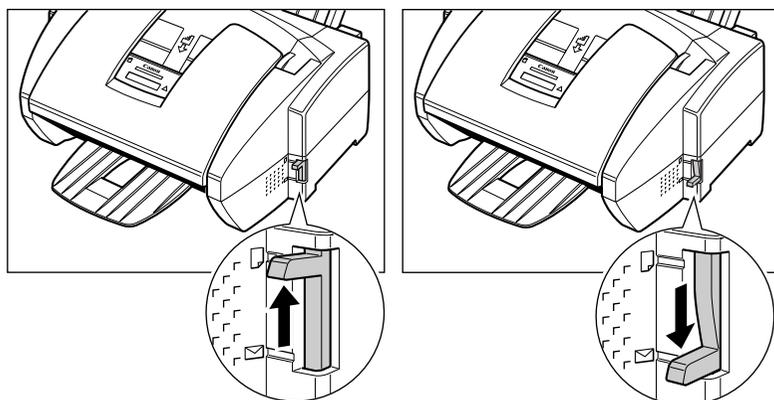
フォト光沢ハガキKH-201N
フォトBJカートリッジで印刷するときは、このはがきを使ってください。

フォト光沢ハガキの光沢のない宛名面に印刷するときは、ブラックBJカートリッジやカラーBJカートリッジを使ってください。

フォト光沢カードFM-101
フォト光沢紙のカードです。ミシン目より大きめに印刷してカットすると、白い縁のない全面印刷ができます。

紙間選択レバーの調整

使用するBJカートリッジや記録用紙に応じて、紙間選択レバーでプリントヘッドと記録用紙の間のすきまを調整してください。
紙間選択レバーは、本体向かって右側にあります。
普通紙などのときは上の位置 に、封筒など厚い記録用紙のときは下の位置 にします。

普通紙などの場合　　封筒など厚い記録用紙の場合

記録用紙のサイズ

B-30で使用できる記録用紙のサイズ、記録紙トレイに一度にセットできる枚数、印刷面(セットするときに上にする面)、紙間選択レバーの位置は、つぎのとおりです。

記録用紙	サイズ	枚数	印刷面	紙間選択レバー
普通紙	A4、B5、A5、レター、リーガル	100枚*1	ー	(上)
封筒	洋形4号、洋形6号	10枚	宛名を書く面	(下)
官製はがき	はがき	40枚	ー	(上)
バブルジェット用紙 LC-301	A4、レター	100枚*1	ー	(上)
高品位専用紙 HR-101/101S	A4、レター	80枚	光沢のある面(より白い面)	(上)
フォト光沢紙 GP-301	A4、レター	10枚	光沢のある面(より白い面)	(上)
OHPフィルム CF-102	A4、レター	30枚*2	ザラザラした光沢のない面	(上)
バックプリントフィルム BF-102	A4、レター	10枚*2	ザラザラした光沢のない面	(上)
フォト光沢フィルム HG-201	A4、レター	1枚	かけている角を右上にしてセット	(上)
バナー紙(長尺紙)	A4	1枚*3	ー	(下)
フォト光沢ハガキ KH-201N	はがき	40枚	光沢のある面は絵や文、光沢のない面は宛名	(上)
フォト光沢カードFM-101	ー	1枚	光沢のある面(より白い面)	(上)

*1 100枚までセットできますが、厚さが10mmを超えないようにしてください。

*2 OHPフィルムCF-102、バックプリントフィルムBF-102は、いちばん後ろに普通紙を1枚つけてセットしてください。

*3 バナー紙(長尺紙)は2～6枚までつながった状態で印刷してください。

記録用紙サイズの実際の値(幅×長さ)は、つぎのとおりです。

記録用紙サイズ	幅×長さ
A4	210×297mm
B5	182×257mm
A5	148×210mm
レター	215.9×279.4mm
リーガル	215.9×355.6mm
洋形4号	235×105mm
洋形6号	190×98mm
はがき	100×148mm

記録用紙の取り扱いと保管

記録用紙の取り扱いや保管には、つぎの点に注意してください。

保管する場所

- 温度が18〜24℃、相対湿度が40〜60%の場所に平らな状態で保管してください。
- セットするまで包装紙から出さないでください。余ったら、包装紙に入れたまま、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。
- 長時間にわたって記録紙トレイに置いたままにしないでください。曲がったり丸まったりすることがあります。これが原因でうまく給紙されなかったり、つまったりすることがあります。

使ってはいけない記録用紙

- 湿ったり、丸まったり、しわがよったり、破れた記録用紙は絶対に使わないでください。紙づまりや印刷品質の低下の原因になります。
- 感熱ファクス用などのロール紙ではなく、定型サイズに裁断された紙を使ってください。
- 指定されている厚さ以上の記録用紙は使わないでください。厚い記録用紙に印刷すると、プリントヘッドのノズルと記録用紙が接触してこすれ、BJカートリッジが使えなくなります。

古い記録用紙の取り扱い

新しい記録用紙と古い記録用紙が混ざらないように、記録紙トレイの記録用紙を使い切ってから、新しい記録用紙を補給してください。

まっすぐ給紙されないとき、2枚いっしょに給紙されるとき、紙づまりになったとき

光沢紙、OHPフィルム、バックプリントフィルムがまっすぐに給紙されなかったり、2枚いっしょに給紙されたり、紙づまりになったときは、1枚ずつ補給してください。温度が低いときや高いとき、湿度が高いときに、このようなトラブルが起こることがあります。

印刷すると記録用紙が丸まってしまうとき

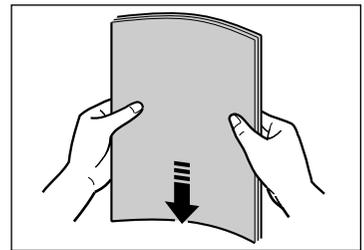
薄い記録用紙に大量のインクを使う文字や絵を印刷すると、記録用紙が少し丸まることがあります。このようなときは、厚めの記録用紙を使ってください。丸まった記録用紙は、紙づまりの原因になるので、すぐに取り除いてください。

OHPフィルムやバックプリントフィルム

OHPフィルムやバックプリントフィルムは、記録排紙口にためずに、1枚排紙されるごとに取り出し、15分以上待ってじゅうぶん乾燥させてから保管してください。クリアファイルなどに保管するときは、フィルムの印刷面に普通紙をあてて保護してください。

●記録用紙のセット

記録用紙をセットするときは、記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク（▲）や、トレイについているタブを超えないように注意してください。記録用紙が多すぎると、紙づまりの原因になります。

また、複数枚の記録用紙は、机の上などで端をそろえてから、記録紙ガイド、記録紙トレイの右側との間にすきまがないようにセットしてください。

●印刷された記録用紙

記録排紙口には、50枚（バブルジェット用紙LC-301換算）までしかためておけません。紙づまりの原因になるので、記録排紙口に記録用紙がたまらないようにしてください。

●インクでB-30本体を汚してしまったとき

柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください。

●記録用紙の幅からはみだして印刷されたとき

B-30内部にあるローラやプラテンがインクで汚れることがあります。汚れたときは、柔らかい布で拭き取ってください。

封筒に印刷する

記録紙トレイには、封筒を10枚までセットできます。

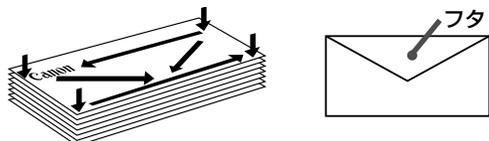
紙づまりや汚れ、故障の原因になるので、つぎのような封筒には印刷しないでください。

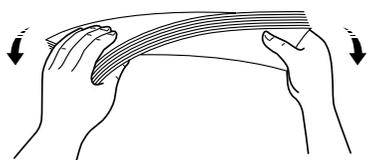
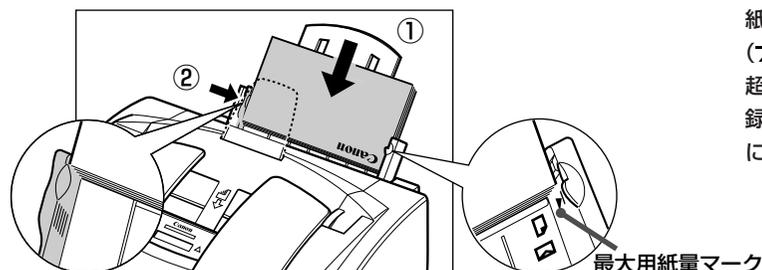
- 窓、穴、ミシン目、切り抜きがあったり、フタが二重になっている封筒
- 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒
- シールが貼ってある封筒
- 手紙がはいっている封筒

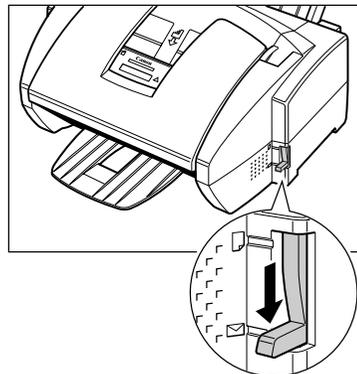
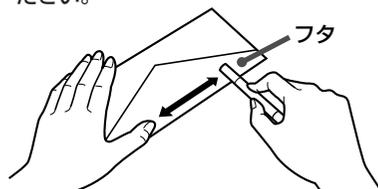
封筒はつぎのように記録紙トレイにセットします。

1 紙間選択レバーを下の位置 ✉ にします。

2 安定したきれいな台の上に封筒を置き、四隅を押して端をそろえます。

封筒の周りや、フタの部分を押して、まっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。

フタの部分を十分に押して、平らにしてください。

封筒がそっているときは、対角線の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

3 宛名を印刷する面を上にして、封筒の上の方から記録紙トレイにつきあたるまで差しこみ①、記録紙ガイドを封筒の左端に合わせます②。

これで、封筒に印刷できるようになります。

プリントヘッドと記録用紙の間のすきまをきちんと調整しないと、記録用紙が汚れたり、思いどおりに印刷できません。

封筒のフタが、丸まっているときは、ペンの軸などの丸いものでしごいてまっすぐに伸ばします。そりやふくらみが5mm以内になるようにしてください。

記録用紙をセットするときは、記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク（▲）や、トレイについているタブを超えないように注意してください。記録用紙が多すぎると、紙づまりの原因になります。

専用紙に印刷する

キヤノンのBJプリンタ専用紙に印刷するときは、パッケージについている注意書きや説明をよくお読みになり、その指示にしたがってください。

フィルムは、印刷が終わったら、インクが完全に乾いてから、重ねてください。印刷した面に普通紙(コーティングされていない用紙)を置いてから、重ねることをおすすめします。印刷したフィルムをクリアファイルやプラスチック製のホルダに入れるときも同様にした方がよいでしょう。

記録用紙の種類	インクが乾くまでの時間(めやす)
フォト光沢フィルムHG-201	2分
フォト光沢紙GP-301	2分
フォト光沢カードFM-101	2分
OHPフィルムCF-102	15分
バックプリントフィルムBF-102	15分

●インクでB-30本体を汚してしまったとき
柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください。

OHPフィルムCF-102、バックプリントフィルムBF-102のセット

OHPフィルムとバックプリントフィルムは、いちばん後ろに普通紙を1枚つけて記録紙トレイにセットします。フィルムを扱うときは、指紋がつかないように布製の薄い手袋をはめてください。フィルムは記録排紙口で重ならないように、1枚印刷するたびに取り出します。このとき、印刷面が原稿排紙トレイに触れないように注意してください。

使用しないフィルムは、温度が15℃～30℃の平らな場所に保管し、印刷するときだけ保護パッケージから取り出してください。

フィルムは、長時間にわたって記録紙トレイに置いたままにしないでください。ゴミやホコリがついて、印刷品質が低下することがあります。

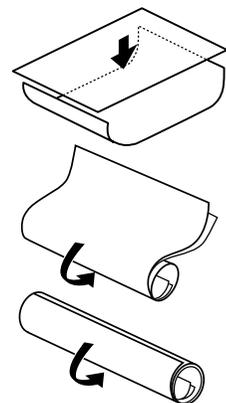
印刷したフィルムは、色あせするので、日光に当てないでください。

バックプリントフィルムを平らにする

バックプリントフィルムを平らに伸ばすには、つぎのようにします。

1 光沢のない面を上にして普通紙を重ねます。

2 丸まっている方とは逆にフィルムを丸めます。
強く丸めすぎないでください。
フィルムは直径約2～3cmに丸めてください。

3 丸めたら、約5分間そのままにしておきます。
輪ゴムなどで留めておくとよいでしょう。

フォト光沢紙GP-301のセット

1 紙間選択レバーを上の位置 にします。

→「紙間選択レバーの調整」6-3ページ

2 記録紙サポートを、止まるまで引き出します。

3 光沢のある面を上にして、フォト光沢紙をつきあたるまで記録紙トレイに差しこみ、記録紙ガイドをフォト光沢紙の端に合わせます。

高品位専用紙HR-101/101Sのセット

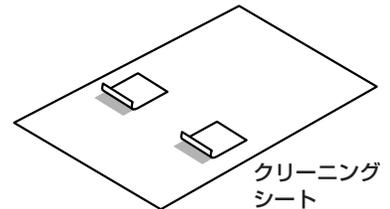
1 紙間選択レバーを上の位置 にします。

→「紙間選択レバーの調整」6-3ページ

2 記録紙サポートを、止まるまで引き出します。

3 光沢のある面を上にして、高品位専用紙をつきあたるまで記録紙トレイに差しこみ、記録紙ガイドを記録用紙の端に合わせます。

専用紙に付属しているクリーニングシートの使い方

フォト光沢紙GP-301や高品位専用紙HR-101のパッケージには、クリーニングシートが付属しています。パッケージにはいっている紙をすべて使い切ったら、このクリーニングシートでB-30のローラを清掃してください。ローラについているホコリなどがとれ、紙づまりを防げます。

1 クリーニングシートの2枚のシールをはがします。

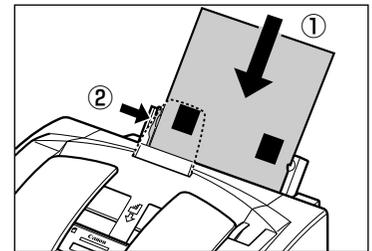
2 シールが貼ってあった面を上に向け、シールが貼ってあった場所に近い端の方から、つきあたるまで記録紙トレイの右端に合わせて差しこみ①、記録紙ガイドをクリーニングシートの端に合わせます②。

3 ボタンを押します。

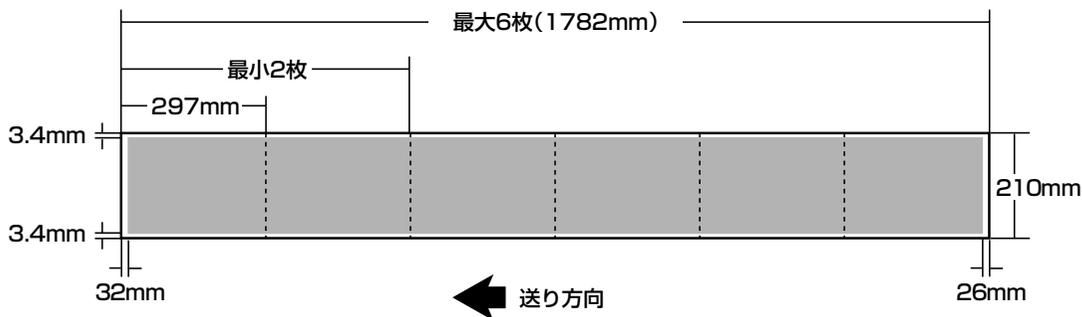
4 10 クリーニング ボタンを押します。

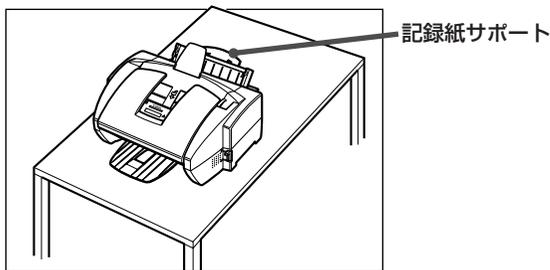
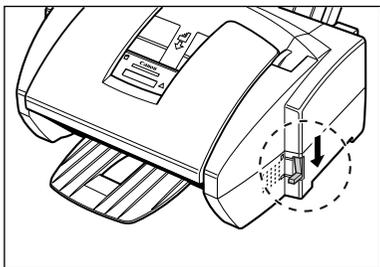
5 キロク ローラ クリーニング と表示されるまで、08 ボタンか 02 ボタンを押します。

6 ボタンを押します。

クリーニングシートが給紙されます。クリーニングが終わると、クリーニングシートが排紙されます。

高品位専用紙HR-101Sでは、クリーニングシートは別売です。

バナー紙(長尺紙)に印刷する

バナー紙(長尺紙)は、等間隔にミシン目がはいった連続用紙で、図のように最小2枚〜最大6枚までつながった状態で印刷できます(6枚全体の長さは約1782mmです)。ミシン目にそって必要な長さに切って使ってください。

1 B-30を台の端近くに置き、印刷されたバナー紙が下に落ちるようにします。

記録紙サポートは、押しこんだ状態にします。

2 紙間選択レバーを下の位置 ✉ にします。

3 バナー紙をミシン目にそって必要な長さに切り離します。

最大6枚までセットできます。

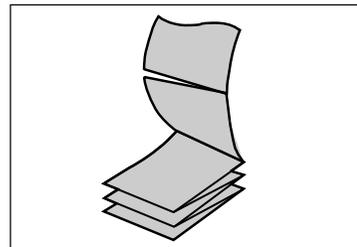
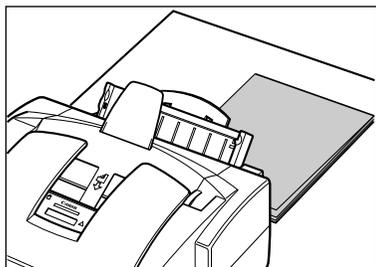
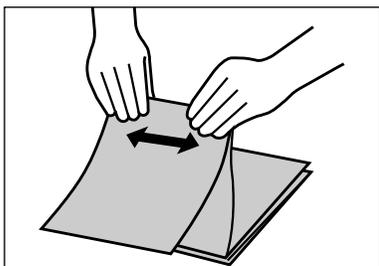
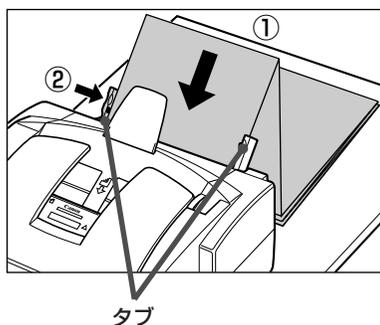
●バナー紙は1枚余分に

予定の枚数に印刷が収まらなかった場合を考えて、最後に予備の用紙を1枚つけてください。

余白部分には印刷できないので注意してください。

●インクの残量

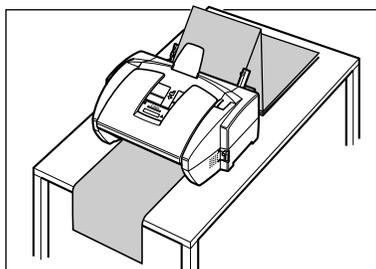
バナー紙に印刷するときは、BJカートリッジにじゅうぶんなインクが残っているか確認してください。インクの残量に不安があるときは、新しいBJカートリッジを使ってください。

バナー紙には、色の薄い印刷のほうがきれいに仕上がります。

4 バナー紙をB-30の後ろの平らな所に置きます。

5 1枚めと2枚めの間のミシン目を軽く折り曲げます。

6 バナー紙の1枚めの右端を記録紙トレイの右端に合わせ、つきあたるまで差しこみ①、記録紙ガイドをバナー紙の端に合わせます②。

残りのバナー紙が記録紙トレイの後ろに、まっすぐに置かれているか確認してください。

記録紙ガイドとバナー紙の端を1mm程度空けるようにします。

バナー紙が、記録紙トレイと記録紙ガイドのタブの下になっているのを確認してください。

7 コンピュータで、印刷を開始します。

印刷されたバナー紙が、台の端から垂れ下がるようにしてください。

カラー印刷するときの注意

カラー印刷するときは、つぎのような注意が必要です。

記録用紙について

きれいにカラー印刷するためには、用途に最も適した記録用紙を選ぶ必要があります。また、同じように印刷しても、記録用紙によって色が異なります。

→「記録用紙の種類」6-2ページ

アプリケーションについて

B-30は、最大1670万色までの色調を再現できますが、実際に印刷できる色数は、アプリケーションによって異なることがあります。

また、アプリケーションによっては、つぎのようなカラー調整ができるものもあります。

- 明度(輝度)では、色の明るさを調整します。印刷した結果が、ディスプレイでの色よりも明るいときや暗いときに調整します。
- 色相では、色合いを調整します。

くわしくは、そのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

ディスプレイについて

最適なカラー印刷を行うためには、24ビットのカラー表示が可能なディスプレイとビデオカードを使ってください。くわしくは、ディスプレイのマニュアルを参照してください。

ディスプレイでは、赤、緑、青の光の組み合わせで色を表しています。プリンタでは、シアン、イエロー、マゼンタ、ブラックのインクの組み合わせで色を表しています。

B-30は、一般的なディスプレイでの色に、できるだけ近い印刷ができるように調整されていますが、ディスプレイとプリンタでは色の表し方が異なるので、完全には同じ色にならないことがあります。

印刷時間を短くするには

カラー印刷では、非常に多くの情報を処理しなければならないので、印刷に時間がかかりますが、つぎのようにすると、印刷時間を短くすることができます。

- コンピュータのメモリ容量を増やす。
- CPUの処理速度が速いコンピュータを使う。
- スクリーンセーバーやメモリ常駐のアプリケーション、他のアプリケーションを終了する。
- 色数を少なくする。
- 絵や写真のサイズを小さくする。
- 完成前のチェックのための印刷(ドラフト印刷)は、白黒か、オートパレットの[ドラフト]で印刷する。また、記録用紙の設定も普通紙にして、普通紙に印刷する。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

インクを節約するには

カラー印刷では、白黒印刷よりも経費(ランニングコスト)がかかりますが、つぎのようにするとインクを節約できます。

- 完成前のチェックのための印刷(ドラフト印刷)では、フォトBJカートリッジではなくカラーBJカートリッジを使う。
- 図表やグラフなどの色をつける部分は、塗りつぶさずに、斜線などのパターンにする。
- なるべく白に近い薄い色を使う。たとえば、赤の代わりにピンクを使うと、赤と白(紙の色)のドットが交互にくり返されるので、赤で塗りつぶすよりインクを節約できる。
- 背景にはなるべく色をつけない。
- ドラフト印刷のときは色をつけない。色をつけるのは、いちばん最後の印刷のときだけにする。
- 複数のページを印刷する場合、使っているアプリケーションに複数のページを縮小して1ページに印刷する機能があるときは、ドラフト印刷のときはその機能を使って印刷する。

7章
BJカートリッジ

キヤノンでは、さまざまな印刷に対応するため、多数のBJ(Bubble Jet)カートリッジを提供しています。ここでは、BJカートリッジの取り扱いやメンテナンスのしかた、目的に合ったBJカートリッジの選び方について説明します。

BJカートリッジの取り扱いと保管

B-30を快適に使っていただくためにも、BJカートリッジの取り扱いと保管にはつぎの点に注意し、最適な印刷品質を保つようにしてください。

BJカートリッジの保管

- 室温で保管してください。
- 子供の手が届かない場所に保管してください。もし誤って飲み込んだときは、ただちに医師の診断を受けてください。
- B-30に取り付ける直前まで、保護パッケージや保管箱から取り出さないでください。
- 保護キャップと保護テープをはずしたら、すぐにB-30に取り付けてください。
- 交換のために取りはずしたら、付属のBJカートリッジ保管箱に入れて保管してください。
- 必要なとき以外は、B-30から取りはずさないでください。
- カラーBJカートリッジやフォトBJカートリッジは、すべてのインクタンクを取り付けた状態で使ってください。インクタンクを取りはずした状態で使うと、目づまりの原因となります。

使用する期間

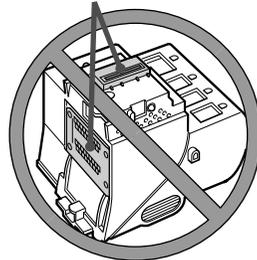
- 開封したら、インクタンクは6か月以内に使い切ってください。BJカートリッジは1年以内をめどに交換してください。

取り扱い

- 持つときは側面を持ってください。プリントヘッドやその周り、底面や側面の金属部分や電極部分には、絶対に触れないでください。
- 分解したり、インクを補充したりしないでください。
- 落としたり振ったりしないでください。また、プリントヘッドを下に向けて置かないでください。BJカートリッジのインクが衣服などにつくと、洗い落とすことは困難です。

文字がかすれたり欠けたりしてきれいに印刷できないとき

- プリントヘッドをクリーニングしてください。
  5回以上ヘッドクリーニングをくり返してもきれいに印刷できないときは、ヘッドリフレッシングを行い、それでもきれいに印刷できないときは、インクタンクやBJカートリッジを交換してください。

この部分には触れないでください。

クリーニング方法→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

BJカートリッジとインクタンク

インクタンクには、それぞれの色のインクがはいっています。BJカートリッジは、インクタンクを取り付けるためのホルダとプリントヘッドが一体になったものです。インクタンクを取り付けたBJカートリッジを、B-30本体に取り付けて使います。

B-30には、つぎのBJカートリッジやインクタンクを使えます。

BJカートリッジを長持ちさせるためには、「BJカートリッジの取り扱いと保管」(7-2ページ)の注意を守ってください。

印刷時のエラーをなくし、きれいに印刷するためには、ここで紹介しているキヤノンのBJカートリッジとインクタンクを使ってください。

カラーBJカートリッジ

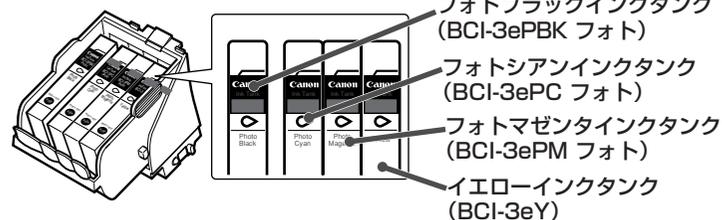
カラーまたは白黒印刷に使います。このBJカートリッジには、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの4つのインクタンクを取り付けます。

カラーBJカートリッジBC-33e(B-30に付属)

このＢＪカートリッジで使えるのは、BCI-3eシリーズのインクタンクだけです。

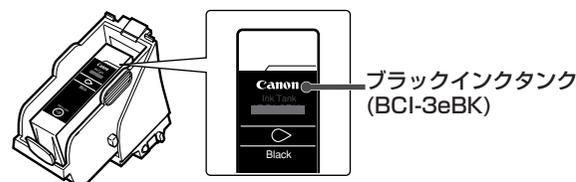
フォトBJカートリッジ

写真画質でカラー印刷できます。このBJカートリッジには、フォトブラック、フォトシアン、フォトマゼンタ、イエローの4つのインクタンクを取り付けます。

フォトBJカートリッジBC-34e(別売)

このＢＪカートリッジで使えるのは、BCI-3eシリーズのインクタンクだけです。

ブラックBJカートリッジ

白黒印刷に使います。このBJカートリッジには、ブラックインクタンクだけを取り付けます。

ブラックBJカートリッジBC-30e(別売)

BJカートリッジのクリーニングと交換

いつもきれいに印刷するためには、BJカートリッジのプリントヘッドをクリーニングしたり、古くなったBJカートリッジやインクタンクを交換することが必要です。

BJカートリッジやインクタンクの交換時期

プリントヘッドが消耗したり、インクがなくなったときは、BJカートリッジやインクタンクを交換します。

ハーフトーンやグレースケールの画像をよく印刷する場合は、文字だけの文書を印刷するときよりも大量のインクを使用するので、交換もひんぱんになります。

BJカートリッジは、通常、つぎのような場合に交換してください。

- 1年以上使い続けているとき
- 文字がかすれたり、欠けたりして、きれいに印刷できないとき
- インクタンクにインクはあっても、印刷されない色があるとき

インクタンクは、通常、つぎのような場合に交換してください。

- 6か月以上使い続けているとき
- 何も印刷されないとき
- 印刷されない色があるとき
- LCDディスプレイに、つぎのようなメッセージが表示されるとき

```
C    ｲﾝｸｶﾞ  ｱﾘﾏｾﾝ
 M   ｲﾝｸｶﾞ  ｱﾘﾏｾﾝ
  Y  ｲﾝｸｶﾞ  ｱﾘﾏｾﾝ
   Kｲﾝｸｶﾞ  ｱﾘﾏｾﾝ
```

LCDディスプレイにこのようなメッセージが表示されたときは、インクタンクを交換してください。

Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエロー、Kはブラックです。

2つ以上のインクタンクが空になった場合、たとえばシアンとイエローが空になったときは、つぎのように表示されます。

```
C Y ｲﾝｸｶﾞ  ｱﾘﾏｾﾝ
```

きれいに印刷できないのに、メッセージが表示されないときは、つぎの順にチェックしてください。

ノズルチェックパターンを印刷する。（→下欄）

→ きれいに印刷できたとき → BJカートリッジやインクタンクに問題はありません。印刷の設定を変えてみてください。

→『MultiPASS Suite 使用説明書』

↓ 印刷がかすれたり欠けたりしているとき

ヘッドクリーニングをする。（→7-6ページ）

↓

ノズルチェックパターンを印刷する。（→下欄）

→ きれいに印刷できたとき → BJカートリッジやインクタンクに問題はありません。

↓ 印刷がかすれたり欠けたりしているときはくり返す（最高5回まで）

ヘッドリフレッシングをする。（→7-6ページ）

↓

ノズルチェックパターンを印刷する。（→下欄）

→ きれいに印刷できたとき → BJカートリッジやインクタンクに問題はありません。

↓ 印刷がかすれたり欠けたりしているとき

BJカートリッジやインクタンクを交換する。（→7-7、7-12ページ）
交換したら、プリントヘッドの位置を合わせる。（→7-10ページ）

ノズルチェックパターンの印刷

B-30に取り付けたBJカートリッジの状態を調べるときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。

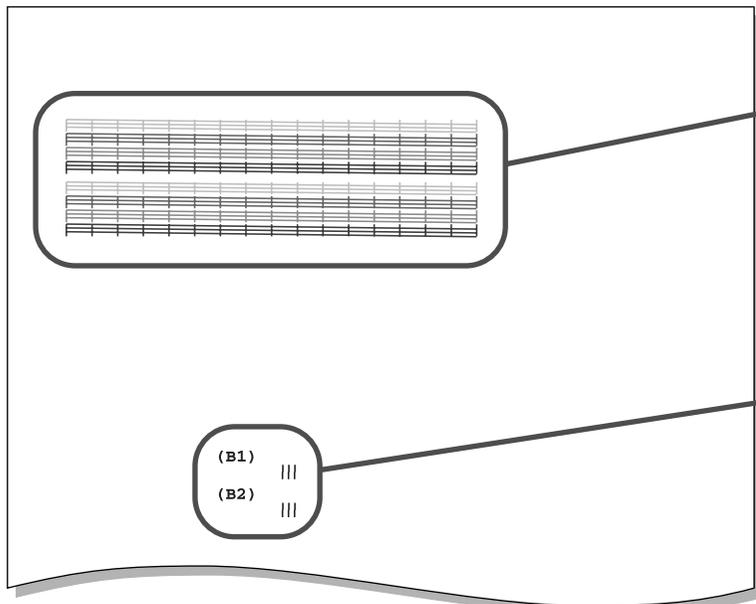
ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドのノズルからきちんとインクが出ているかどうかを確認できます。

1 ファンクションボタンを押します。

2 10 クリーニングボタンを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾉｽﾞﾙ ﾁｪｯｸ
```

3 ボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

ノズルチェックパターン
ノズルチェックパターンがかすれたり欠けたりしているとき、カラーで印刷されないときは、ヘッドクリーニング、ヘッドリフレッシング、インクタンクやBJカートリッジの交換などの対処を行ってください。(→7-5ページ)

BJカートリッジのプリントヘッドの位置
縦の線が乱れているときはプリントヘッドの位置合わせをしてください。(→7-10ページ)

プリントヘッドのクリーニング

BJカートリッジのプリントヘッドには、インクを記録用紙に吹きつけるためのノズルがあり、きれいに印刷するためには、ときどきクリーニングする必要があります。

印刷がかすれたり欠けたりしてきれいに印刷できなくなったときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。

通常はヘッドクリーニングを行います。ヘッドクリーニングは必要に応じて5回までくり返し、それでもだめなときは、ヘッドリフレッシングをしてください。ヘッドリフレッシングをしてもきれいに印刷できないときは、新品のBJカートリッジやインクタンクに交換してください。

印刷が薄いときは、印刷の濃度や速度を調整すると、きれいに印刷できることがあります。プリントヘッドをクリーニングする前に、調整してみてください。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

プリントヘッドのクリーニングを行うと、少量ですがインクが使われます。ひんぱんにクリーニングすると、インクがなくなってしまうので、必要なときだけにしてください。

1 ファンクションボタンを押します。

2 10クリーニングボタンを押します。

3 「ヘッド クリーニング」または「ヘッド リフレッシング」と表示されるまで、08ボタンか02ボタンを押します。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ
→「インクタンクを交換する」7-12ページ

4 セットボタンを押します。

クリーニングが終わると終了を知らせる音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

5 ノズルチェックパターンを印刷して、きれいに印刷できるか確認します。

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-5ページ

BJカートリッジを交換する

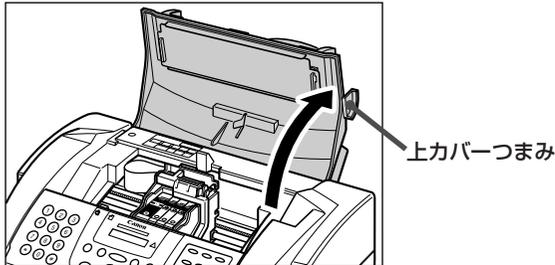
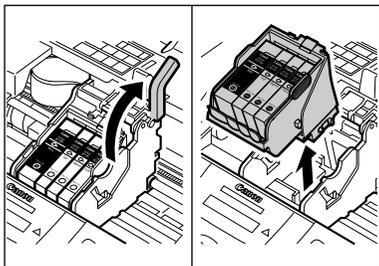
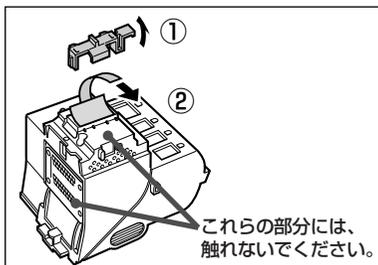
BJカートリッジはつぎのように交換します。

交換の前に、必ず「BJカートリッジやインクタンクの交換時期」(7-4ページ)をお読みください。

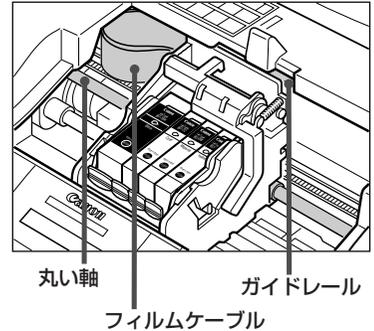
1 B-30の電源がはいっているか確認します。

2 原稿排紙トレイを開きます。

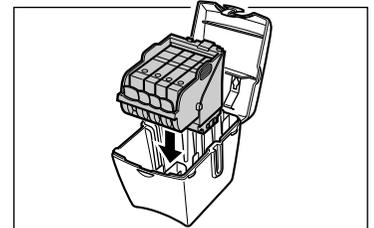
3 上カバーつまみを持ち上げて、上カバーを開きます。

B-30のカートリッジホルダが中央に移動します。

4 カートリッジホルダの青色のカートリッジ固定レバーをゆっくりと持ち上げ、BJカートリッジを取りはずします。

5 新しいBJカートリッジをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップ①と保護シール②を取りはずします。

新品のBJカートリッジに交換するときも、他の種類のBJカートリッジに交換するときも、手順は同じです。

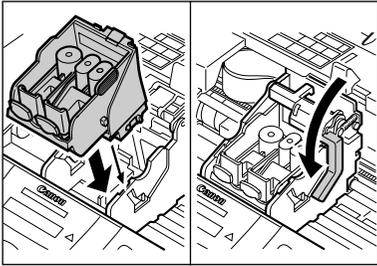
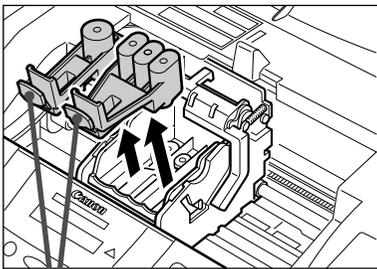
B-30が印刷などの処理をしているときは、BJカートリッジは交換しないでください。

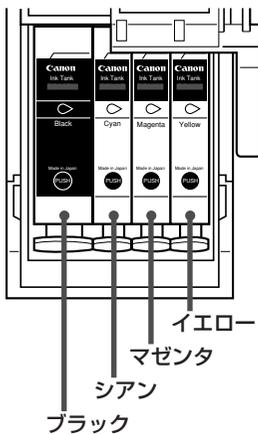
本体内部のフィルムケーブル、ガイドレール、丸い軸、他の金属部分に触れないでください。印刷品位の低下の原因になる場合があります。

●取りはずしたBJカートリッジは

使い終わったBJカートリッジは、地域の条例にしたがって処分してください。インクが衣服などにつくと落ちにくいので、注意してください。

まだ使用できるときは、付属の保管箱に入れて保管してください。入れておかないと、インクが乾いて後で使えなくなってしまいます。

取りはずした保護キャップと保護シールは、もう一度BJカートリッジに取り付けたりせずに、捨ててください。

BJカートリッジは、保護キャップと保護シールを取りはずしたら、すぐにB-30に取り付けてください。

6 **BJカートリッジをカートリッジホルダに挿入し、カートリッジ固定レバーを止まるまで押し下げて固定します。**

7 **BJカートリッジから2つのオレンジ色のカバーを、タブを押しながら取りはずします。**

8 **インクタンクをBJカートリッジに取り付けます。**

カラーまたはフォトBJカートリッジでは、各色のインクタンクの取り付け位置は決まっています。必ず、つぎのように正しい位置に取り付けてください。

カラー、フォトBJカートリッジのインクタンクのスロットの位置

インクタンクの、インクの出口部分には触れないでください。

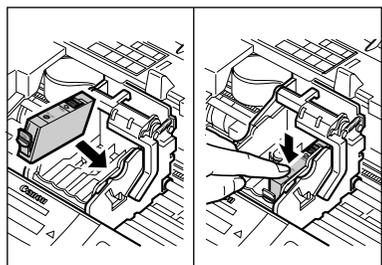
インクが衣服などにつくと落ちにくいので、注意してください。

●BJカートリッジだけを交換するとき

新しいBJカートリッジに今まで使っていたインクタンクを取り付けます。インクタンクは、右から左に 正しい順序で取り付けてください。

新しいインクタンクのときは、オレンジ色のテープを引っ張って保護フィルムをはがし①、図のように保護キャップを取りはずします②。

9 **BJカートリッジのスロットにインクタンクを差しこみ、カチッと音がするまで押しこみます。**

カラーまたはフォトBJカートリッジの場合は、いちばん右のスロットから取り付けます。

10 **カラーまたはフォトBJカートリッジの場合は、残りのインクタンクを取り付けます。**

右から左へ順番に、各色ごとに正しいスロットに、取り付けてください。

11 **上カバーを閉じます。**

カートリッジホルダが本体内部のホームポジションに戻り(その間は[カートリッジガ モドリマス]と表示されます)、その後、プリントヘッドのクリーニングが行われます(約20秒かかります)。

12 **原稿排紙トレイを閉じます。**

13 **プリントヘッドの位置を合わせます(→次ページ)。**

●新しいインクタンクを取り付けるとき

新しいインクタンクから保護フィルムをはがすときは、ラベルがはがれないように注意してください。

はがした保護フィルムや保護キャップは、もう一度インクタンクに取り付けたりせずに、捨ててください。

インクタンクの、インクの出口部分には触れないでください。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

B-30の電源コードを抜くときは、カートリッジホルダがホームポジションに戻り、スタンバイ状態(LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます)になるまで、待ってください。ホームポジションに戻っていないと、BJカートリッジのインクが乾いてしまいます。

プリントヘッドの位置合わせ

BJカートリッジを交換したら、印刷する前にプリントヘッドの位置合わせをしてください。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 10 クリーニング ボタンを押します。

プリンタ ノズル チェック

3 [ヘッド イチ チョウセイ]と表示されるまで、08 ボタンか 02 ボタンを押します。

ヘッド イチ チョウセイ

4 セット ボタンを 2 回押します。

キホンカイゾウド パターン

つぎのような基本解像度パターンが印刷されます。

(B1) -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7

(B2) -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7

キホンカイゾウド ヘンコウ

4 セット ボタンを押します。

キホンカイゾウド B1: 0

5 08 ボタンか 02 ボタンを押して、もっともきれいなB1パターンの値を選びます。

印刷された基本解像度パターンを見て、(B1)の-7から+7のパターンの中で、もっとも上下の線がズレていないものを選びます。

キホンカイゾウド B1: +3 (例)

6 セット ボタンを押します。

トウロク シマシタ

キホンカイゾウド B2: 0

7 08 ボタンか 02 ボタンを押して、もっともきれいなB2パターンの値を選びます。

B1パターンと同様に、(B2)の-7から+7のパターンの中で、もっとも上下の線がズレていないものを選びます。

キホンカイゾウド B2: +2 (例)

8 セットボタンを2回押します。

コウカイゾウド パターン

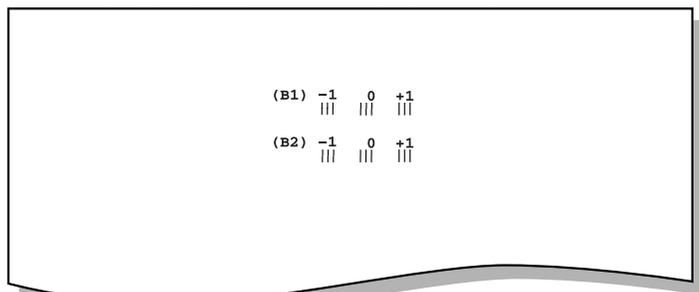
つぎのような高解像度パターンが印刷されます。

(B1) -1 0 +1

(B2) -1 0 +1

コウカイゾウド ヘンコウ

9 セットボタンを押します。

コウカイゾウド B1: 0

10 08ボタンか02ボタンを押して、もっともきれいなB1パターンの値を選びます。

印刷された高解像度パターンを見て、(B1)の-1から+1のパターンの中で、もっとも上下の線がズレていないものを選びます。

コウカイゾウド B1: +1 (例)

11 セットボタンを押します。

トウロク シマシタ

コウカイゾウド B2: 0

12 08ボタンか02ボタンを押して、もっともきれいなB2パターンの値を選びます。

B1パターンと同様に、(B2)の-1から+1のパターンの中で、もっとも上下の線がズレていないものを選びます。

コウカイゾウド B2: +1 (例)

13 セットボタンを押します。

プリントヘッドの位置合わせが設定されます。

キホンカイゾウド パターン

14 ストップボタンを押します。

03/24 FAX/TEL (例・スタンバイ状態)

インクタンクを交換する

ここでは、BJカートリッジは取り付けたまま、インクタンクだけを交換する方法について説明します。

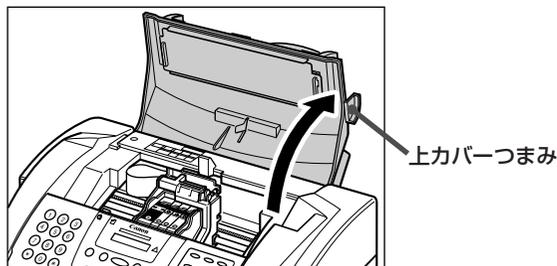
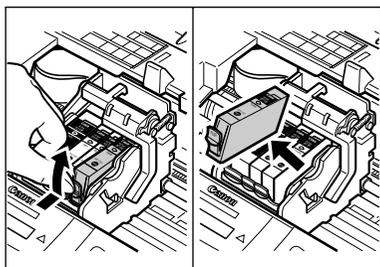
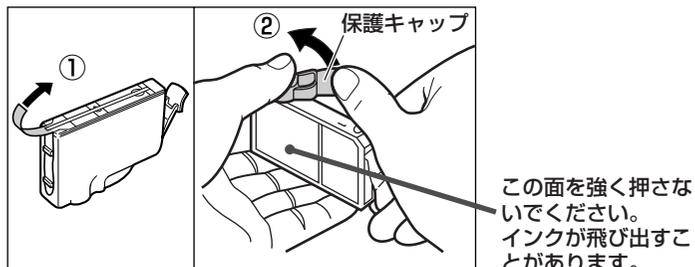
交換の前に、必ず「BJカートリッジやインクタンクの交換時期」(7-4ページ)をお読みください。

BJカートリッジの交換については「BJカートリッジを交換する」(7-7ページ)をお読みください。

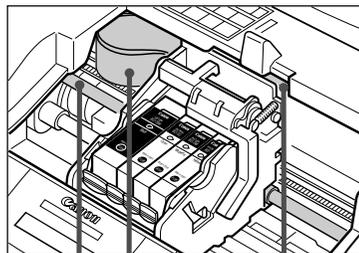
1 B-30の電源がはいっているか確認します。

2 原稿排紙トレイを開きます。

3 上カバーつまみを持ち上げて、上カバーを開きます。

B-30のカートリッジホルダが中央に移動します。

4 タブを押しながら、インクタンクを取りはずします。

5 新しいインクタンクからオレンジ色のテープを引っ張って保護フィルムをはがし①、図のように保護キャップを取りはずします②。

インクタンクは、空になったらすぐに交換してください。

B-30が印刷などの処理をしているときは、インクタンクは交換しないでください。

本体内部のフィルムケーブル、ガイドレール、丸い軸、他の金属部分に触れないでください。印刷品位の低下の原因になる場合があります。

ＢＪカートリッジは取り出さないで、インクタンクだけ取りはずしてください。

カラーBJカートリッジ、フォトBJカートリッジのインクタンクは、一度に2つ以上取りはずさないでください。スロットをまちがえると、正しくカラー印刷されません。

●インクが残っているインクタンクを取りはずすとき

カートリッジごと取りはずし、そのまま付属の保管箱に入れて保管してください。そうしないと、インクが乾いて後で使えなくなってしまいます。

使い終わったインクタンクは、地域の条例にしたがって処分してください。

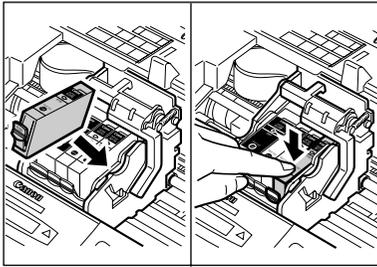
インクが衣服などにつくと落ちにくいので、注意してください。

●新しいインクタンクを取り付けるとき

保護フィルムをはがすときは、ラベルがはがれないように注意してください。

はがした保護フィルムや保護キャップは、もう一度インクタンクに取り付けたりせずに、捨ててください。

インクタンクの、インクの出口部分には触れないでください。

6 BJカートリッジのスロットにインクタンクを差しこみ、カチッと音がするまで押しこみます。

7 カラーまたはフォトBJカートリッジで他のインクタンクも交換するときは、各色ごとに正しいスロットに取り付けてください。

8 上カバーを閉じます。
カートリッジホルダが本体内部のホームポジションに戻り(その間は「カートリッジガ モドリマス」と表示されます)、その後、プリントヘッドのクリーニングが行われます(約20秒かかります)。

9 原稿排紙トレイを閉じます。

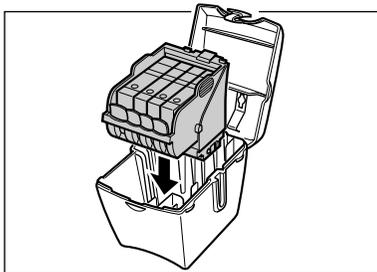
10 プリントヘッドの位置を合わせます(→7-10ページ)。

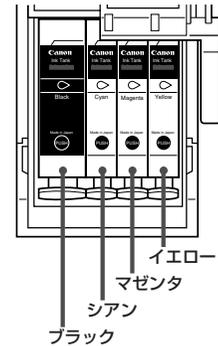
BJカートリッジの保管

BJカートリッジから保護キャップや保護シールを取りはずした後は、目づまりなどを防ぐために、プリントヘッドが乾燥しないように注意してください。

B-30に取り付けられているBJカートリッジは、本体右側のホームポジションに自動的に移動し、乾燥しないように保護されます。

使用中のBJカートリッジをB-30から取りはずしたときは、付属のBJカートリッジ保管箱に保管してください。

1 BJカートリッジのラベル面を正面に向け、プリントヘッドを下にして、BJカートリッジ保管箱に入れます。

2 カチッと音がするまでフタを閉じます。

カラー、フォトBJカートリッジのインクタンクのスロット位置

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

B-30の電源コードを抜くときは、カートリッジホルダがホームポジションに戻り、スタンバイ状態(LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます)になるまで、待ってください。ホームポジションに戻っていないと、BJカートリッジのインクが乾いてしまいます。

8章
清掃と輸送

　この章では、日常のお手入れと輸送するときの梱包について説明します。

　定期的に清掃すれば、快適に使い続けることができます。

清掃する

いつもいいコンディションでお使いいただくために、定期的に清掃を行ってください。清掃するときは、つぎの点に注意してください。

電源コードを抜くと、メモリ内のファクスはすべて消去されます。

清掃する前に、メモリに保存されているファクスをすべて印刷してください。LCDディスプレイに「ダイコウ ジュシン シマシタ」や「ファイル ジュシン シマシタ」と表示されているときは、メモリに保存されているファクスを印刷してください。

→「メモリでの受信」4-9ページ、「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

送信待ちのファクスがあるときにB-30の電源を切った場合は、清掃後にもう一度原稿をセットし、送信の操作を行ってください。

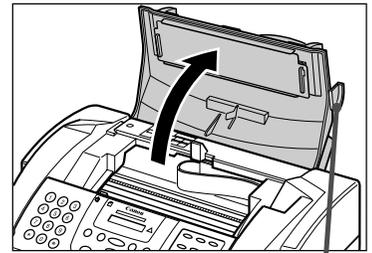
清掃にはティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。

部品に紙の粉が付いたり、静電気の原因になることがあります。

本体外側の清掃

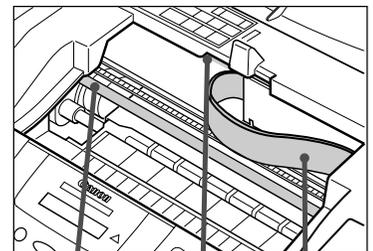
本体外側は、つぎのように清掃してください。

1. B-30から電源コードを抜きます。
2. 柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってからていねいに本体外側を拭きます。
3. 電源コードを接続します。

ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。本体が変色したり、故障の原因になります。

本体内部の清掃

インクの汚れや紙の粉などが本体内部にたまると、きれいに印刷できなくなることがあります。つぎのように本体の印刷部分を定期的に清掃してください。

1. B-30から電源コードを抜きます。
2. 原稿排紙トレイを開きます。
3. 上カバーつまみを持ち上げて、上カバーを開きます。
4. 柔らかくて乾いた、糸くずのでない、きれいな布を使って、下図の ▒ 部分のインクの汚れや紙の粉を取り除きます。
   カートリッジホルダに触れないように注意してください。

本体内部のフィルムケーブル、ガイドレール、丸い軸、他の金属部分に触れないでください。印刷品位の低下の原因になる場合があります。

5 上カバー、原稿排紙トレイを閉じ、電源コードを接続します。

スキャナ部の清掃

スキャナ部は、つぎのように定期的に確認し清掃してください。

1 B-30から電源コードを抜きます。

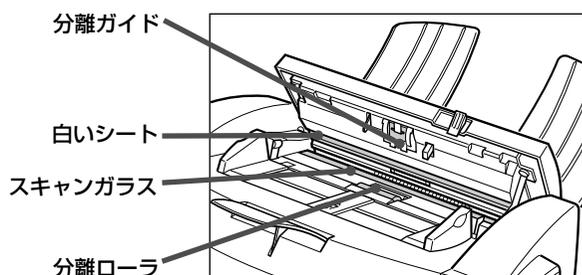
スキャナ部が汚れていると、送信、コピー、スキャンした画像が汚れます。

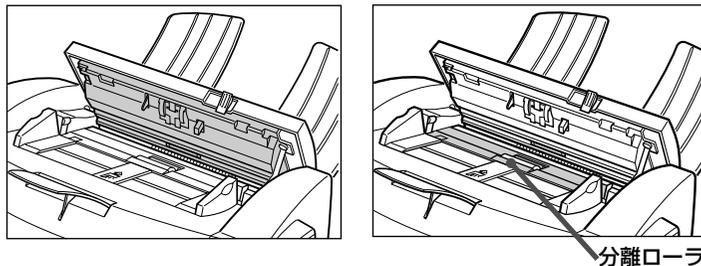
2 原稿排紙トレイを開きます。

3 操作パネルをゆっくりと手前に引いて開きます。

4 柔らかくて乾いたきれいな布で、分離ローラと分離ガイドの汚れを拭きとります。
白いシートとスキャンガラスは、水で湿らせ固くしぼった布で汚れを落としてから、柔らかくて乾いた布で拭きとります。

操作パネルは、少ししか開きません。

スキャナ部を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。
静電気による故障の原因になるので、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。

5 操作パネルの裏側や分離ローラの周りも、柔らかくて乾いた布で清掃します。

この部分の汚れやほこり、紙の粉によっても、送信、コピー、スキャンした画像が汚れます。

6 清掃が終わったら、操作パネルをゆっくり閉じて、カチッという音がするまで中央部を押し、しっかりと閉じます。

カチッと音がするまでしっかり閉じてください。きちんと閉じていないと、正常に動作しません。

7 原稿排紙トレイを閉じ、電源コードを接続します。

輸送するときの梱包

B-30を輸送するときは、輸送中に破損したり故障したりしないように、つぎのように梱包してください。

1. BJカートリッジを取りはずし、付属のBJカートリッジ保管箱に入れます。
2. 電源コードを抜きます。
3. モジュラージャックコード、コンピュータと接続しているパラレルケーブルやUSBケーブルを取りはずします。
   子電話、留守番電話を取り付けているときは、それも取りはずします。
4. 原稿トレイ、記録排紙トレイを取りはずします。
5. 原稿排紙トレイを閉じます(取りはずす必要はありません)。
6. 購入時に取りはずした梱包材を取り付け、B-30本体と付属品を、箱に収めます。

●元の箱や梱包材がないとき

適当な大きさの丈夫な段ボール箱に入れて、一般の発泡スチロールやビニール袋などの梱包材を使い、中で本体がガタガタしたり、輸送のショックで破損、故障しないように、しっかりと梱包してください。発泡スチロールなどの小さな梱包材を使うときは、B-30の中にはいりこまないように、先にB-30本体をビニール袋などで包んでください。

9章
困ったときは

操作がうまくいかないとき、動作がおかしいときなどは、この章の説明にしたがって対処してください。

⚠注意

B-30本体から変な音や煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて電源を切り、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。絶対にご自分で修理、分解しないでください。

どうしても問題が解決しないとき

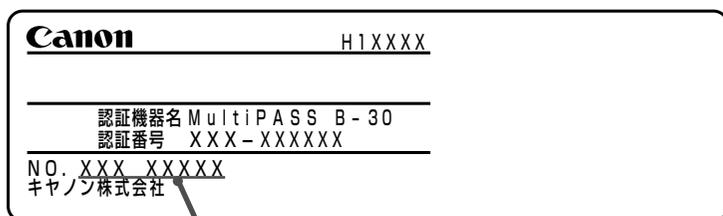
この章の説明にしたがって対処してみても、どうしてもうまくいかなかったときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

キヤノンサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。キヤノン製品を使っていて困ったことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

⚠注意

B-30をご自分で修理、分解すると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

連絡の前に、あらかじめつぎのことをメモしておいてください。

- 装置名－MultiPASS(マルチパス) B-30
- シリアルナンバー(機体番号:B-30本体の背面のラベルに書かれています。)

- MultiPASS Suiteのバージョン
  (MultiPASS Suiteを使っていない場合は、必要ありません)
- お買い求めの販売店名
- トラブルのくわしい状況
- この章の説明にしたがって対処したことと、その結果(複数ある場合はすべて)

MultiPASS Suiteのバージョンの調べ方→『MultiPASS Suite使用説明書』

紙づまり

自動給紙装置(ADF)の原稿や記録紙トレイの記録用紙が途中でひっかかったり、つまったときは、つぎのようにして取り除いてください。

つまった紙は、電源を入れたままで取り除きます。

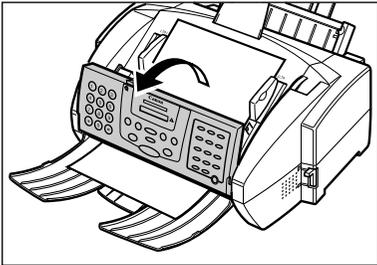
原稿がつまったとき

自動給紙装置(ADF)で原稿がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに、 ｹﾞﾝｺｳ ｦ ﾁｪｯｸ と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。

1 紙づまりしてもまだ原稿が送られつづけているときは、(ストップ)ボタンを押します。

2 複数の原稿をセットしていたときは、いったん全部取り出します。

3 操作パネルをゆっくりと手前に引いて開きます。

操作パネルを開かずに原稿を引き出そうとすると、原稿が破れたり、汚れたりすることがあります。

4 つまった原稿をゆっくりと引き出します。
どちらの方向でも、引き出しやすい方に引き出してください。

●原稿をうまく引き出せないとき
無理に引っぱると、破れる恐れがあります。そのままの状態で、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

5 操作パネルをゆっくり閉じて、カチッという音がするまで中央部を押し、しっかりと閉じます。

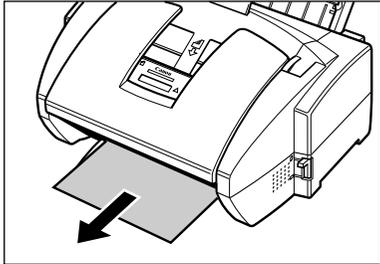
カチッと音がするまでしっかり閉じてください。きちんと閉じていないと、正常に動作しません。

6 (リセット)ボタンを押します。

記録排紙口で記録用紙がつまったとき

記録排紙口で記録用紙がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに、 キロクシガ゛ ツマリマシタ と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。

ファクス受信中に記録用紙がつまったときは、受信したファクスはメモリに保存されています。つまった記録用紙を取り除いて(リセット)ボタンを押すと印刷されます。

1 図のように、つまった記録用紙をゆっくり引き出します。

2 記録紙トレイにセットされている記録用紙の束をいったん取り出し、セットしなおします。

最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。

3 (リセット)ボタンを押します。

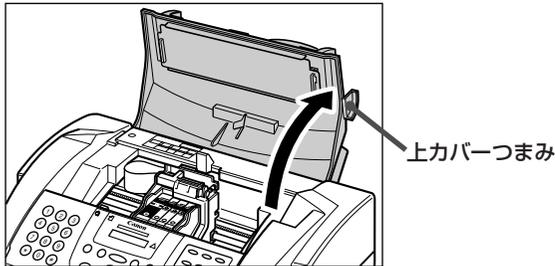
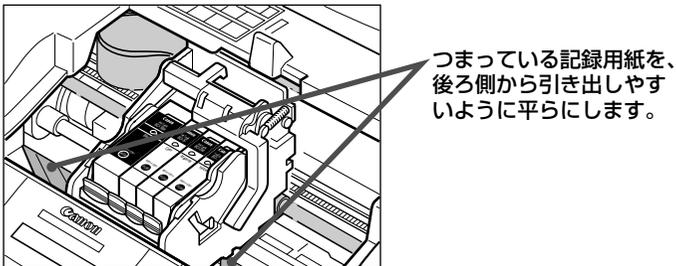
Windowsアプリケーションから印刷していたときは、コンピュータの画面の表示にしたがってください。

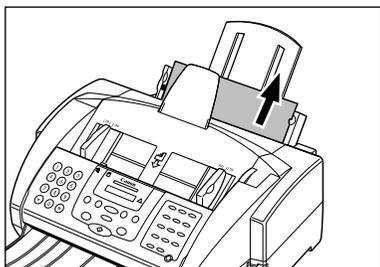
BJカートリッジ付近で記録用紙がつまったとき

BJカートリッジ付近で記録用紙がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｼﾞｬﾑ と表示されます。

このときは、つぎのように対処してください。

1 上カバーつまみを持ち上げて、上カバーを開きます。

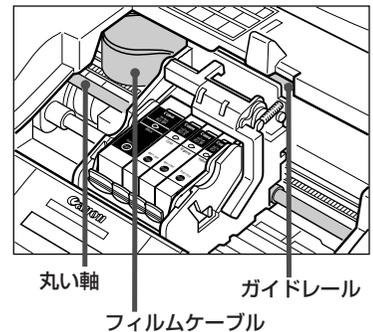
B-30のカートリッジルダが中央に移動します。

2 BJカートリッジ付近につまっている記録用紙を、記録紙トレイ側から引き出しやすいようにできるだけ平らにします。

3 上カバーを閉じます。

4 記録紙トレイから、つまっている記録用紙をゆっくり引き出します。

5 リセットボタンを押します。

Windowsアプリケーションから印刷していたときは、コンピュータの画面の表示にしたがってください。

ファクス受信中に記録用紙がつまったときは、受信したファクスはメモリに保存されています。つまった記録用紙を取り除いてリセットボタンを押すと印刷されます。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

本体内部のフィルムケーブル、ガイドレール、丸い軸、他の金属部分に触れないでください。印刷品位の低下の原因になる場合があります。

記録用紙がちぎれたときは、ピンセットなどで切れ端を取り除いてください。

記録用紙がうまく送られない

記録紙トレイにセットした記録用紙がうまく送られないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

記録用紙がはいっていかない

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？

セットできる枚数→6-4ページ

記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。

記録紙トレイにセットできる枚数は、普通紙では100枚までです。無理に押さえつけてつめこまないでください。

記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。

→『マルチパスB-30の羅針盤』、本書「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

斜めに印刷される

記録用紙の束の右側が記録紙トレイの右側にそろい、記録紙ガイドが記録用紙の左側に合わされているか確認してください。

記録排紙口にゴミや異物が付着していないか確認してください。

何枚か重なって送られる

記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。

→『マルチパスB-30の羅針盤』、本書「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

記録用紙どうしがくっついていないか確認してください。

記録用紙を記録紙トレイにセットするときは、よくさばいてからそろえてセットしてください。

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？

セットできる枚数→6-4ページ

記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。

記録紙トレイにセットできる枚数は、普通紙では100枚までです。無理に押さえつけてつめこまないでください。

記録紙トレイに種類の違う記録用紙がセットされていませんか？

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

記録紙トレイには、一種類の記録用紙だけをセットしてください。

また、記録用紙が条件に合っているか確認してください。

OHPフィルムやバックプリントフィルムがうまく送られない

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？

セットできる枚数→6-4ページ

記録紙トレイにセットできる枚数は、OHPフィルムは30枚まで、バックプリントフィルムは10枚までです。

紙づまりがたびたび起こる

記録用紙そのものに問題がある可能性があります。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

記録用紙が条件に合っているか確認してください。また、記録用紙どうしがくっつかないように、よくさばいてからそろえて記録紙トレイにセットしてください。

封筒が送られない

封筒が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。

封筒は、一度に10枚までセットできます。

コンピュータの用紙の設定で、正しい封筒サイズが選ばれているか、確認してください。

封筒の種類は、条件に合っていますか？

→「封筒に印刷する」6-6ページ

印刷できる封筒は、つぎのとおりです。

洋形4号（235×105mm）

洋形6号（190×98mm）

→『MultiPASS Suite使用説明書』

封筒のフタがそったり、ふくらんだりしていませんか？

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

ペンの軸などの丸いものでしごいてまっすぐに伸ばしてください。

ファクスを送信できない

ファクスの送信がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

ファクスを送信できない

電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)は正しく設定されていますか?

使用する電話回線の種類に合わせて設定してください。電話回線の種類がわからないときは、最寄りのNTTにお問い合わせください。116番(無料)で調べてもらえます。

→『マルチパスB-30の羅針盤』、本書「電話回線の種類を設定する」1-7ページ

原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか?

原稿をいったん全部取り出し、セットしなおしてください。

→「原稿をセットする」5-4ページ

紙間選択レバーは原稿の種類に合わせて設定されていますか?

操作パネルは閉まっていますか?

指定したワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルには、ファクス番号が登録されていますか?

登録内容を確認してください。

ファクス番号は正しいですか?

確認して、もう一度かけなおしてください。

送信先のファクス機器の記録用紙がなくなっていませんか?

送信先に連絡して、確認してもらってください。

カラー対応ではないファクス機器に、カラーで送信していませんか?

カラーに対応していないファクス機器にカラーで送信しようとすると、LCDディスプレイに「シロクロモードデ ヤリナオシ」と表示され、送信されません。白黒で送信しなおしてください。

カラーダイレクト送信の設定をすると、カラーに対応していないファクス機器には、自動的に白黒に変換して送信されるようになります。

カラーダイレクト送信の設定→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

メモリから別のファクスを送信中ではありませんか?

それらの送信が終わるまで、待ってください。

送信時に通信エラーが発生した可能性があります。

通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

→「通信管理レポート」2-14ページ、「メッセージとその内容」9-24ページ

電話回線に異常がある可能性があります。

オンフック ボタンを押すか、子電話の受話器を取って、発信音が聞こえるか確認してください。聞こえないときは、最寄りのNTTに連絡してください。

送信先のファクス機器がG3対応かどうか確認してください。

送信したファクスが汚れている

送信先のファクス機器に原因があるかもしれません。

B-30でコピーをとってみてください。コピーがきれいにとれれば、送信先のファクス機器が原因と思われます。送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。

原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか?

原稿をいったん全部取り出し、セットしなおしてください。

→「原稿をセットする」5-4ページ

ECMモードで送信できない

ECMモードになっていますか?

ECM送信に設定されているか確認してください。

ECM送信→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

送信先のファクス機器はECMに対応していますか?

対応していないときは、エラーチェックは行われずに、標準モードで送信されます。

送信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。

Desktop Managerの[ファクス送信の詳細設定]画面か、B-30本体の「システム管理設定」メニューで、「送信開始速度」の設定を遅くしてみてください。

送信開始速度→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「システム管理設定」メニュー」10-7ページ

ファクスを受信できない

ファクスの受信がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてください。

自動でファクスを受信できない

受信モードは正しく設定されていますか?

ファクスを自動で受信するためには、受信モードが自動受信モード、留守TEL接続モード、FAX/TEL切り替えモードのどれかに設定されていなければなりません。正しく設定してください。

留守TEL接続モードに設定している場合は、留守番電話が接続されていることと、電話が留守番電話の状態になっていて、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

→「ファクス受信モードの種類」4-2ページ

メモリにファクスが残っていて、空きがない可能性があります。

メモリ内のファクスを、印刷または削除してください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

Desktop Managerで、受信したファクスをコンピュータに送るように設定していませんか?

Desktop Managerで設定を確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

受信時に通信エラーが発生した可能性があります。

LCDディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、調べてみてください。

また、通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

→「通信管理レポート」2-14ページ、「メッセージとその内容」9-24ページ

記録紙トレイに記録用紙がはいっているか、確認してください。

モジュラージャックコードがしっかり接続されているか、確認してください。

送信側のファクス機器がファクス呼び出し音(CNG信号)を送信していない可能性があります。

B-30は、ファクス呼び出し音によって、ファクスが送信されてきたことを検知しています。送信側のファクス機器がファクス呼び出し音を送信できないときは、手動受信するか、FAX/TEL切り替えモードで「呼び出し後の動作」を「受信」に設定してください。

手動受信→「手動受信モード」4-6ページ
呼び出し後の動作→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ

手動でファクスを受信できない

(スタート)ボタンを押すか、リモートIDを押す前に、受話器を戻しませんでしたか?

受話器を戻す前に、(スタート)ボタンを押すか、リモートIDを押してください。

手動受信→「手動受信モード」4-6ページ

受信したファクスの画質が悪い

記録紙トレイにセットされている記録用紙が条件に合っていますか?

B-30で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

送信側のファクス機器に原因があるかもしれません。

ファクスの画質は、通常、送信側のファクス機器によって決まります。送信してきた相手に連絡して、読み取り部や原稿カバーが汚れていないか点検してもらってください。

ECMモードになっていますか?

ECM受信に設定されているか確認してください。

ECM受信→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ

電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。

ECM受信すると解決する場合もありますが、電話回線の状態がよくないときは、再送信してもらった方がいいでしょう。

プリントヘッドが目づまりしていませんか?

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

受信したファクスがまったく印刷されない

BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色の保護テープをはがしましたか?

保護テープは必ずはがしてください。

BJカートリッジやインクタンクは、正しく取り付けられていますか?

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「インクタンクを交換する」7-12ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか?

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

BJカートリッジやインクタンクが、交換時期にきている可能性があります。

交換時期かどうか調べてください。

→「BJカートリッジやインクタンクの交換時期」7-4ページ

Desktop Managerで、受信したファクスをコンピュータに送るように設定していませんか?

Desktop Managerで設定を確認してください。[ファクス設定]画面の[ファクス受信]タブで、[コンピュータ起動時]の設定を[ファクスをアップロード]にしているときは、受信したファクスは印刷されずにコンピュータに送られます。コンピュータに送らずにB-30で印刷するときは、[ファクスを印刷]に設定してください。すでにコンピュータに送られたファクスは、Desktop Managerで印刷してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

ECMモードで受信できない

送信側のファクス機器は、ECMに対応していますか？

対応していないときは、エラーチェックは行われず、標準モードで受信されます。

ECMモードになっていますか？

ECM受信に設定されているか確認してください。

ECM受信→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ

受信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。

Desktop Managerの[ファクス受信の詳細設定]画面か、B-30本体の「システム管理設定」メニューで、「受信開始速度」の設定を遅くしてみてください。

受信開始速度→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「システム管理設定」メニュー」10-7ページ

送信側のファクス機器が正しく動作していない可能性があります。

送信してきた相手に連絡して、確認してもらってください。

電話が使えない

電話がうまくかからないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

ダイヤルできない

モジュラージャックコードはしっかり接続されていますか？

接続を確認してください。

電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)は正しく設定されていますか？

使用する電話回線の種類に合わせて設定してください。電話回線の種類がわからないときは、最寄りのNTTにお問い合わせください。116番(無料)で調べてもらえます。

→『マルチパスB-30の羅針盤』、本書「電話回線の種類を設定する」1-7ページ

電源コードのコネクタとプラグが、B-30の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか？

接続を確認してください。

通話中に電話が切れてしまう

モジュラージャックコードは電話用コンセントにしっかり差しこまれていますか？

接続を確認してください。

電源コードのコネクタとプラグが、B-30の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか？

接続を確認してください。

子電話が、停電時にも通話できる電話機であれば、電源コードが抜けたり、停電になっても、通話は継続できます。

コピーできない

うまくコピーできないときは、つぎの項目をチェックしてください。

まったくコピーできない

LCDディスプレイになにか表示されていますか？

なにも表示されていないときは、電源に問題がある可能性があります。電源コードがしっかり接続されているか、電源コンセントが正常か確認してください。

エラーメッセージが表示されているときは、「メッセージとその内容」(→9-24ページ)にしたがって対処してください。

「コピー」、「ソウシン」、「ジュシン」、「ヨビダシ チュウ」などが表示されていたり、送信先の名前や電話番号が表示されているときは動作中です。動作が終わるまで待ってください。日付が表示されているときは、つぎ以降の項目を確認してください。

インクタンクが空になっていませんか？

表示されるメッセージを確認して、インクタンクを交換してください。

→「インクタンクを交換する」7-12ページ

適切なBJカートリッジが取り付けられていますか？

- ブラックBJカートリッジでは、カラーコピーはできません。カラーまたはフォトBJカートリッジに交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

- フォトインク記録が「シナイ」に設定されていると、フォトBJカートリッジで白黒コピーはできません。カラーまたはブラックBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定を「スル」に変更してください。

フォトインク記録→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「プリント設定」メニュー」10-7ページ

原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか？

一度原稿を取り出してそろえ、セットしなおしてください。給紙レバーの位置や、操作パネルが閉まっているかも確認してください。

→「原稿をセットする」5-4ページ

B-30が故障している可能性があります。

ノズルチェックパターンを印刷して確認してください。

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-5ページ

BJカートリッジやインクタンクは、正しく取り付けられていますか？

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「インクタンクを交換する」7-12ページ

複数ページの原稿をコピーできない

「メモリガ イッパイデス」と表示されていませんか？

メモリ内のファクスを印刷または削除してから、コピーをとってください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

コピーする原稿にたくさんの画像が含まれていますか？

複数ページの原稿をコピーするときは、原稿をいくつかに分けてコピーするか、1部ずつコピーしてください。

印刷できない

印刷がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

印刷時にエラーランプが点灯し、警告音が鳴る

紙づまりのとき

つまった原稿、記録用紙を取り除いてください。

→「紙づまり」9-3ページ

紙づまりでないとき

リセット ボタンを押してもエラーランプが消えないときは、電源コードを電源コンセントから抜いて電源を切り、5秒間待ってから、もう一度電源コードを電源コンセントに差しこんで電源を入れてください。問題が解決していれば、エラーランプは点灯せず、BJカートリッジがホームポジションに移動し、LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます(スタンバイ状態になります)。ただし、B-30の電源を切ると、メモリに保存されていたファクスは消去されます。

電源を入れなおしてもまだエラーランプが点灯するときは、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

まったく印刷されない

電源コードのコネクタとプラグが、B-30の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?

接続を確認してください。

B-30とコンピュータのプリンタケーブルは、しっかり接続されていますか?

接続を確認してください。また、プリンタケーブルの種類や長さが正しいか確認してください。

コンピュータとの接続→『マルチパスB-30の羅針盤』

コンピュータやB-30の電源を入れたまま、プリンタケーブルを接続しませんでしたか?

- 両方の電源を切ってから、もう一度接続しなおしてください。
- USBケーブルの場合は、ソフトウェアのインストール時にケーブルを接続し、正しく動作するか確認してください。

BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色の保護テープをはがしましたか?

保護テープは必ずはがしてください。

BJカートリッジやインクタンクは正しく取り付けられていますか?

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「インクタンクを交換する」7-12ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか?

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

BJカートリッジやインクタンクが、交換時期にきている可能性があります。

交換時期かどうか調べてください。

→「BJカートリッジやインクタンクの交換時期」7-4ページ

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

- 印刷に使うアプリケーションは、正しく設定されているか。
- 印刷に使うプリンタとしてB-30が選ばれているか。
- プリンタドライバのポートの設定は正しいか。
- コンピュータのパラレルポートは使用できる状態か。
- 他のハードウェアやアプリケーションが、B-30と同じパラレルポートを使用していないか。

BJカートリッジは動いているのに、印刷されない

BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色の保護テープをはがしましたか？

保護テープは必ずはがしてください。

BJカートリッジやインクタンクは、正しく取り付けられていますか？

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「インクタンクを交換する」7-12ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

インクタンクが空になっていませんか？

表示されるメッセージを確認して、インクタンクを交換してください。

→「インクタンクを交換する」7-12ページ

元の絵と印刷が全然違う

B-30とコンピュータのプリンタケーブルは、しっかり接続されていますか？

接続を確認してください。また、プリンタケーブルの種類や長さが正しいか、確認してください。

コンピュータとの接続→『マルチパスB-30の羅針盤』

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

- B-30とコンピュータの通信に問題はないか。
- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。
- 他のハードウェアやアプリケーションが、B-30と同じパラレルポートを使用していないか。
- プリンタドライバの設定で、正しい記録用紙が選ばれているか。
- 前回、印刷したときの設定が、そのまま残っていないか。

印刷が記録用紙サイズと合っていない

記録用紙は記録紙トレイに正しくセットされていますか？

正しくセットされているか確認してください。

→「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

- アプリケーションでの用紙サイズや余白の設定は正しいか。
- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。

一行ごとに印刷が止まる

プリントヘッドが加熱しすぎている可能性があります。

長時間、続けて印刷してプリントヘッドが加熱しすぎると、冷ますために動きが遅くなります。処理中の印刷が終了したら、しばらく使用しないで、冷ましてください。

印刷ジョブが消える、文字化けする

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

- 他のアプリケーションが、B-30と同じプリンタポートを使用していないか。
- MultiPASSサービスは起動しているか。

記録用紙が丸まってしまう

インクを多く使って印刷する部分が多いと、丸まってしまうことがあります。

- 印刷された記録用紙は30〜60秒ほど記録排紙口に置いて、インクを乾かします。原稿排紙トレイなどに印刷面が触れないように注意しながら取り出し、完全に乾かしてから、丸まっている方向とは逆の方向に記録用紙を丸めます。(記録用紙を取り出すときにインクでB-30本体が汚れたときは、柔らかい布を、水か、食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください)
- 記録用紙が薄すぎます。薄い記録用紙にインクを多く使って印刷すると、丸まってしまうので、厚めの記録用紙を使ってください。

コンピュータの画面に「MultiPASSの初期化」と表示される

コンピュータからB-30にデータを送信しても、B-30が応答しないと、タイムアウトになります。

B-30の電源がはいっているか、プリンタケーブルがしっかり接続されているか、確認してください。

紙づまりが起こっていたら、つまった紙を取り除き、記録紙トレイに記録用紙が正しくセットされているのを確認してください。

記録用紙からはみ出してB-30内部のプラテンに印刷されたときは、ノートパッドなどで白紙を2、3枚印刷して、インクを拭き取ってください。

きれいに印刷、コピーできない

　きれいに印刷できないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

印刷が不鮮明、インクがはねる、部分的に欠ける

記録紙トレイにセットされている記録用紙は、条件に合っていますか？

　B-30で使用できる記録用紙かどうか、確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

記録用紙の裏側に印刷していませんか？

　記録用紙には、裏表があるものがあります。そのような記録用紙のときは、表が上になるように記録紙トレイにセットしてください。裏表がよくわからないときは、裏返して印刷してみてください。

BJカートリッジやインクタンクは、正しく取り付けられていますか？

　正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「インクタンクを交換する」7-12ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

　プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

インクタンクが空になっていませんか？

　表示されるメッセージを確認して、インクタンクを交換してください。

→「インクタンクを交換する」7-12ページ

プリントヘッドが消耗していませんか？

　消耗していたら、BJカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

BJカートリッジの交換後に、プリントヘッドの位置合わせをしましたか？

　位置合わせをしてください。

→「プリントヘッドの位置合わせ」7-10ページ

文字や絵がギザギザになる

プリンタドライバをチェックして、選択した印刷モードを確認してください。ドラフトモードで印刷すると、文字がギザギザになります。

　『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。
　ドットマトリックスプリンタ専用のビットマップフォントは、ギザギザに印刷されます。また、一部のMSフォント(MS Serifなど)はギザギザになるので、他のフォントを選択してください。

色が薄い、印刷がかすむ

　『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。
　ドラフトモードで印刷しているときは、標準モードかファインモードで印刷してみてください。

印刷に時間がかかりすぎる

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

ぼやけていたりインク汚れの箇所がある

記録紙トレイにセットされている記録用紙は条件に合っていますか？

B-30で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

記録用紙の裏側に印刷していませんか？

記録用紙には、裏表があるものがあります。そのような記録用紙のときは、表が上になるように記録紙トレイにセットしてください。裏表がよくわからないときは、裏返して印刷してみてください。

印刷面がかすれたり、汚れたりする

紙間選択レバーが正しくセットされていません。

画像など、インクを多く使う印刷では、紙間選択レバーを下✉にセットしてください。

→「紙間選択レバーの調整」6-3ページ

カラー印刷、カラーコピーができない

カラー印刷やカラーコピーで色がうまく出ないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

黒一色で印刷されてしまう

BJカートリッジやインクタンクは、正しく取り付けられていますか？

正しく取り付けられているか、確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「インクタンクを交換する」7-12ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。
- 使用しているアプリケーションは、カラー印刷に対応しているか。

色が違う、ムラがある、細い線が見えにくい

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

- 印刷モードは正しいか。
- 原色以外の色で、細い線を引いていないか。
  原色以外の色では、複数の色や白のドットが交互に印刷されるので、細い線だと見えにくくなります。細い線は、4つの原色、シアン（青）、マゼンタ（赤）、イエロー（黄）、ブラック（黒）のうちのどれかにすると、見やすくなります。

色が正しく印刷されない

つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

B-30は、画面の色どおりに印刷できるように設計されていますが、色によっては、完全には一致しないことがあります。

- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。
- プリンタドライバの設定で、正しい記録用紙が選ばれているか。

印刷されない色がある

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

インクタンクが空になっていませんか？

表示されるメッセージを確認して、インクタンクを交換してください。

→「インクタンクを交換する」7-12ページ

1行だけ色の感じが違う

印刷しようとしている画像に対して、最適な印刷の設定をしていますか？

設定や記録用紙の種類を変えて、印刷してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

色合いが変わってしまう

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-6ページ

インクタンクが空になっていませんか？

表示されるメッセージを確認して、インクタンクを交換してください。

→「インクタンクを交換する」7-12ページ

青が紫や紺色に印刷される

コンピュータの画面の色はR(赤)、G(緑)、B(青)を加色混合という方法で混合して表現されていますが、プリンタではC(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)を減色混合という方法で混色して表現するので、画面の色を完全に再現することはできません。このため、青い色は、画面に比べると濃くなったり、紫色に近くなったりします。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

細かい部分がきれいに印刷できない

プリンタドライバの設定が、普通紙にカラー印刷する設定になっているか、確認してください。
また、ハーフトーンが「誤差拡散」に設定されているか、確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

一般的なトラブル

電源がはいらない

電源コードのコネクタとプラグが、B-30の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?

接続を確認してください。

電源コードは断線していませんか?

別の電源コードに交換してみるか、テスターで通電をチェックしてください。

レポートを印刷できない

ブラックインクがなくなっていませんか？

インクタンクを交換してください。

→「インクタンクを交換する」7-12ページ

フォトBJカートリッジがセットされていませんか?

フォトインク記録が「シナイ」に設定されていると、フォトBJカートリッジでレポートは印刷できません。カラーまたはブラックBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定を「スル」に変更してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ
フォトインク記録→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「プリント設定」メニュー」10-7ページ

LCDディスプレイに何も表示されない

電源コードのコネクタとプラグが、B-30の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?

接続を確認してください。

OAタップなどに接続しているときは、それが電源コンセントに接続され、スイッチがオンになっているか、確認してください。

それでも何も表示されないときは、電源コードを電源コンセントから抜き、5秒間待ってから、もう一度電源コンセントに差しこんでください。

電源が落ちたとき

停電や誤って電源コードを抜いてしまっても、内蔵バッテリーにより、ユーザデータやスピードダイヤルの設定は消去されません。ただし、メモリに保存されていたファクスはすべて消去されます。

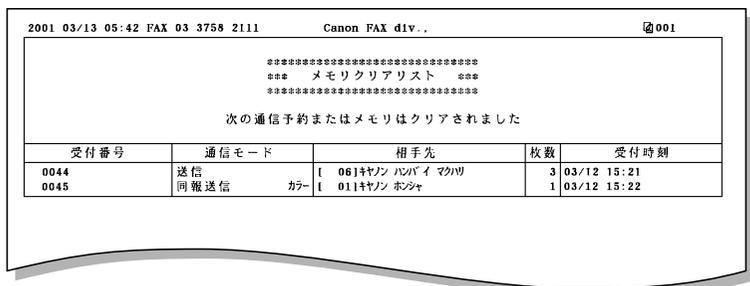
電源が落ちると、つぎのような状況になります。

- ファクスの送受信やコピーはできません。
- 停電時に、子電話で電話をかけたり受けたりできるかどうかは、その電話機によります。その電話機のマニュアルをお読みください。
- B-30に電源がはいると、メモリクリアリストが自動的に印刷されます。これは、メモリに保存されていたが、電源が落ちたために消去されてしまったファクスの一覧です。

2001 03/13 05:42 FAX 03 3758 2111　Canon FAX div.,　001

****
***　メモリクリアリスト　***
****

次の通信予約またはメモリはクリアされました

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻
0044	送信	[06]ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ	3	03/12 15:21
0045	同報送信 ｶﾗｰ	[01]ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ	1	03/12 15:22

メモリクリアリスト

ふたたび電源がはいってメモリクリアリストが印刷されるときに、記録紙トレイに記録用紙がセットされていないと、LCDディスプレイに「キロクシガ アリマセン」と表示されます。リセットボタンを押してください。スタンバイ状態に戻ります。（この場合、メモリクリアリストは印刷されません）

9

困ったときは

メッセージとその内容

B-30のLCDディスプレイに表示されるメッセージと、それに対応する通信管理レポートのエラーコード、内容と対処のしかたはつぎのとおりです。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
BC33/30 ニ コウカン	フォトインク記録が設定されていないのに、フォトBJカートリッジで、白黒コピーをとろうとしたか、受信したファクスを印刷しようとした、またはメモリ内の白黒ファクスを印刷しようとしました。	カラーまたはブラックBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定をしてください。
BC33/34 ニ コウカン	ブラックBJカートリッジがセットされているのに、カラーの高品位専用紙、写真モードでコピーをとろうとしました。	カラーまたはフォトBJカートリッジに交換してください。
BC33 ニ コウカン	ブラックBJカートリッジで、カラーコピーをとろうとしました。	カラーBJカートリッジに交換してください。
	受信したカラーファクスを、ブラックBJカートリッジで印刷しようとしました。	カラーBJカートリッジに交換してください。カラーBJカートリッジがないときは、メモリに保存されたファクスを、白黒に変換して印刷してください。
	フォトインク記録が設定されていないのに、フォトBJカートリッジで、受信したファクスを印刷しようとしました。	カラーBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定をしてください。
BC34デ プリント?	フォトインク記録が設定されていないのに、フォトBJカートリッジでメモリ内のカラーファクスを印刷しようとしています。	印刷するときは ＊ ボタンを、しないときは # ボタンを押してください。または、フォトインク記録の設定をしてください。
ECMジュシン	ECMモードでファクスを受信中です。	ECMモードで受信すると、エラーが起こった場合でも自動的に修正されますが、通常より時間がかかります。速く受信したいときや、電話回線に特に問題がないときは、ECMを無効にしてもかまいません。
ECMソウシン	ECMモードでファクスを送信中です。	ECMモードで送信すると、エラーが起こった場合でも自動的に修正されますが、通常より時間がかかります。速く送信したいときや、電話回線に特に問題がないときは、ECMを無効にしてもかまいません。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
アイテ オウトウナシ(#005)	送信先のファクス機器が応答しません。	番号が正しかったか、確認してください。しばらく待ってから、送信しなおしてください。
アイテサキ キロクシ ナシ(#012)	相手のファクス機器に記録用紙がないか、メモリがいっぱいです。	相手に連絡して、記録用紙を補給するか、メモリを空けてもらってください。
インクガ アリマセン	メッセージの前に示された色のインクタンクが空です。色は、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)で示されます。	新しいインクタンクに交換してください。交換すると、メモリ内の受信ファクスが自動的に印刷されます。
ウケツケ バンゴウ nnnn	送受信したファクスには、自動的に通し番号がつけられます。	この番号は、後で送受信の結果を調べるときなど、それぞれの送受信を区別するのに役立ちます。受付番号は、通信管理レポートや送信結果レポート、受信結果レポートにも印刷されます。
ウケツケ バンゴウ nnnn ヨミコミ チュウ メモリガ イッパイデス	他のファクスを送信中で、メモリがいっぱいです。	現在の送信が終わりメモリが空くと、送信されます。
オマチクダサイ ヒヤシテイマス	印刷中に、BJカートリッジのプリントヘッドが過熱しました。	B-30の温度を下げてください。 熱が冷めると、印刷が再開されます。
カートリッジガ アリマセン	BJカートリッジが正しく取り付けられていません。	BJカートリッジが正しく取り付けられているか、青色のカートリッジ固定レバーで固定されているか、確認してください。 取り付けられていないときは、取り付けてください。
カートリッジガ モドリマス	BJカートリッジが、ホームポジションに戻ろうとしています。	このメッセージが消えてから、操作してください。
カートリッジ コウカン	上カバーが開いて、カートリッジホルダが中央に移動しています。	カートリッジホルダが止まるまで待ってから、BJカートリッジやインクタンクを交換してください。交換したら上カバーを閉じて、スタンバイ状態になるのを待ちます。
カートリッジ ジャム	BJカートリッジ付近の紙づまりです。	上カバーを開き、つまった記録用紙を取り除いて、リセット ボタンを押してください。
	カートリッジホルダを手で無理に動かそうとしたか、動いているカートリッジホルダが無理に止められました。	カートリッジホルダを手で無理に動かしたり、止めたりしないでください。
カイセン シヨウチュウ	FAX/TEL切り替えモードに設定されていて、電話がかかっています。 子電話で電話をかけているとき(子電話の受話器がはずれているとき)にも表示されます。	電話に出てください。電話を使っていないのに、受話器がはずれているときは、受話器を戻してください。
カバーガ シマッテ イマセン	上カバーが開いています。	上カバーを閉じてください。
キロクシガ アリマセン(#009)	記録紙トレイに記録用紙がはいっていません。	記録紙トレイに記録用紙をセットしてください。そのとき、記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。セットしたら、リセット ボタンを押します。
キロクシガ ツマリマシタ	記録紙トレイに記録用紙がセットされていないか、紙づまりが起こっています。	記録用紙がないときはセットし、紙づまりのときはつまった記録用紙を取り除いて、リセット ボタンを押します。メモリに保存されたファクスがあるときは、自動的に印刷されます。

9

困ったときは

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
キロクシノ サイズヲ チェック	記録紙トレイにセットされている記録用紙のサイズと、「プリント設定」メニューで指定した記録紙サイズが違っています。	正しいサイズの記録用紙をセットするか、記録紙サイズの設定を変更してください。
ゲンコウ ガ アリマス	自動給紙装置(ADF)の原稿を読み取る準備ができました。	ファクス送信、スキャン、コピーできます。
ゲンコウガ ナガスギマス(#003)	1枚の原稿の長さが1mを超えています。	原稿をいくつかに分けてコピーし、そのコピーを送信してください。
ゲンコウ ヲ チェック(#001)	自動給紙装置(ADF)内で原稿がつまっています。	つまっている原稿を取り除き、セットしなおしてください。
	給紙レバーが1枚給紙側にセットされています。	給紙レバーを自動給紙側にセットしてください。
コノ ワンタッチハ ツカエマセン (#025)	手動送信のとき、グループが登録されているワンタッチダイヤルを指定しました。	手動送信で同報送信することはできません。手動送信で送信できるのは、1か所だけです。
コノ タンシュクハ ツカエマセン (#025)	手動送信のとき、グループが登録されている短縮ダイヤルを指定しました。	手動送信で同報送信することはできません。手動送信で送信できるのは、1か所だけです。
ジドウ リダイヤル	相手が話し中だったので、リダイヤルの待機中です。	リダイヤルが行われるまで待ってください。リダイヤルをやめるときは、「送信を中止する」(➞2-9ページ)の操作を行ってください。
シバラク オマチクダサイ	準備中です。	LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されるまでお待ちください。
ジュワキヲ オイテ クダサイ	子電話の受話器がはずれています。	子電話の受話器を置き台にきちんと置いてください。
シロクロニ ヘンカン シマスカ?	カラーファクスを白黒に変換して、ブラックBJカートリッジで印刷しますか?	変換するときは カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを、しないときは 記号 # ボタンを押します。
シロクロモードデ ヤリナオシ (#085)	カラー対応ではないファクス機器にカラーファクスを送信しようとしました。	もう一度、白黒モードで送信しなおしてください。
ストップキーガ オサレマシタ	ストップ ボタンを押したので、送信が中止されました。	
ダイコウ ジュシン シマシタ	記録用紙がない、インクがない、BJカートリッジが正しくない、紙づまりなどで印刷できないので、受信したファクスをメモリに保存しました。	記録用紙がないときはセットし、インクがないときはインクタンクやBJカートリッジを交換し、紙づまりのときはつまった記録用紙を取り除いてください。その後、リセット ボタンを押すと、メモリに保存されたファクスが印刷されます。
ダイヤル チュウ	送信先にダイヤル中です。	ストップ ボタン、カナ/英/数 ＊ トーン ボタンの順に押せば、送信を中止できます。
ツウシンチュウデス シバラク オマチクダサイ (交互に表示されます)	通信中にカラーダイレクト送信をしようとしました。	通信が終わってから送信しなおしてください。
デンワバンゴウ ミトウロク(#022)	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、ファクス番号が登録されていません。	ファクス番号を登録してください。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
ハナシチュウ デシタ(#005/#018)	相手が話し中です。	しばらく待って、やりなおしてください。
	ダイヤルしたファクス番号が間違っています。	ファクス番号を確認してから、もう一度ダイヤルしてください。
	送信先のファクス機器が故障しています。	送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。
	送信先のファクス機器がG3に対応していません。	送信先に連絡して、G3対応のファクス機器で送受信してもらってください。
	B-30の電話回線の設定が正しくありません。	お使いの電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)に合わせて設定してください。
	送信先のファクス機器が55秒以内に応答しませんでした。	送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。 海外へ送信するときは、ファクス番号の間や後ろにポーズを入れてみてください。 また、手動送信も試してみてください。
ファイル ジュシン シマシタ	コンピュータが起動していないので、受信したファクスをメモリに保存しました。	コンピュータを起動してファイルをDesktop Managerに送信するか、B-30本体で「ファイル プリント」を選んで印刷します。(→4-10ページ)
	コンピュータで、ステータスモニタが起動していません。	Windowsのデスクトップで、[スタート]メニューの[プログラム]から[Canon MultiPASS Suite]−[MultiPASSステータスモニタ]をクリックして、起動してください。
フォトインク シヨウチュウ	フォトBJカートリッジが取り付けられているときはずっと表示されます。	フォトBJカートリッジ以外のBJカートリッジを使いたいときは、交換してください。
プリンタ ヲ チェック	BJカートリッジに何か引っかかっていて、動けません。	記録用紙にクリップなどが付いていないか確認します。また、BJカートリッジにオレンジ色の保護キャップが付いていたら、はずしてください。紙づまりのときはつまった記録用紙を取り除きます。すべて確認したら、リセットボタンを押して、もう一度操作してください。
	BJカートリッジが壊れている可能性があります。	リセットボタンを押すか、BJカートリッジを取り付けなおしてから、もう一度操作します。エラーが解決されないときは、本体の電源を抜いてください。しばらくしてから、もう一度電源コードを差しこみ、新しいBJカートリッジを取り付けてください。
	廃インクタンクがいっぱいです。	お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

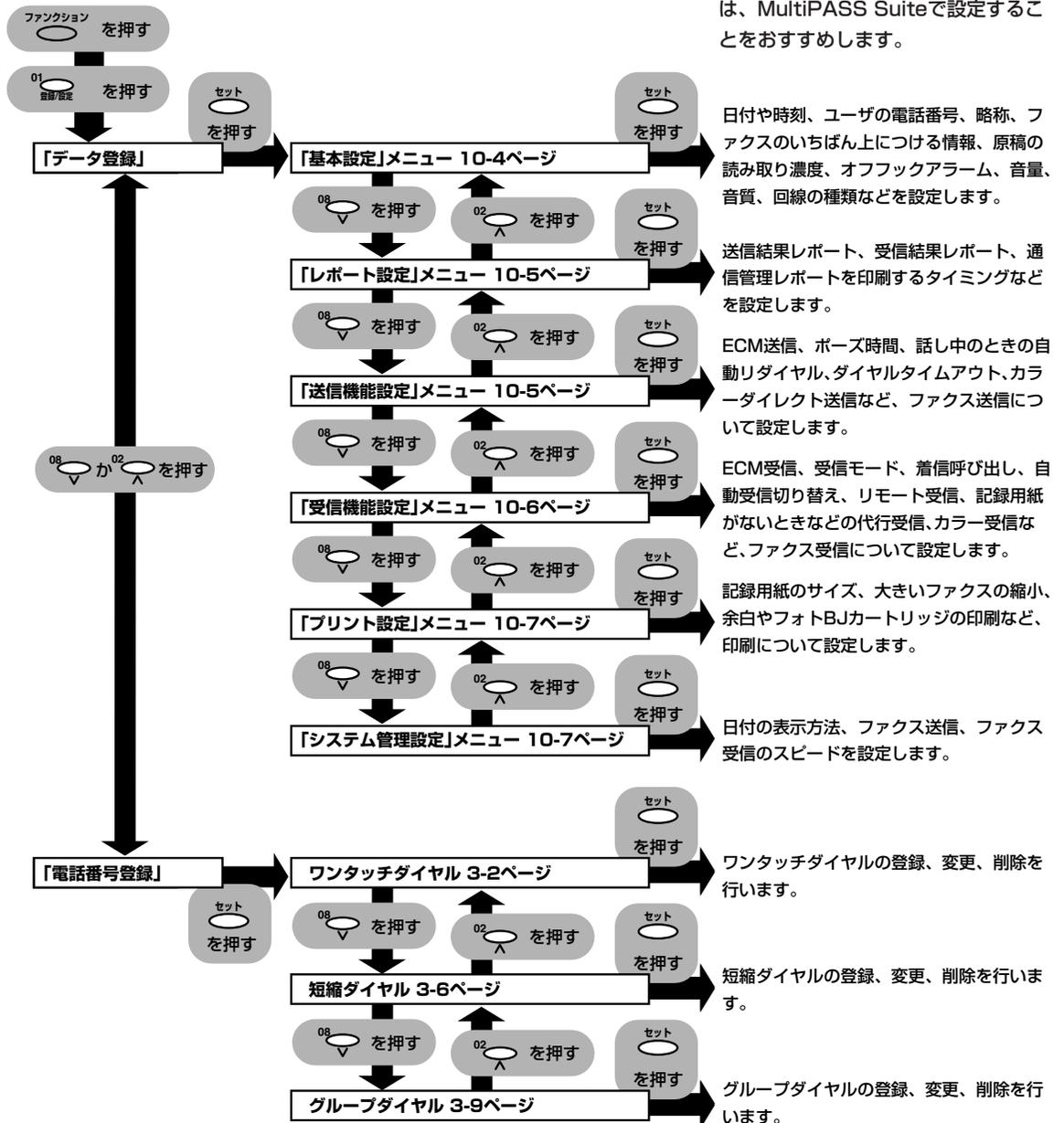
メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
メモリガ イッパイデス(#037)	何枚ものファクス、長いファクス、カラーファクス、内容が細かいファクスを受信して、メモリがいっぱいになっています。	メモリ内のファクスを印刷、削除してください。(→4-10ページ)
	一度に大量のファクスを送信しようとしたか、コピーをとろうとしたので、メモリがいっぱいになっています。	原稿をいくつかに分けて送信、コピーしてください。または、メモリ内のファクスを印刷、削除して、メモリを空けてください。
メモリ シヨウ リョウ nn%	メモリの使用量が表示されます。	もっとメモリを空けたいときは、メモリ内のファクスを送信するか、印刷するか、削除してください。
ヤリナオシテ クダサイ	電話回線かシステムでエラーが発生しました。	最初から操作しなおしてください。
ヨビダシ チュウ	送信先を呼び出し中です。	ストップボタン、カナ/英/数ボタンの順に押せば、送信を中止できます。

付録

メニューの使い方
印刷可能領域
用語解説
索引
仕様

メニューの使い方

B-30では、本体の操作パネルからメニューを使っていろいろな設定をすることができます。本文中で説明されている部分もありますが、ここでは、各メニューの項目と設定のしかたについてまとめて説明します。

登録/設定のメニューには、データ登録と電話番号登録があり、データ登録には、基本設定、レポート設定、送信機能設定、受信機能設定、プリント設定、システム管理設定があります。

●B-30をコンピュータに接続しているとき

MultiPASS SuiteからB-30の設定を行うこともできます。設定は、操作パネル、MultiPASS Suiteのどちらかで最後に行った設定が有効になります。操作パネルで行った設定はMultiPASS Suiteの画面には反映されません。

このため、混乱しないように、操作パネルかMultiPASS Suiteのどちらか一方だけを使って設定を行ってください。

コンピュータと接続しているときは、MultiPASS Suiteで設定することをおすすめします。

ファンクション を押す

01 登録/設定 を押す

「データ登録」 → セット を押す →

「基本設定」メニュー 10-4ページ → セット を押す → 日付や時刻、ユーザの電話番号、略称、ファクスのいちばん上につける情報、原稿の読み取り濃度、オフフックアラーム、音量、音質、回線の種類などを設定します。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

「レポート設定」メニュー 10-5ページ → セット を押す → 送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを印刷するタイミングなどを設定します。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

「送信機能設定」メニュー 10-5ページ → セット を押す → ECM送信、ポーズ時間、話し中のときの自動リダイヤル、ダイヤルタイムアウト、カラーダイレクト送信など、ファクス送信について設定します。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

「受信機能設定」メニュー 10-6ページ → セット を押す → ECM受信、受信モード、着信呼び出し、自動受信切り替え、リモート受信、記録用紙がないときなどの代行受信、カラー受信など、ファクス受信について設定します。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

「プリント設定」メニュー 10-7ページ → セット を押す → 記録用紙のサイズ、大きいファクスの縮小、余白やフォトBJカートリッジの印刷など、印刷について設定します。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

「システム管理設定」メニュー 10-7ページ → セット を押す → 日付の表示方法、ファクス送信、ファクス受信のスピードを設定します。

08 ∨ か 02 ∧ を押す

「電話番号登録」 → セット を押す →

ワンタッチダイヤル 3-2ページ → セット を押す → ワンタッチダイヤルの登録、変更、削除を行います。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

短縮ダイヤル 3-6ページ → セット を押す → 短縮ダイヤルの登録、変更、削除を行います。

08 ∨ を押す / 02 ∧ を押す

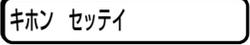
グループダイヤル 3-9ページ → セット を押す → グループダイヤルの登録、変更、削除を行います。

操作の手順

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

```
デ゛ータ トウロク
```

2 セットボタンを押します。

```
キホン セッテイ
```

3 設定したいメニュー名が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

5 設定、変更したい項目が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

7 08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押して選択肢を選びます。

8 セットボタンを押します。

さらに選択肢があるときは、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押して選び、セットボタンを押します。

セットボタンを押すと、その設定が登録されます。

セットボタンを押さずにストップボタンを押すと、設定は登録されません。

セットボタンを押さずに11 クリアボタンを押すと、元の設定に戻ります。

01 登録/設定ボタンを押すと、つぎの表示になります。

9 設定が終わったらストップボタンを押します。

LCDディスプレイに設定項目が表示されているときにセットボタンを押すと、その項目が選ばれ、設定できる状態になります。

設定の選択肢が表示されているときにセットボタンを押すと、その選択肢に設定されます。設定を中止するときは、セットボタンを押さずにストップボタンを押します。

●設定中に60秒以上何も操作しなかったとき

スタンバイ状態に戻り、入力中の情報は失われます。このときは、最初から設定しなおしてください。

●設定中に電話がかかってきたとき

手動受信モードのとき

ストップボタンを押して、受話器を取ってください。入力途中のものは、セットボタンを押すまで保存されません。

受話器を取っても何も聞こえないときやポーという音が聞こえるときは、ファクスが送られてこようとしています。この場合は、スタートボタンを押してください。

声が聞こえる場合は、通常の電話なのでそのままお話しください。

自動受信モードのとき

ストップボタンを押す必要はありません。B-30が自動的にファクスを受信します。

「基本設定」メニュー

「ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ」

項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
日付／時刻セット ﾋｽﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ	現在の日付と時刻を設定します。	―	テンキーを使って時刻(24時間表示)と日付を入力してください。
ユーザTEL登録 ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ	ファクス(電話)番号を登録します。	―	20桁以内でファクス(電話)番号を入力してください。
ユーザ略称登録 ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ	名前または会社名を登録します。	―	24文字以内で入力してください。
発信元記録 ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ	ファクスの各ページのいちばん上に送信者名などの情報を印刷します。	**ﾂｹﾙ**、ﾂｹﾅｲ	
発信元記録位置 ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ ｲﾁ	白黒送信での、発信元記録を印刷する位置を選びます。(カラー送信では、常に画像の内側につきます)	**ｶﾞｿﾞｳﾉ ｿﾄﾆ ﾂｹﾙ**、 ｶﾞｿﾞｳﾉ ﾅｶﾆ ﾂｹﾙ	･･･画像領域の外側につけます。 ･･･画像領域内につけます。
電話番号マーク ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾏｰｸ	ファクス／電話番号の前に付けるマークを選びます。	**FAX**、TEL	例： FAX 03 3758 2111 TEL 03 3758 2111
読み取り濃度セット ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ｾｯﾄ	送信するファクスの読み取り濃度を選びます。	ｺｸ、**ﾌﾂｳ**、ｳｽｸ	通常送信する原稿のタイプに合わせて選んでください。
オフフックアラーム ｵﾌﾌｯｸ ｱﾗｰﾑ	子電話の受話器がはずれているとき、警告音を鳴らすかどうかを選びます。	**ﾅﾗｽ**、ﾅﾗｻﾅｲ	環境に合わせて調整してください。
音量調整 ｵﾝﾘｮｳ ﾁｮｳｾｲ	呼び出し音、キータッチの音、アラーム音、回線モニタの音量を調整します。		環境に合わせて調整してください。
呼び出し音量 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ	FAX/TEL切り替えのとき、電話の呼び出し音の音量を調整します。	1、**2**、3	
キータッチ音量 ｷｰ ﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ	操作パネルのボタンを押したときの音の大きさを調整します。	0、1、**2**、3	0にすると音は鳴りません。
アラーム音量 ｱﾗｰﾑ ｵﾝﾘｮｳ	エラー警告音の音量を調整します。	0、1、**2**、3	0にすると音は鳴りません。
通信音量 ﾂｳｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ	回線モニタ(ダイヤル中、フック中の音)の音量を調整します。	0、1、**2**、3	0にすると音は鳴りません。
呼び出し音音質 ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝ ｵﾝｼﾂ	FAX/TEL切り替えのときの呼び出し音の音質を調整します。	ﾌﾂｳ、**ﾀｶｲ**	環境に合わせて調整してください。
回線種類選択 ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ	使っている電話回線に合わせて選びます。	ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ、 **ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ**	･･･プッシュ回線(トーン回線) ･･･ダイヤル回線(パルス回線) ダイヤル回線のときは、さらに10PPSか**20 PPS**かを選びます。

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

「レポート設定」メニュー　　「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」

項目（とサブ項目）	内容	選択肢	備考
送信結果レポート ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信するファクスの送信結果レポートを印刷するかしないかを選びます。	**ｴﾗｰ ｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ**、 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	･･･エラーが発生したときだけ印刷します。 ･･･送信するたびに印刷します。 ･･･印刷しません。
送信画像 　ｿｳｼﾝ ｶﾞｿﾞｳ	「ｴﾗｰ ｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」または「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」を選んだとき、ファクスの最初のページもつけるかどうかを選びます。	**ﾂｹﾙ**、ﾂｹﾅｲ	つけると、どのファクスのレポートか、わかりやすくなります。 （カラー送信のときはつきません）
受信結果レポート ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスを受信すると、自動的に受信結果レポートを印刷するかしないかを選びます。	ｴﾗｰ ｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、 **ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ**	･･･エラーが発生したときだけ印刷します。 ･･･ファクスを受信するたびに印刷します。 ･･･印刷しません。
通信管理レポート ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	通信管理レポートをいつ、どのように印刷するかを選びます。		
自動プリント 　ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ	20通信ごとに自動的に印刷します。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･20件の送受信が終わるたびに自動的に印刷します。 ･･･自動的には印刷しません。

「送信機能設定」メニュー　　「ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」

項目（とサブ項目）	内容	選択肢	備考
ECM送信 ECMｿｳｼﾝ	ECM送信をオンまたはオフにします。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･ ECMモードで送信します。 ･･･ ECMモードは使いません。
ポーズ時間セット ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ	（リダイヤル/ポーズ）ボタンを1回押して指定するポーズひとつ分の長さを指定します。	1～15ﾋﾞｮｳ **（2ﾋﾞｮｳ）**	番号の間に入れるポーズの長さです。番号の最後のポーズの長さは10秒に決まっています。
自動リダイヤル ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ	相手が通話中だったときに、自動的にリダイヤルするかしないかを選びます。	**ｽﾙ**、ｼﾅｲ	「ｽﾙ」に設定したときは、さらにリダイヤル回数、リダイヤル間隔の設定を行います。
リダイヤル回数 　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｽｳ	何回までリダイヤルするかを指定します。	1～15ｶｲ **（2ｶｲ）**	
リダイヤル間隔 　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶﾝｶｸ	ダイヤルしてからつぎにリダイヤルするまでの間隔を指定します。	2～99ﾌﾝ **（2ﾌﾝ）**	
ダイヤルタイムアウト ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾑ ｱｳﾄ	複数の相手に送信するとき、最初の番号を入力してから5秒以内に原稿の読みこみを開始（2番め以降は10秒以内に読みこみを開始）するかどうかを選びます。すべての送信先を入力し終える前に読みこみが開始されると、送られなかった番号については、もう一度読みこみなおさなければなりません。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･5秒または10秒以内に読みこみを開始します。 ･･･自動的には読みこみを開始しません。読みこみを開始するときは（スタート）ボタンを押してください。そうしないと、B-30は60秒後にスタンバイ状態に戻ります。
カラーダイレクト送信 ｶﾗｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ｿｳｼﾝ	カラーでファクス送信する場合、相手のファクス機器がカラーに対応していないときは、自動的に白黒に変換して送信します。	ｽﾙ、 **ｼﾅｲ**	･･･カラーに対応していない相手には、白黒で送信します。 ･･･カラーに対応していない相手には、送信しません。

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

「受信機能設定」メニュー　「ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」

項目（とサブ項目）	内容	選択肢	備考
ECM受信 ECMｼﾞｭｼﾝ	ECM受信をオンまたはオフにします。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･ECMモードで受信します。 ･･･ECMモードを使用しません。
受信モード選択 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ	どのような方法で呼び出しを受信するかを選びます。	**ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ**、 FAX/TEL ｷﾘｶｴ	･･･すべての呼び出しをファクスと判断します。 ･･･呼び出し内容に応じて、電話、ファクスを切り替えます。
「FAX/TELｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ」を選んだときは、さらにつぎの設定を行います。			
呼び出し開始時間 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ	ファクスから電話に切り替えるまで、どれだけの時間待つかを指定します。	0~30ﾋﾞｮｳ （**8ﾋﾞｮｳ**）	呼び出しが電話からなのか、それともファクスからなのかをB-30が判断するのにじゅうぶんな時間を指定してください。
呼び出し時間 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	電話がかかってきたら、どれくらいの時間、呼び出し音を鳴らすかを指定します。	10~300ﾋﾞｮｳ （**17ﾋﾞｮｳ**）	呼び出し音を鳴らし続ける時間を指定します。
呼び出し後の動作 ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞﾉ ﾄﾞｳｻ	上の呼び出し時間内に誰も電話に出なかったときに、どのような動作をするかを指定します。	**ｼﾞｭｼﾝ**、 ｼｭｳﾘｮｳ	･･･受信モードに切り替わります。 ･･･呼び出しを切ります。
着信呼び出し ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ	自動受信モード、FAX/TEL切り替えモードの場合、電話がかかってきたときに、子電話の呼び出し音を鳴らすかどうかを選びます。	ｽﾙ、 **ｼﾅｲ**	･･･子電話が接続されているときは、電話がかかってくると呼び出し音を鳴らします。 ･･･呼び出し音は鳴らしません。
呼び出し回数 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	「ｽﾙ」のとき、何回呼び出し音を鳴らすかを指定します。	1~99ｶｲ （**2ｶｲ**）	
自動受信切り替え ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ	指定時間、呼び出し音を鳴らした後、手動受信モードから自動受信モードに切り替えるかどうかを選びます。	ｽﾙ、 **ｼﾅｲ**	･･･指定時間、呼び出し音を鳴らした後、自動受信モードに切り替えます。 ･･･自動受信モードには切り替えません。
呼び出し時間 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	「ｽﾙ」のとき、自動受信モードに切り替える前に何秒間、呼び出し音を鳴らすかを指定します。	1~99ﾋﾞｮｳ （**15ﾋﾞｮｳ**）	
リモート受信 ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ	リモート受信ができるようにするかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･手動受信のとき、子電話でリモート受信IDをダイヤルして、受信の操作ができます。 ･･･リモート受信しません。
リモート受信ID ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ ＩＤ	「ｽﾙ」のとき、リモート受信ID（ID呼び出し番号）を変更することができます。	00~99 （**25**）	00〜99の間で新しいIDを指定してください。
代行受信 ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ	受信中、記録用紙やインクがなくなったり、紙づまりになったとき、残りのファクスをメモリで受信するかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･メモリに保存します。 ･･･メモリに保存しません。
カラー受信 ｶﾗｰ ｼﾞｭｼﾝ	カラーで送られてきたファクスをカラーで受信するかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･カラーで受信します。 ･･･白黒で受信します。

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

「プリント設定」メニュー　「プ リント セッテイ」

項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
画像縮小 ガ ゾ ウ シュクショウ	記録用紙に合うように、画像を縮小するかどうかを選びます。	**スル**、 シナイ	･･･縮小します。 ･･･縮小しません。1ページ分が、2ページに分かれて印刷される場合があります。
縮小方向選択 シュクショウ ホウコウ センタク	「スル」のとき、縦だけ縮小するか、縦横比率を変えないように縦と横を両方縮小するかを選びます。	**タテ ノミ**、 タテ ヨコ トモ	
記録紙サイズ キロクシ サイズ	使用する記録用紙のサイズを選びます。	**A4**、LTR、LGL	左のサイズの中から選んでください。
下余白 シタ ヨハク	カラーコピー、カラーファクスの受信時の下の余白を選びます。	**フツウ**、 チイサイ	･･･白黒のときより長く(26mm)なります。 ･･･白黒のときと同じ(7mm)になります。
フォトインク記録 フォト インク キロク	フォトBJカートリッジで、受信したファクスやメモリ内のファクスの印刷、白黒コピーができるようにします。	**スル**、 シナイ	･･･印刷、コピーできます。 ･･･印刷、コピーできません。

「システム管理設定」メニュー　「システム カンリ セッテイ」

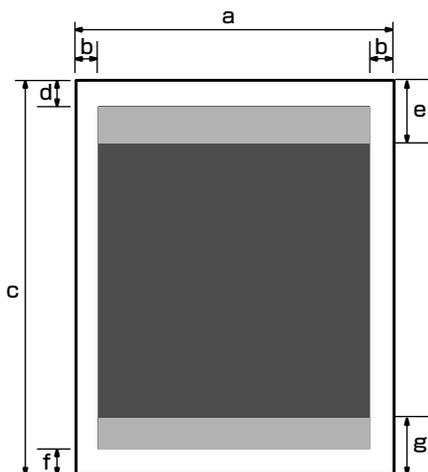
項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
日付タイプ ヒヅ ケ タイプ	日付の表示方法を選びます。	**YYYY MM/DD**、 MM/DD/YYYY、 DD/MM YYYY	･･･年　月／日 ･･･月／日／年 ･･･日／月　年
送信開始速度 ソウシン カイシ ソクド	ファクスの送信スピードを選びます。	**33600bps**、 14400bps、 9600bps、 7200bps、 4800bps、 2400bps	数字が大きいほどスピードが速くなります。うまく送信できないときは、スピードを下げてみてください。
受信開始速度 ジ ュシン カイシ ソクド	ファクスの受信スピードを選びます。	**33600bps**、 14400bps、 9600bps、 7200bps、 4800bps、 2400bps	数字が大きいほどスピードが速くなります。うまく受信できないときは、スピードを下げてみてください。

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

印刷可能領域

普通紙、専用紙の印刷可能領域

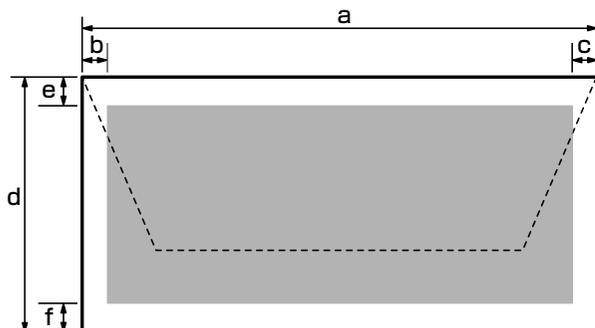
印刷できる領域は、記録用紙によって異なります。普通紙、専用紙の場合、上下左右の余白(印刷できない部分)は、つぎのとおりです。

きれいに印刷するためには、■の部分(印刷領域)に印刷することをおすすめします。■の部分(印刷可能領域)にも印刷できますが、きれいに印刷できなかったり、印刷位置がずれたりすることがあります。

印刷できる範囲(単位はmm)

	A4	B5	A5	レター	リーガル
記録用紙の幅:a	210.0	182.0	148.0	215.9	215.9
左右余白:b	3.4	3.4	3.4	6.4	6.4
記録用紙の長さ:c	297.0	257.0	210.0	279.4	355.6
上余白(印刷可能領域):d	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
上余白(印刷領域):e	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0
下余白(印刷可能領域):f	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
下余白(印刷領域):g	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0

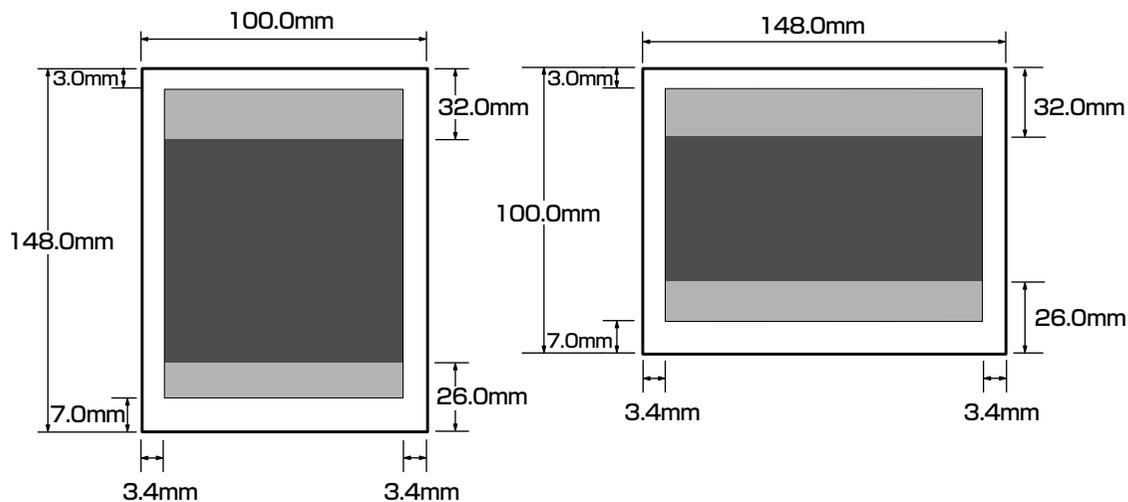
* 下余白は印刷条件によって異なります。

封筒の印刷可能領域

封筒では、 の部分に印刷できます。

印刷できる範囲(単位はmm)

	洋形4号	洋形6号
封筒の幅:a	235.0	190.0
左余白:b	6.4	6.4
右余白:c	25.4	6.4
封筒の長さ:d	105.0	98.0
上余白:e	3.0	3.0
下余白:f	7.0	7.0

はがきの印刷可能領域

きれいに印刷するためには、 の部分(印刷領域)に印刷することをおすすめします。 の部分(印刷可能領域)にも印刷できますが、きれいに印刷できなかったり、印刷位置がずれたりすることがあります。

印刷可能領域

用語解説

用語は、数字、アルファベット、五十音順に並んでいます。

1

1枚給紙

自動給紙装置(ADF)に原稿を1枚ずつセットして給紙する方法です。特殊なサイズや用紙の原稿は1枚給紙します。

B

BJカートリッジ

B-30本体の印刷部の部品で、プリントヘッドがあり、インクタンクを取り付けて使います。消耗品なので交換する必要があります。

BJプリンタ

記録用紙にインクを吹き付けて印刷する方式のプリンタをインクジェットプリンタといいますが、B-30はバブルジェット(BJ)というキヤノン独自の方式のインクジェットプリンタです。インクをノズル内で沸点まで加熱して、気泡(バブル)を形成し、その膨張力でインクを記録用紙に噴射(ジェット)します。

bps

bits per secondの略語で、1秒間に転送されるビット数を表します。ファクス機器の送受信のスピードを表す単位です。

C

CCITT/ITU-T

通信の国際規格を設定するために設けられた委員会の呼称です。
正式名称は、Consultive Committee for International Telegraph and Telephone。
現在は、International Telecommunications Union-Telecommunications sector(ITU-T)という名前で呼ばれています。

CMYK

シアン(Cyan)、マゼンタ(Magenta)、イエロー(Yellow)、ブラック(blacK)の略。カラー印刷では、この4色のインクの組み合わせですべての色を表しています。

CNG信号

送信側のファクス機器が、これからファクスを送信することを知らせるために最初に送信するポーという信号音(ファクス呼び出し音)です。受信側のファクス機器は、この信号を受信すると、自動的にファクスの受信を開始します。現在では、ほとんどのファクス機器で、CNG信号の送受信ができるようになっています。

D

dpi

dots per inchの略。1インチ当たりに含まれるドット数で、プリンタの解像度を表す単位です。

E

ECM

Error Correction Mode(エラー補正モード)の略。回線の状況が悪いときなど、エラーが多いときは、ECMで送受信すると、エラーを減らすことができます。ECMで送受信するときは、送信側と受信側の両方のファクス機器にECM機能が必要です。

F

FAX/TEL切り替えモード

呼び出しがファクスか電話かを自動的に判断する受信モードです。このモードに設定しておくと、ファクスは自動的に受信され、電話のときだけ呼び出し音が鳴り、子電話の受話器を取れば通話できます。1本の回線を電話とファクスで共用するときは、このモードに設定しておくと便利です。

G

G3、G3対応ファクス

G3は、ITU-T(国際電信電話諮問委員会)が定めたファクス送受信の規格で、送信する画像データを符号化してデータ量を圧縮し、送信時間を短縮します。G3対応のファクス機器では、1ページを1分未満で送信できます。データの圧縮方式には、MH(Modified Huffman)、MR(Modified READ)、MMR(Modified Modified READ)、JBIG、JPEGがあります。

I IEEE 1284

IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers：米国電気電子工業会)が1993年に定めた、コンピュータと周辺機器との間の双方向パラレルインタフェース通信に関する新規格。従来のパラレルインタフェース仕様に、コンピュータと周辺機器との間の双方向通信、高速データ転送レート、ノイズによるデータ損失からの保護などが追加されています。

J JPEG

フルカラーの静止画を圧縮して保存するファイル形式のひとつ。自然画や風景、写真などを効率よく圧縮できます。ITU-Tによって、カラーファクスの規格に正式に採用されています。もともとは、Joint Photographic Experts Groupという団体の略称ですが、この規格の名前としても使われています。

M MultiPASS Suite

B-30をコンピュータから使用するための、キヤノンの専用アプリケーションです。MultiPASS Suiteをコンピュータにインストールすれば、B-30をプリンタ、スキャナ、PCファクスとして使えるようになります。

O OHPフィルム

オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルムです。B-30では、インクを定着する処理が施されたBJプリンタ専用のOHPフィルムをご使用ください。

P PCファクス

コンピュータで送受信するファクスのこと。B-30はコンピュータと接続でき、Desktop Managerを使ってPCファクスの送受信もできます。Desktop Managerでは、送受信したPCファクスの保存、並べ替え、印刷などもできます。

R RGB

Red(レッド)、Green(グリーン)、Blue(ブルー)の略。コンピュータのディスプレイでは、この3色の光の組み合わせですべての色を表しています。

T TWAIN規格

いろいろな画像入力機器(スキャナ、ビデオキャプチャボード、デジタルカメラなど)からコンピュータに画像を読みこむための標準的な規格。TWAIN規格に準拠したアプリケーションでは、メーカーや機種に関係なく、TWAIN規格に準拠した画像入力機器から画像を読みこむことができます。B-30もTWAIN規格に準拠しているので、TWAIN規格に準拠したWindowsアプリケーションでスキャナとして使うことができます。

U USBケーブル

B-30のUSBケーブル接続部とコンピュータのUSBポートを接続するためのケーブルです。

ア アプリケーション

ワープロソフトや表計算ソフト、グラフィックソフトなど、特定の作業を行うための機能を持った、または機能が集まったソフトウェアのこと。Desktop Managerも、コンピュータでB-30をプリンタ、スキャナ、PCファクスとして使うためのアプリケーションです。

色の濃さ

色の分量をいいます。色の濃さが高いほど、純色に近くなります。逆に、濃さが低い色は、あまり鮮やかではありません。

インクタンク

B-30でもっともよく使われるカラーBJカートリッジには、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローのインクタンクがはいっています。どれかのインクがなくなったときは、そのインクタンクだけを交換すればすみます。

印刷可能領域

1枚の記録用紙全体のうち、プリンタが実際に印刷できる範囲のこと。プリンタでは記録用紙いっぱいには印刷できず、上、下、左、右に余白部分ができます。印刷可能領域はプリンタによって異なり、B-30では、使用する記録用紙の種類によっても異なります。

受付番号

B-30では、送受信したファクスそれぞれに自動的に通し番号がつけられます。送受信の結果を調べるときなど、この受付番号で、ファクスを区別できます。送信したファクス(送信するファクス)には0001～4999、受信したファクスには5001～9999の番号がつきます。

カ

解像度

解像度は、画像のきめ細かさ、鮮明さを表すものです。解像度が低いと、画像は粗く文字や絵がギザギザになります。解像度が高いほど、きめ細かく滑らかで、くっきりと鮮明な画像になります。解像度の表し方は場合によって異なりますが、プリンタの場合は、単位はdpi(ドット／インチ)、「水平方向×垂直方向」で、360×360dpiのように表されます。

給紙

ファクス、コピー、スキャン、印刷するために、記録用紙や原稿をB-30の中へ送ることを、給紙するといいます。原稿は、自動給紙装置(ADF)から自動給紙または1枚給紙します。記録用紙は、記録紙トレイから自動給紙します。

グラフィックス

手書きや印刷、コンピュータなどの画面に表示された絵や写真のことです。文字や文書でも、送受信したファクスや、グラフィックアプリケーションで作成されたものは、グラフィックスとして扱われます。

グループダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、最大111件の番号に一度にダイヤルできる機能です。同じファクスをたくさんの相手に送信したいとき、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、相手の番号をすべてまとめてグループとして登録しておけば、そのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押すだけで、全員に送信できます。(グループダイヤルに登録できるのは、あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている番号だけです)

グレースケール

白黒画像で、灰色の濃淡で中間調を表すこと。

原稿

コピーやファクス送信、あるいはスキャンする元の用紙をいいます。

工場出荷時の設定

B-30は、工場出荷時(購入時)には、最も一般的な設定になっています。この設定を工場出荷時の設定といいます。設定は、使用目的や状況など、必要に応じて変更できるようになっています。

子電話

B-30の子電話接続端子に接続した市販の電話機。呼び出し音が鳴ったら受話器を取って会話をしたり、子電話からファクス受信の操作をする(リモート受信する)ことができます。

サ

ジェネシス(GENESIS)

キヤノンが独自に開発した超鮮明画像処理技術で、64階調のグレースケールと特殊な輪郭強調処理機能を備え、文字も写真も鮮明な画質で転送できます。

自動給紙装置(ADF)

B-30では、ファクス送信、コピー、スキャンする原稿を自動給紙装置(ADF)にセットします。複数の原稿をセットすると、自動的に1枚ずつ給紙されます。

自動受信モード

ファクスは自動的に受信し、電話のときは切ります。ファクス専用の電話回線にB-30を接続したときに自動受信モードにします。

自動リダイヤル

話し中でファクスを送信できなかったとき、一定の時間をおいて、もう一度同じ番号に自動的にダイヤルする機能です。リダイヤルするまでの時間やリダイヤルする回数を、設定できます。最後のリダイヤルでも送信できなかったときに、送信結果レポートを印刷するように設定することもできます。

受信モード

B-30には、つぎの受信モードがあります。

- 自動でファクスの受信だけを行う（自動受信モード）
- ファクスは自動で受信し、電話のときは呼び出し音を鳴らす（FAX/TEL切り替えモード）
- 電話に出て、ファクスの場合は受信の操作を行う（手動受信モード）
- ファクスは自動で受信し、電話は留守番電話に回す（留守TEL接続モード）
- ファクスをコンピュータで受信する（PCファクス）

手動受信モード

子電話を取って呼び出しに応対した後、ファクスのときは受信します。ピーという音が聞こえたらファクスなので、操作パネルの スタート ボタンを押すか、リモート受信IDの番号を押します。

手動送信

子電話から電話をかけ、相手が出てからファクスを送信する方法です。

手動リダイヤル

テンキーでファクス番号を入力（テンキーダイヤル）してファクスを送信したとき、話し中やエラーで送信できなかった場合は、操作パネルの リダイヤル/ポーズ ボタンを押せば、リダイヤルできます。再送信するときは、原稿をセットしなおして リダイヤル/ポーズ ボタンを押してください。

スタンバイ状態

B-30の電源がはいっていて、いつでも使用できる状態をスタンバイ状態といいます。この状態のときは、LCDディスプレイに日付と受信モードが表示され、この状態からすべての操作ができます。

スピードダイヤル

ひとつまたは3つのボタンを押すだけで、相手の番号をダイヤルできる機能で、「ワンタッチダイヤル」、「短縮ダイヤル」、「グループダイヤル」の3つがあります。スピードダイヤルを使うためには、送信先のファクス番号や電話番号をあらかじめ登録しておく必要があります。

セントロニクス（Centronics）

パラレルデータ転送のインタフェース規格です。B-30は、セントロニクスタイプのパラレルインタフェースを採用しています。

送信スピード

電話回線上でファクスを送信するときの速度です。「bps」も参照してください。

双方向パラレルインタフェースケーブル

B-30とコンピュータを接続するためのケーブルです。IEEE 1284に適合した長さが2m以下のケーブルを、別途購入してください。

タ

タイマー送信

時刻を指定して、自動的にファクスを送信する機能です。タイマー送信は、MultiPASS Suiteで設定します。

ダイヤル回線

電話回線の種類のひとつで、パルス回線ともいいます。ダイヤル回線には、ダイヤル速度の違いによって、10PPSと20PPSの2種類があります。

縦置き

記録用紙の幅方向を横切るように印刷する方法です。それに対して、記録用紙の長手方向を横切るように印刷する方法を、「横置き」といいます。

短縮ダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、短縮ボタンの後に2桁の短縮番号を押してダイヤルする方法です。短縮番号には、あらかじめ送信先のファクス番号と名前を登録しておきます。よくダイヤルする番号を短縮ダイヤルに登録しておくと便利です。100件まで登録できます。

通信管理レポート

B-30のファクス送受信の記録です。送受信の結果を調べたいときなどに印刷します。

テンキー

操作パネルの左端の、番号が書かれた丸いボタン(0〜9、*、#)。一般の電話機のダイヤルボタンと同じ構成になっており、同じようにダイヤルできます。また、B-30本体では、送信先の名前の登録など、文字を入力するときにもテンキーを使います。

テンキーダイヤル

操作パネルのテンキーで相手のファクス番号や電話番号を入力してダイヤルする方法です。

同報送信

同じファクスを一度に複数の相手に送信する機能です。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーでの手動ダイヤルを組み合わせて、最大113件まで送信できます。

トーン回線

「プッシュ回線」を参照してください。

ドット

印刷された画像や文字は、小さな点が集まってできています。このひとつひとつの点をドットといいます。

ナ

ノズルチェックパターン

BJカートリッジのプリントヘッドのノズル(インクが噴射される出口)が正常な状態かどうかを調べるために印刷するパターンです。正常な状態では、階段状の線がノズルの数だけ印刷されます。

ハ

ハーフトーン

カラー印刷での原色以外の中間色や、白黒印刷でのグレーのような中間階調をハーフトーンといいます。B-30では、原色のドットの並び方によってハーフトーンを作り出し、フルカラーやグレースケールで印刷できるようになっています。

排紙

プリンタの内部に送られて、ファクス、コピー、スキャン、印刷がすんだ原稿や記録用紙を外に出すことを排紙するといいます。

発信元情報

送信したファクスの各ページのいちばん上(ヘッダ)に印刷される、つぎのような情報です。

- 送信日時
- 送信者のファクス番号(登録したとき)
- 送信者の名前や会社名(登録したとき)
- 受信側の名前や会社名(スピードダイヤルで送信したとき)
- ページ番号

パラレルケーブル

「双方向パラレルインタフェースケーブル」の本書での略称です。「双方向パラレルインタフェースケーブル」を参照してください。

パルス回線

「ダイヤル回線」を参照してください。

ファクス写真モード

ファクス送信時に、原稿に写真のような中間色が含まれるときに設定する読み取り解像度のモードです。

ファクス／電話自動切り替え

「FAX/TEL切り替えモード」を参照してください。

ファクス標準モード

ファクス送信時に、原稿に普通に印刷された文字だけが含まれ、絵や写真やイラストなどが含まれていないときに設定する読み取り解像度のモードです。

ファクスファインモード

ファクス送信時に、原稿の文字が細かいときに設定する読み取り解像度のモードです。

普通紙

コピー機などで一般的に使われる記録用紙(コピー用紙)のことです。

プッシュ回線

電話回線の種類のひとつでトーン回線ともいいます。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタとの間でのデータのやりとりを制御するためのソフトウェア。コンピュータからプリンタに印刷命令を送り、印刷状況やエラーなどの情報をプリンタからコンピュータに読みこみます。

プリントヘッド

B-30のBJカートリッジの一部分で、印刷時にインクを噴射するためのノズルがあります。

ポーズ

内線から外線にかけるときや、国際電話をかけるときなど、接続までに多少時間がかかることがあります。そのような番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録するときは、確実につながるように、電話番号の間やうしろに待ち時間としてポーズを入れておきます。番号の間や最後で リダイヤル/ポーズ ボタンを押すと、そこにポーズがはいります。

ホームポジション

印刷していないときにBJカートリッジが待機しているプリンタ内の右端の場所。ホームポジションでは、プリントヘッドにフタがされ、インクの乾燥を防ぎます。

マ

メモリ

コンピュータなどの内部に取り付けられている情報を一時的に記憶させておくための装置。B-30のメモリには、印刷する文書やスキャンした原稿、受信したファクスなどの情報が一時的に保存されます。

メモリ送信

ファクス送信する原稿をメモリに読みこんでから送信する方法です。全部送信し終わるまで待たずに原稿を持ち帰れるので、便利です。

ヤ

横置き

記録用紙の長手方向を横切るように印刷する方法です。

読み取り濃度

送信する原稿の濃さを設定します。

ラ

リダイヤル

話し中でファクスを送信できなかった相手に、もう一度送信しなおすときにリダイヤルします。リダイヤルには、自動リダイヤルと手動リダイヤルがあります。

リモート受信

B-30から離れたところにある子電話で電話に出た後、子電話でリモート受信IDの番号を押してファクスを受信することを、リモート受信といいます。

リモート受信ID

B-30から離れたところにある子電話で電話に出た後、ファクス受信を開始するときに押す2桁の番号(工場出荷時の設定は「25」)のことです。

ワ

ワンタッチダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、ボタンひとつで相手にダイヤルできる機能です。B-30には、ワンタッチダイヤルボタンが12個あり、送信先やグループを12件登録できます。

索引

この索引で、本文中に出てくる用語やボタンやLCDディスプレイのメッセージを検索できます。

例

タ
代行受信　10-6
「ダイコウ ジュシン シマシタ」 4-9,
タイマー送信　2-13，10-13
ダイヤル回線　1-7，10-13
ダイヤルタイムアウト　10-5
ダイヤル方法　2-4
短縮ダイヤル　2-5，10-14
－の登録　3-6
－の変更、削除　3-7
短縮ダイヤルリスト　3-11
[短縮]ボタン　xii
チ
着信呼び出し　10-6
長尺紙　6-9

「○○○○○○」はLCDディスプレイに表示されるメッセージです。

[○○○] はボタンやキーの名称です。

索引

索引

索引

索引

ヨ

リ

ル

レ

ワ

仕様

外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

装置概要

適用回線：加入電話回線(PSTN)
直流抵抗値：約270Ω
通信速度：33600、14400、9600、7200、4800、2400bps
記録(印刷)方式：バブルジェット方式
電源：AC100V±10V(50/60Hz)
消費電力：最大：約45W、最小:6W
外形寸法：437mm(幅)×428mm(奥行き)×207mm(高さ)
(本体のみ。トレイを除く)
質量：約6.6kg(トレイを含む。BJカートリッジ、記録用紙は除く)
使用環境：温度：10℃〜32.5℃
湿度：20%〜85%RH(ただし、結露のないこと)
外部インターフェース：
双方向パラレル(Compatible、Nibble、ECP)、USB

プリンタ仕様

印刷解像度：1440(水平方向)×720(垂直方向)dpi
給紙方法：自動給紙
記録紙トレイ：6-4ページ参照
記録用紙サイズ：6-4ページ参照
記録用紙の種類(推奨記録用紙)：
普通紙
BJ専用普通紙(キヤノン バブルジェット用紙 LC-301)
高品位専用紙(キヤノン 高品位専用紙 HR-101/101S)
フォト光沢紙(キヤノン フォト光沢紙 GP-301)
フォト光沢フィルム(キヤノン フォト光沢フィルム HG-201)
フォト光沢ハガキ(キヤノン フォト光沢ハガキ KH-201N)
バックプリントフィルム(キヤノン バックプリントフィルム BF-102)
OHPフィルム(キヤノン OHPフィルム CF-102)
バナー紙(長尺紙)
フォト光沢カード(キヤノン フォト光沢カードFM-101)
記録用紙質量：64〜105g/㎡
印刷速度*：カラー 約4.6枚/分、白黒 約8.7枚/分
印字幅：最大203.2mm
印刷可能領域：10-8ページ参照

* キヤノン標準パターンでの参考値

BJカートリッジ、インクタンク仕様

カラーBJカートリッジBC-33e(B-30に付属)
プリントヘッド構成(ノズル)：各色48個
プリントヘッド寿命：約3000ページ
インク色(インクタンク)：
ブラックインクタンク(BCI-3eBK)
シアンインクタンク(BCI-3eC)
マゼンタインクタンク(BCI-3eM)
イエローインクタンク(BCI-3eY)
印刷可能枚数*：
約300ページ(各色の印刷部分がページ全体の7.5%の場合)

フォトBJカートリッジBC-34e(別売)
プリントヘッド構成(ノズル)：各色48個
プリントヘッド寿命：約3000ページ
インク色(インクタンク)：
フォトブラックインクタンク(BCI-3ePBKフォト)
フォトシアンインクタンク(BCI-3ePCフォト)
フォトマゼンタインクタンク(BCI-3ePMフォト)
イエローインクタンク(BCI-3eY)
印刷可能枚数**：約300ページ

ブラックBJカートリッジBC-30e(別売)
プリントヘッド構成(ノズル)：160個
プリントヘッド寿命：約5000ページ
インク色(インクタンク)：
ブラックインクタンク(BCI-3eBK)
印刷可能枚数***：約500ページ

* ひとつのインクタンクで、普通紙の印刷可能領域に印刷する場合の枚数
** キヤノン カラーFAXテストシートでの参考値
*** キヤノン ファクス標準チャート No.1

スキャナ仕様

読み取り画像処理方式：超鮮明画像処理技術 GENESIS
読み取り解像度：600×600dpi
自動給紙装置(ADF)：5-2ページ参照
有効読み取り幅：214mm
インタフェース：TWAIN準拠
読み取り速度：白黒文字(30〜150dpi)5.4秒／ページ
白黒文字(151〜300dpi)10.9秒／ページ
白黒文字(301〜600dpi)21.7秒／ページ
グレースケール(30〜150dpi)5.4秒／ページ
グレースケール(151〜300dpi)10.9秒／ページ
グレースケール(301〜600dpi)21.7秒／ページ
カラー(30〜150dpi)16.3秒／ページ
カラー(151〜300dpi)32.6秒／ページ
カラー(301〜600dpi)65.2秒／ページ

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

キヤノン販売お客様相談センター
（全国共通番号）

全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従ってMultiPASSシリーズの該当番号 33 をお話しください。
引き続き音声ガイダンスに従ってお話しください。音声認識後、商品担当に繋がります。
[受付時間]　＜平日＞9:00～12:00/13:00～17:00（土・日・祝日・1/1～3を除く）

※携帯電話・PHSをご使用の方は043-211-9631をご利用ください。
※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ち下さい。

■アクセスポイント
札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・大宮・千葉・東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区三田3-11-28
HT1-1107-000-V.1.2　XXXXXXA

PRINTED IN THAILAND